

浦安市
第5期介護保険事業計画策定に伴う
基礎調査報告書

平成23年3月



目 次

第1章 調査実施の概要

1. 調査実施の目的 3
2. 調査の設計 3
3. 調査の実施方法と回収状況 3
4. 調査結果を見る上での注意事項 4
5. 調査結果から得られた現状と課題 5

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

1. 調査結果の概要 9
2. 基本属性について 11
3. 介護保険サービスの利用状況や利用意向について 15
4. 居宅サービス計画と介護支援専門員について 24
5. サービスの不満や問題点について 27
6. 保険料について 29
7. 生活支援サービスについて 32
8. 災害時のことについて 39
9. 今後の過ごし方や介護保険制度について 44
10. お世話している家族の方について 46

第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

1. 調査結果の概要 55
2. 基本属性について 57
3. 介護保険の利用について 68
4. 介護保険サービスの利用について 75
5. 以前に介護保険サービスを利用した方について 76
6. 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて 77
7. 災害時のことについて 79

第4章 介護サービス提供事業者に関する調査結果

1. 調査結果の概要 87
2. 事業所の概要について 89
3. サービスの質の確保や向上について 99
4. 今後の介護保険サービス事業への進出意向について 113

資料編

調査票

第1章 調査実施の概要

1. 調査実施の目的

浦安市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成23年度に策定を予定しております「第5期浦安市介護保険事業計画」の基礎資料とするため、下記の調査を実施しました。

2. 調査の設計

このアンケート調査では、3種類の調査票を作成し、調査を実施しました。

(1) 調査対象者

■ 居宅サービス利用者

調査対象者：居宅サービスを利用している要介護認定者（悉皆調査）

調査人数：977人

調査対象者：居宅サービスを利用しているひとり暮らし・高齢者世帯の要介護認定者（悉皆調査）

調査人数：200人

■ 居宅サービス未利用者

調査対象者：居宅サービスを利用していない要介護認定者（悉皆調査）

調査人数：344人

■ 介護サービス提供事業者

調査対象者：浦安市内に事業所を有し介護サービスを提供している事業者（悉皆調査）

調査か所数：42か所

3. 調査の実施方法と回収状況

(1) 調査時期と調査方法

調査の配布・回収方法は、次の通りです。

調査対象者	調査期間	調査方法
居宅サービス利用者	平成22年10月8日～11月1日	郵送による配布・回収
	平成22年10月13日～11月15日	ケアマネジャーによる聞き取り調査
居宅サービス未利用者	平成22年10月8日～11月1日	郵送による配布・回収
介護サービス提供事業者	平成22年10月8日～11月1日	郵送による配布・回収

(2) 回収状況

調査によるそれぞれの回収状況は、以下のとおりです。

調査対象者	配布数	回収数	回収率
居宅サービス利用者	1,177件	753件	64.0%
居宅サービス未利用者	344件	220件	64.0%
介護サービス提供事業者	42件	33件	78.6%

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

5. 調査結果から得られた現状と課題

● 居宅サービス利用者、居宅サービス未利用者

在宅で、各種の居宅サービスを利用しながら生活している要支援・要介護の人にとっては、自分に最もふさわしいサービスを、必要なだけ受けられるサービス提供体制の充実と、家族の介護負担の軽減が重要です。

介護サービスの満足度についてみると、「満足」との評価は、5割台半ばと、平成19年調査の5割強より増加しています。また、希望どおりの介護サービスが受けられているか、についても「ほぼ希望どおり利用している」が8割を超えており、平成19年調査と同様に、介護保険サービスについては、全体として高い評価がなされています。

さらに、介護保険サービスの提供において重要な役割を果たしているケアマネジャーへの評価をみても、居宅サービス利用者の意向のケアプランへの反映について「反映されている」が8割を超えているほか、ケアプランの内容についても6割台半ばが「満足」であるとしており、総じてケアマネジャーへの評価は高くなっています。

その一方で、ケアプランの内容に不満のある人も5%程度おり、その内容としては「希望するサービスが組み入れられていないから」「サービスの利用回数や時間が少ないから」「利用限度額の上限で、使いたいサービスが十分に受けられないから」などがあげられています。介護保険サービスやケアマネジャーへの評価は高いが、今後はこうした不満を感じている人の意見や要望を踏まえて、各種サービスの質的・量的充実を推進するとともに、ケアマネジャーの知識と資質の一層の向上を図っていくことが重要です。

在宅介護の場合、介護される人だけでなく、介護する家族への支援も重要となっています。主な介護者をみると、「夫又は妻」が3割台半ばで最も多く、これに「娘」が2割強で次いでいます。介護の時間は「1時間から4時間未満」や「決まっていない」が多く、要介護者が「薬を飲む時間や、飲む量を間違えること」や「なれた道や場所が分からなくなること」などの深刻な状態にあるケースも少なくなく、介護する家族が大きな負担を負っている現状がうかがわれます。

介護する家族の要望としては、「介護に関する相談機能の充実」と「家族など介護者のリフレッシュのための制度」が約4割と多くなっていますが、家族の介護負担を軽減するために、「相談」から「介護」まで幅広い支援が求められています。

現在の介護保険サービスの利用状況をみると、「通所介護（デイサービス）」が約5割で最も多く、以下「福祉用具の貸与・購入費の支給」が4割台半ば、「訪問介護、生活援助」が2割台半ばで続いています。今後の利用意向をみると、「通所介護（デイサービス）」や「福祉用具の貸与・購入費の支給」のほかに、「短期入所生活介護（ショートステイ）」が3割を超えて多くなっています。今後も、居宅サービス利用者とその家族の実情に対応して、最も必要としているサービスを的確に提供できるよう、各種サービスの提供体制の充実と多様化を図っていくことが必要です。

災害時の対応については、自力では避難「できない」という人が、約7割と、平成19年調査とほぼ同様の結果となっているほか、多くの人が「避難所までの移動」や「支援が受けられるか」について不安を抱いており、要支援者・要介護者の災害時の不安は解消されていません。いざというときに避難の手伝いや介助を希望する人は、8割近くに及んでおり、個人のプライバシーには配慮しながらも災害時の支援体制の充実を図ることが求められています。

次に、居宅サービス未利用者についてみると、介護保険サービスを利用しない理由として、「家族が介護してくれるから」と「介護者の急病など、万一に備えて認定だけは受けておきたいから」が3割を超えて多くなっています。介護してくれる家族が「いる」という人が6割台半ばを占めています。

第1章 調査実施の概要

しかしながら、介護者の問題をみると、「特に問題はない」は4割強と、平成19年調査の5割台半ばから大きく減少し、「介護者が高齢・障がい・病弱等のために十分に介護ができない」や「介護者が仕事・子育てのために十分に介護ができない」など各種の問題が微増しており、介護者の負担が大きくなっている現状がうかがえます。今後は、サービス未利用者やその家族の意向を尊重しながらも、受けられる介護保険サービスの情報の提供や相談体制を充実させ、迅速かつ的確な支援をしていくことが必要です。

● 介護サービス提供事業者

介護保険サービスの提供体制にとって、地域のサービス提供事業者は重要な役割を果たしています。

事業所運営の困難の内訳をみると、平成19年調査に比べて比率は下がっているものの、「人材の確保の困難」と「介護報酬単価が低い」は依然として大きな課題となっています。また、「利用者の確保が困難」という事業所も6割弱を占めています。多くのサービス提供事業者は、労働環境の厳しさなどによる人材の確保の困難に加えて、採算が取れるだけの利用者を確保できるか、という不安を抱いており、今後も総合的な支援をしていくことが求められています。

サービスの質の確保や向上への取り組みとして、「サービスの質の評価」「苦情対応文書やマニュアル」「職員の健康管理についての手続きや対応マニュアル」「災害時の対応方法」「サービス担当者会議」等の取り組みをしている事業所は、平成19年調査より増加しており、全体として事業所のサービス提供体制は改善されています。とくに、「サービス担当者会議」を実施している事業所が約9割と、平成19年調査の8割強より増加しているほか、「講習会・研修会」についても9割強へと増えています。

今後も、こうした取り組みを継続させ、居宅サービス利用者が質の高い介護保険サービスを受けられるようにしていくことが求められています。

各種サービスへの進出意向をみると、いずれの事業に対しても「現時点ではわからない」「進出する予定はない」が多くなっていますが、「地域密着型介護老人福祉施設」や「地域包括支援センター」などの事業については、「進出」あるいは「進出を検討している」という事業所があり、こうした事業所が実際に事業を展開できるよう支援していくことが必要です。

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 住宅の種類は、「一戸建ての持ち家」が52.9%と最も多く、これに「分譲マンション」が27.5%で次いでいます。
- 要介護度は、「要介護1」が21.5%で最も多く、これに「要介護2」が21.1%で次いでいます。
- 現在、利用している介護保険サービスについては、「満足している」が39.2%で、これに「やや満足している」の16.5%を合わせた【満足】は55.7%となっています。また、「ふつう」は34.4%となっています。平成19年の調査結果と比較すると、【満足】は51.0%から55.7%へ増加しています。
利用しているサービスについては、「通所介護（デイサービス）」が49.5%で最も多く、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（44.8%）、「訪問介護（生活援助）」（23.8%）、「住宅改修費の支給」（23.5%）、「訪問介護（身体介護）」（21.4%）の順で続いています。
利用者のうち、【不満】（「やや不満」と「不満」の合計）の評価の高いものは「短期入所生活介護」（18.6%）、「短期入所療養介護」（19.3%）、「認知症対応型共同生活介護」（25.0%）、「特定施設入居者生活介護」（27.3%）があげられます。
（注）上記のサービスは、利用者数が少ないことを念頭に置いて、数字を見る必要があります。
今後の利用意向をみると、「通所介護（デイサービス）」が43.0%で最も多く、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（42.5%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（32.7%）、「訪問介護（身体介護）」（30.3%）、「住宅改修費の支給」（29.7%）、「訪問介護（生活援助）」（29.3%）の順で続いています。
- 居宅サービス利用者の意向がケアプランに反映されているかをきいたところ、「十分に反映されている」が35.9%で、これに「ほぼ反映されている」の46.1%を合わせた【反映されている】は82.0%と8割を超えています。
- ケアプラン作成後のケアマネジャーの対応については、「定期的に電話や訪問を受けている」が71.2%で最も多く、これに「あなた（あて名ご本人）から連絡すれば気軽に話しを聞いてくれる」が16.2%で次いでいます。
- ケアマネジャーやサービス事業者が一番望むことは、「自分や家族への親切な対応」（35.3%）と「サービスの変更等に際しての柔軟で迅速な対応」（32.3%）が、いずれも3割を超えています。
- サービスを利用して感じた不満を伝えた先は、「介護支援専門員（ケアマネジャー）に伝えた」が39.6%と最も多くなっています。一方、「とくに不満や問題点はない」は33.1%になっています。
- サービスへの不満は、「介護保険サービスの内容について」が25.4%で最も多く、これに「介護保険サービス事業者の対応について」が19.9%で次いでいます。
- 介護保険料の段階をみると、基準額である「第5段階（月額3,780円）」（12.1%）、次いで「第8段階（月額5,670円）」（11.3%）がいずれも1割を超えてやや多くなっています。

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

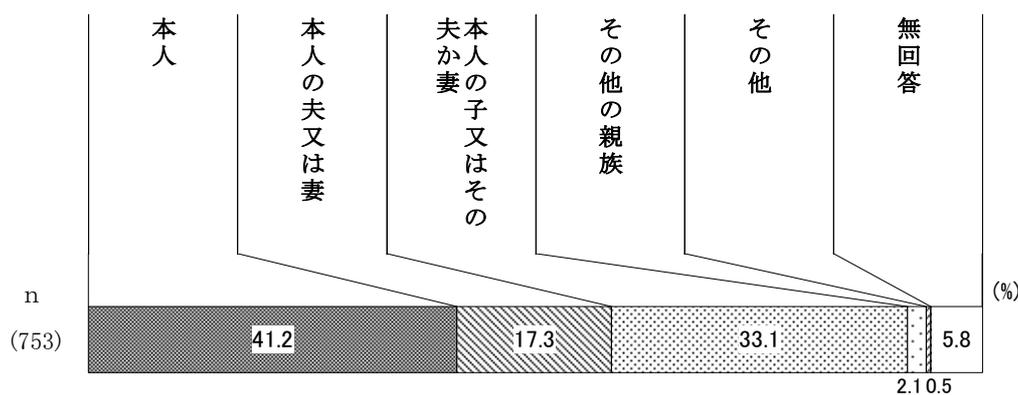
- 介護保険サービスと保険料の関係については、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が35.6%で最も多く、これに「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が26.7%で次いでいます。
平成19年の調査結果と比較すると、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」は22.9%から26.7%へ増加しています。
- 生活支援サービスの利用状況をみると、「バス乗車券の交付」が41.0%で最も多く、「紙おむつの給付」(31.7%)、「住宅改修費の助成」(31.5%)、「各種健(検)診など」(24.2%)の順で続いています。
- 要介護者を対象とした高齢者福祉サービスの今後の利用意向をみると、「福祉タクシー利用費の助成」が54.2%で最も多く、「住宅改修費の助成」(49.1%)、「通院ヘルプサービス」(47.4%)、「紙おむつの給付」(47.0%)、「入院患者のおむつ代の助成」(43.7%)の順で続いています。
- 高齢者保健福祉サービスの今後の利用意向をみると、「各種健(検)診など」が42.2%で最も多く、「緊急通報電話の貸与」(38.0%)、「はり・きゅう・マッサージ利用券の交付」(37.7%)、「補聴器購入費の助成」(35.7%)、「バス乗車券の交付」(35.2%)の順で続いています。
- 災害時に自力で避難「できる」は21.9%で、「できない」が71.3%を占めています。
- 災害時の不安は、「避難所まで移動できるか」が68.3%で最も多く、「まわりの人に助けてもらえるか」(61.4%)、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」(57.2%)、「避難所での介護、看護をしてもらえるか」(55.6%)の順で続いています。
- いざという時のために、避難の手伝いや介助をお願いすることについては、「ぜひ協力してほしい」が50.2%で最も多く、これに「いざという時以外もプライバシーが守られれば、協力してほしい」(26.6%)が次いでいます。
- 今後の過ごし方については、「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせ生活したい」(39.6%)と「在宅で、介護保険サービスを受けながら生活したい」(36.5%)が、いずれも3割を超えて多くなっています。
- 浦安市が力を入れるべきことは、「特別養護老人ホームなどの施設を増やす」が48.2%で最も多く、「家族介護の負担を軽減する」(40.1%)、「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する」(35.7%)、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの人材を育成する」(25.9%)、「サービス事業者の質の向上に努める」(25.4%)の順で続いています。
- 介護家族の要望は、「介護に関する相談機能の充実」(38.5%)と「家族など介護者のリフレッシュのための制度」(37.1%)の二つの項目が、4割近くと多くなっています。

2. 基本属性について

問1 この調査にお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

回答記入者は、「あて名ご本人」(41.2%)と「あて名ご本人の子又はその夫か妻」(33.1%)に分かれています。

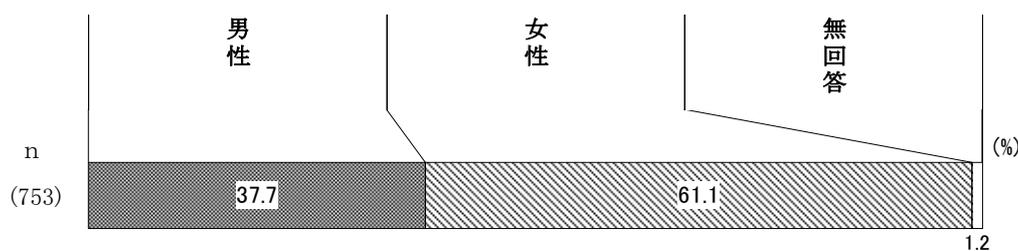
図2-1 調査の回答者



問2 性別は。

性別は、「男性」37.7%、「女性」61.1%と、女性が多くなっています。

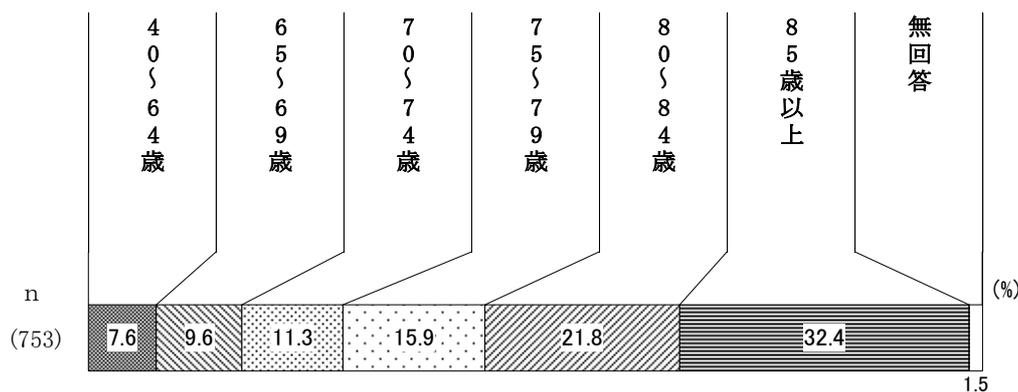
図2-2 性別



問3 平成22年10月1日現在の年齢は。

年齢は、「85歳以上」が32.4%と最も多く、これに「80～84歳」が21.8%で次いでいます。

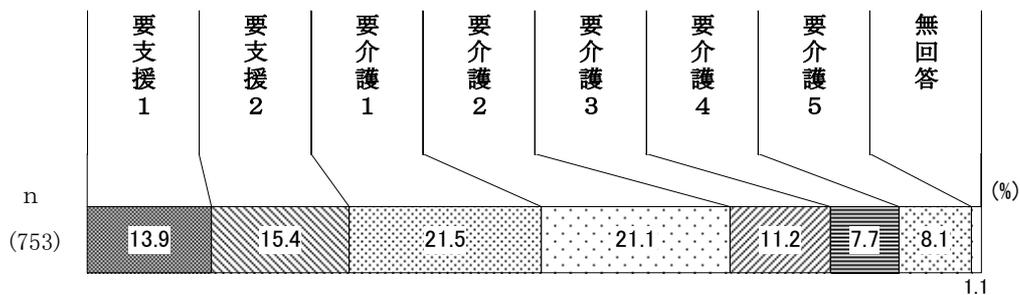
図2-3 年齢



問4 現在の要介護度は。

要介護度は、「要介護1」が21.5%で最も多く、これに「要介護2」が21.1%で次いでいます。

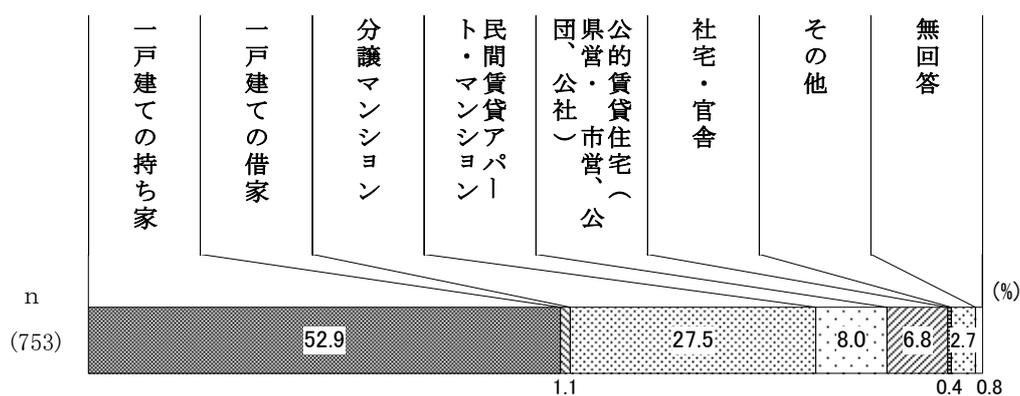
図2-4 現在の要介護度



問5 お住まいは。(〇は1つだけ)

住宅の種類は、「一戸建ての持ち家」が52.9%と最も多く、これに「分譲マンション」が27.5%で次いでいます。

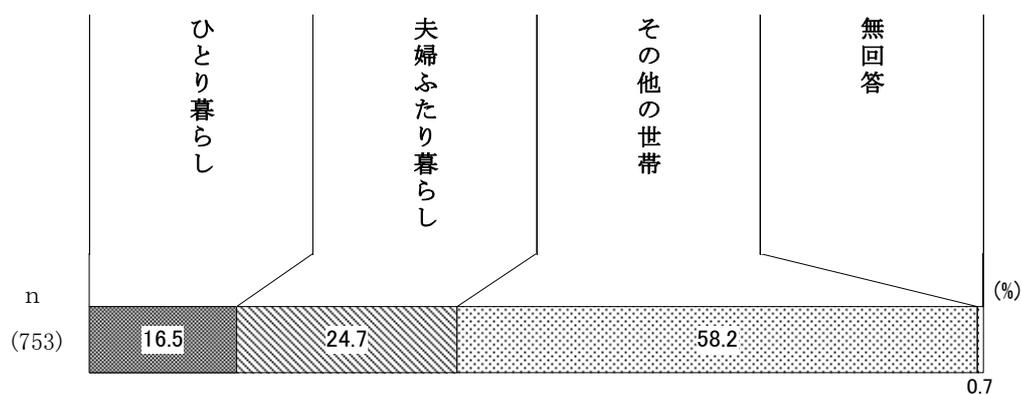
図2-5 住んでいる住宅



問6 同居されているご家族は。(〇は1つだけ)

同居家族は、「その他の世帯」が58.2%で最も多く、これに「夫婦ふたり暮らし」が24.7%で次いでいます。

図2-6 同居家族



問7 お住まいの地区は。(〇は1つだけ)

居住地区は、各地区に分散していますが、その中では「堀江」が12.9%とやや多くなっています。

日常生活圏域別は、元町地区が44.9%、中町地区が42.1%、新町地区は12.2%となっています。

図2-7 居住地区

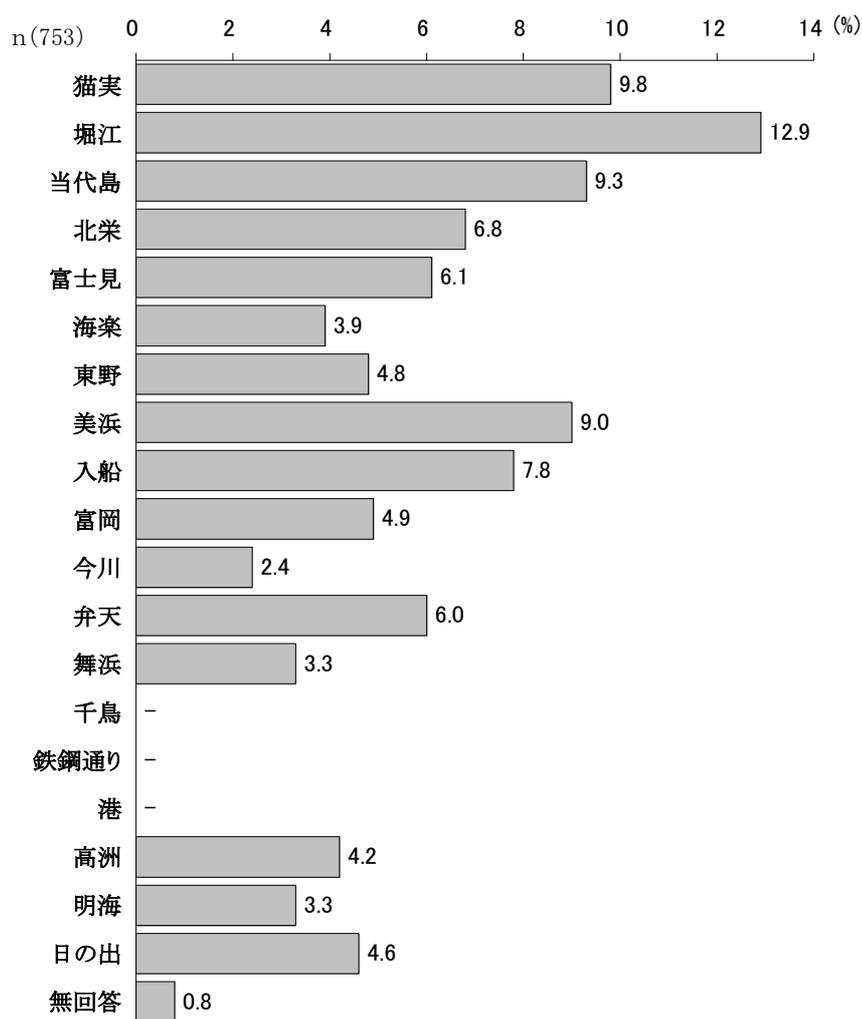
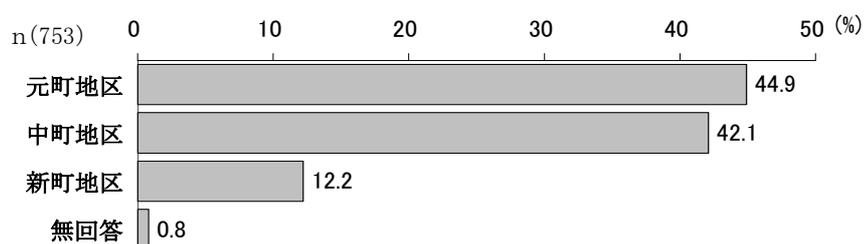


図2-8 居住地区（日常生活圏域別）



3. 介護保険サービスの利用状況や利用意向について

問8 9月に利用した居宅サービスの利用者負担(利用料)の合計はいくらでしたか。
(○は1つだけ)

9月に利用した居宅サービスの利用者負担(利用料)は各項目に分散していますが、その中では「1万円～2万円未満」が18.5%とやや多くなっています。

図2-9 利用者負担の合計(9月分)

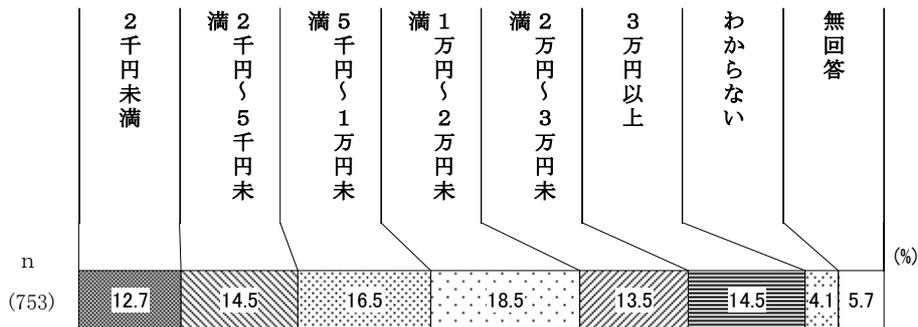


表2-1 要介護度別 利用者負担の合計

	調査数	2千円未満	2千円～5千円未	5千円～1万円未	1万円～2万円未	2万円～3万円未	3万円以上	わからない	無回答
全体	753	96	109	124	139	102	109	31	43
	100.0	12.7	14.5	16.5	18.5	13.5	14.5	4.1	5.7
問4 要介護度									
要支援1	105	33	27	20	7	4	-	4	10
	100.0	31.4	25.7	19.0	6.7	3.8	-	3.8	9.5
要支援2	116	25	37	20	16	2	2	4	10
	100.0	21.6	31.9	17.2	13.8	1.7	1.7	3.4	8.6
要介護1	162	18	15	46	39	23	13	2	6
	100.0	11.1	9.3	28.4	24.1	14.2	8.0	1.2	3.7
要介護2	159	16	16	21	40	24	25	8	9
	100.0	10.1	10.1	13.2	25.2	15.1	15.7	5.0	5.7
要介護3	84	2	7	10	16	24	20	3	2
	100.0	2.4	8.3	11.9	19.0	28.6	23.8	3.6	2.4
要介護4	58	1	4	6	10	12	19	4	2
	100.0	1.7	6.9	10.3	17.2	20.7	32.8	6.9	3.4
要介護5	61	1	2	1	9	11	30	6	1
	100.0	1.6	3.3	1.6	14.8	18.0	49.2	9.8	1.6

上段：人/下段：%

表2-2 経年比較 利用者負担の合計

	調査数	2千円未満	2千円～5千円未	5千円～1万円未	1万円～2万円未	2万円～3万円未	3万円以上	わからない	無回答
平成19年	847人	10.6	15.3	15.1	18.4	10.7	11.6	8.4	9.8
平成22年	753人	12.7	14.5	16.5	18.5	13.5	14.5	4.1	5.7

問9 サービスの種類や回数は希望どおり利用できていますか。(〇は1つだけ)

希望どおりのサービスが受けられているかについては、「ほぼ希望どおり利用している」が84.6%を占めています。「サービスによっては、希望を下回っているものがある」は、8.9%となっています。

図2-10 サービスを希望どおり利用できているか

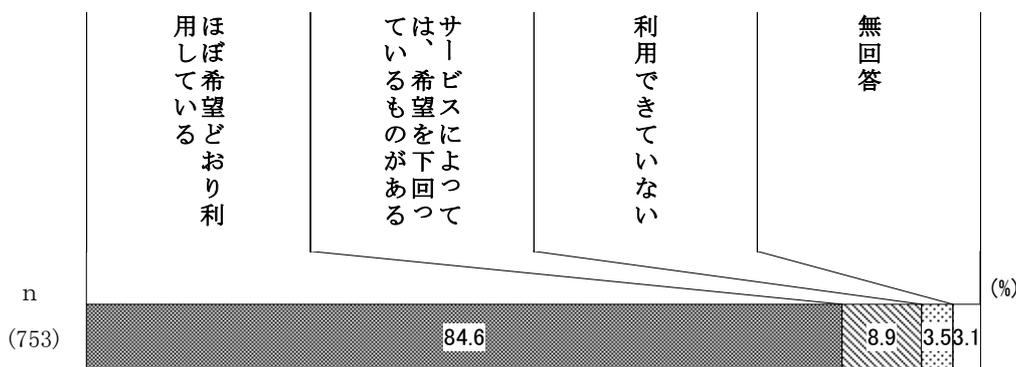


表2-3 経年比較 サービスを希望どおり利用できているか

	調査数	ほぼ希望どおり利用している	サービスによっては、希望を下回っているものがある	利用できていない	無回答	(%)
平成19年	847人	81.7	8.0	3.4	6.8	
平成22年	753人	84.6	8.9	3.5	3.1	

問10 現在利用されている介護保険サービス全般に満足していますか。(○は1つだけ)

現在、利用している介護保険サービスについては、「満足している」が39.2%で、これに「やや満足している」の16.5%を合わせた【満足】は55.7%となっています。また、「ふつう」は34.4%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、【満足】は51.0%から55.7%へ増加しています。

図2-11 介護保険サービス全般の満足度

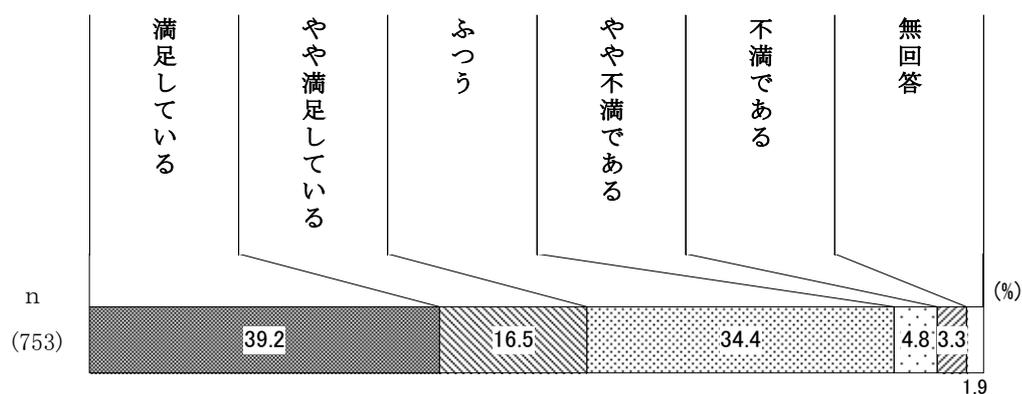


表2-4 要介護度別・同居家族別 介護保険サービス全般の満足度

	調査数	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体	753	295	124	259	36	25	14
	100.0	39.2	16.5	34.4	4.8	3.3	1.9

上段：人数／下段：%

問4 要介護度

要支援1	105	44	9	40	2	5	5
	100.0	41.9	8.6	38.1	1.9	4.8	4.8
要支援2	116	53	20	37	1	4	1
	100.0	45.7	17.2	31.9	0.9	3.4	0.9
要介護1	162	56	35	53	16	1	1
	100.0	34.6	21.6	32.7	9.9	0.6	0.6
要介護2	159	59	22	63	8	5	2
	100.0	37.1	13.8	39.6	5.0	3.1	1.3
要介護3	84	40	14	22	2	6	-
	100.0	47.6	16.7	26.2	2.4	7.1	-
要介護4	58	22	10	21	3	1	1
	100.0	37.9	17.2	36.2	5.2	1.7	1.7
要介護5	61	17	13	22	4	3	2
	100.0	27.9	21.3	36.1	6.6	4.9	3.3

問6 同居家族

ひとり暮らし	124	47	19	45	7	5	1
	100.0	37.9	15.3	36.3	5.6	4.0	0.8
夫婦ふたり暮らし	186	80	32	57	8	5	4
	100.0	43.0	17.2	30.6	4.3	2.7	2.2
その他の世帯	438	166	72	157	21	15	7
	100.0	37.9	16.4	35.8	4.8	3.4	1.6

表2-5 経年比較 介護保険サービス全般の満足度

	調査数	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
平成19年	847人	39.1	11.9	33.1	7.6	3.3	5.1
平成22年	753人	39.2	16.5	34.4	4.8	3.3	1.9

(%)

- 問11 介護保険サービスごとの満足度についておうかがいします。
- A. 利用しているサービスに○をつけてください。
 - B. 利用しているサービスに満足していますか。(あてはまる番号に○)
 - C. 不満なサービスは、その理由に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

利用しているサービスについては、「通所介護（デイサービス）」が49.5%で最も多く、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（44.8%）、「訪問介護（生活援助）」（23.8%）、「住宅改修費の支給」（23.5%）、「訪問介護（身体介護）」（21.4%）の順で続いています。

図2-12 介護保険サービスの利用状況

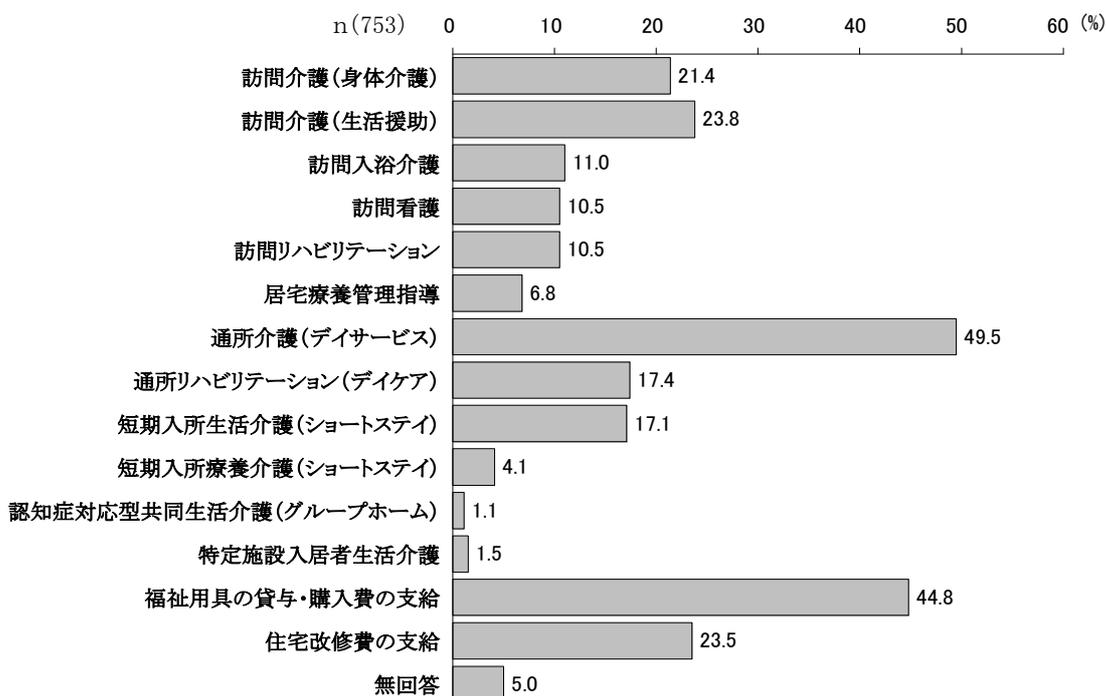


表2-6 要介護度別 介護保険サービスの利用状況

上段：人数 / 下段：%

	調査数	訪問介護(身体介護)	訪問介護(生活援助)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護(ショートステイ)	短期入所療養介護(ショートステイ)	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	特定施設入居者生活介護	福祉用具の貸与・購入費の支給	住宅改修費の支給	無回答
全体	753	161	179	83	79	79	51	373	131	129	31	8	11	337	177	38
	100.0	21.4	23.8	11.0	10.5	10.5	6.8	49.5	17.4	17.1	4.1	1.1	1.5	44.8	23.5	5.0
問4 要介護度																
要支援1	105	15	39	2	4	2	1	36	14	6	1	-	1	25	18	12
	100.0	14.3	37.1	1.9	3.8	1.9	1.0	34.3	13.3	5.7	1.0	-	1.0	23.8	17.1	11.4
要支援2	116	10	46	3	3	3	4	40	17	1	-	-	1	23	21	6
	100.0	8.6	39.7	2.6	2.6	2.6	3.4	34.5	14.7	0.9	-	-	0.9	19.8	18.1	5.2
要介護1	162	26	29	6	6	13	6	95	29	24	2	5	3	55	30	7
	100.0	16.0	17.9	3.7	3.7	8.0	3.7	58.6	17.9	14.8	1.2	3.1	1.9	34.0	18.5	4.3
要介護2	159	28	24	16	11	16	3	91	38	36	8	-	3	89	46	6
	100.0	17.6	15.1	10.1	6.9	10.1	1.9	57.2	23.9	22.6	5.0	-	1.9	56.0	28.9	3.8
要介護3	84	19	10	9	6	12	3	53	15	26	9	2	-	51	26	3
	100.0	22.6	11.9	10.7	7.1	14.3	3.6	63.1	17.9	31.0	10.7	2.4	-	60.7	31.0	3.6
要介護4	58	24	12	17	15	13	9	28	9	16	6	1	-	47	18	1
	100.0	41.4	20.7	29.3	25.9	22.4	15.5	48.3	15.5	27.6	10.3	1.7	-	81.0	31.0	1.7
要介護5	61	38	19	30	34	20	25	26	8	19	4	-	3	44	18	1
	100.0	62.3	31.1	49.2	55.7	32.8	41.0	42.6	13.1	31.1	6.6	-	4.9	72.1	29.5	1.6

表2-7 経年比較 介護保険サービスの利用状況

	調査数	訪問介護(身体介護)	訪問介護(生活援助)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護(ショートステイ)	短期入所療養介護(ショートステイ)	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	特定施設入居者生活介護	福祉用具の貸与・購入費の支給	住宅改修費の支給	無回答
平成19年	847人	22.8	27.3	6.6	7.4	9.0	4.7	39.6	10.4	14.9	2.7	1.4	5.4	32.2	18.4	13.7
平成22年	753人	21.4	23.8	11.0	10.5	10.5	6.8	49.5	17.4	17.1	4.1	1.1	1.5	44.8	23.5	5.0

利用者のうち、【不満】(「やや不満」と「不満」の合計)の評価の多いものとしては「短期入所生活介護」(18.6%)、「短期入所療養介護」(19.3%)、「認知症対応型共同生活介護」(25.0%)、「特定施設入居者生活介護」(27.3%)があげられます。

(注) 上記のサービスは、利用者数が少ないことを念頭に置いて、数字を見る必要があります。

図2-13 介護保険サービスの満足度

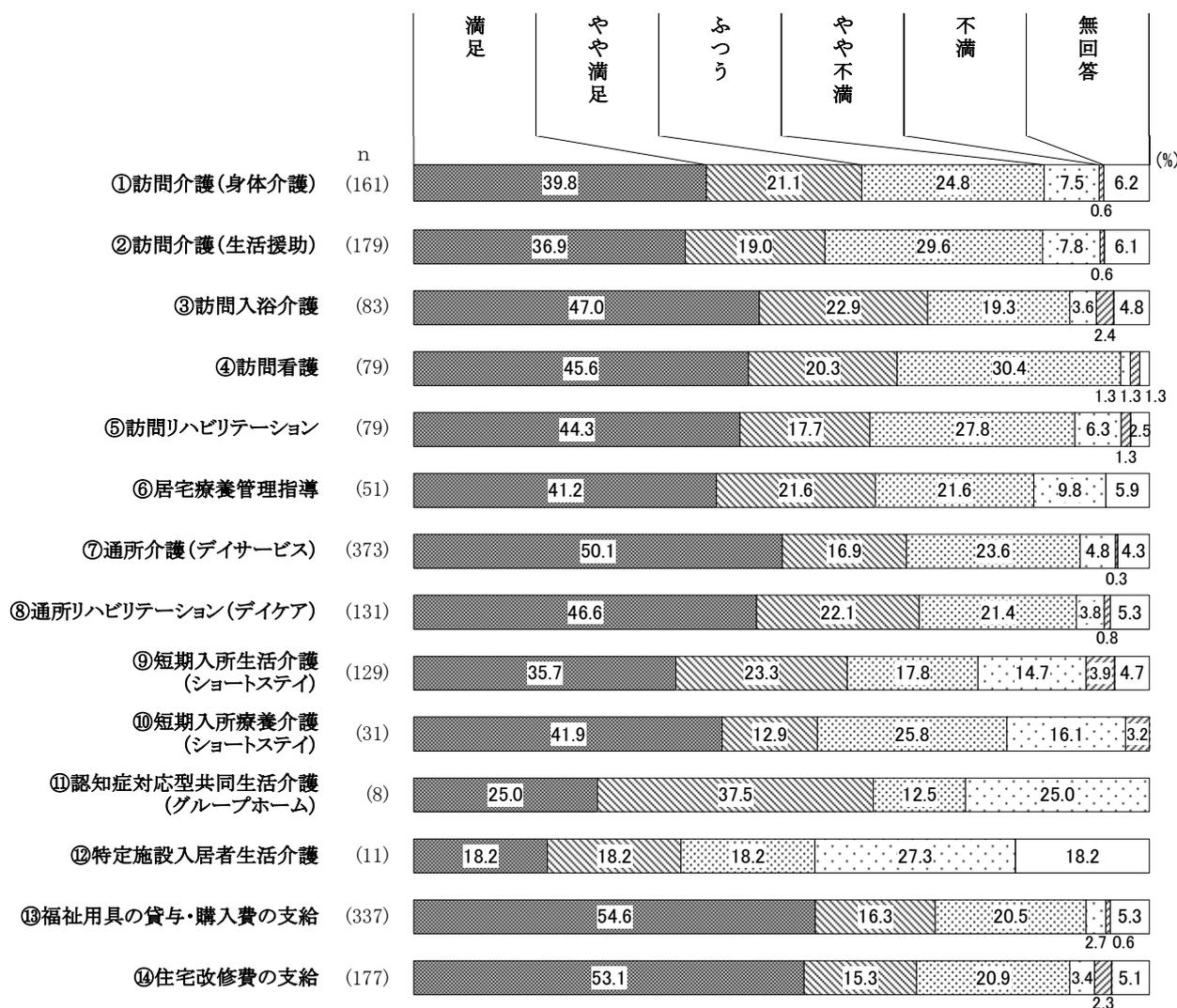


表2-8 経年比較 介護保険サービスの満足度

(%)

	調査数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
--	-----	----	------	-----	------	----	-----

①訪問介護（身体介護）

平成19年	193人	49.7	17.1	19.7	5.2	2.6	5.7
平成22年	161人	39.8	21.1	24.8	7.5	0.6	6.2

②訪問介護（生活援助）

平成19年	231人	48.1	15.6	22.9	5.6	0.4	7.4
平成22年	179人	36.9	19.0	29.6	7.8	0.6	6.1

③訪問入浴介護

平成19年	76人	52.6	14.5	21.1	1.3	0.0	10.5
平成22年	83人	47.0	22.9	19.3	3.6	2.4	4.8

④訪問看護

平成19年	56人	44.6	19.6	19.6	5.4	0.0	10.7
平成22年	79人	45.6	20.3	30.4	1.3	1.3	1.3

⑤訪問リハビリテーション

平成19年	63人	42.9	14.3	25.4	3.2	1.6	12.7
平成22年	79人	44.3	17.7	27.8	6.3	1.3	2.5

⑥居宅療養管理指導

平成19年	40人	40.0	12.5	35.0	0.0	0.0	12.5
平成22年	51人	41.2	21.6	21.6	9.8	-	5.9

⑦通所介護（デイサービス）

平成19年	335人	46.0	21.5	20.9	3.9	0.3	7.5
平成22年	373人	50.1	16.9	23.6	4.8	0.3	4.3

	調査数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
--	-----	----	------	-----	------	----	-----

⑧通所リハビリテーション（デイケア）

平成19年	88人	30.7	20.5	30.7	9.1	0.0	9.1
平成22年	131人	46.6	22.1	21.4	3.8	0.8	5.3

⑨短期入所生活介護（ショートステイ）

平成19年	126人	43.7	19.0	19.0	11.1	2.4	4.8
平成22年	129人	35.7	23.3	17.8	14.7	3.9	4.7

⑩短期入所療養介護（ショートステイ）

平成19年	23人	8.7	30.4	21.7	13.0	4.3	21.7
平成22年	31人	41.9	12.9	25.8	16.1	3.2	-

⑪認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

平成19年	12人	41.7	33.3	0.0	0.0	8.3	16.7
平成22年	8人	25.0	37.5	12.5	25.0	-	-

⑫特定施設入居者生活介護

平成19年	46人	39.1	19.6	8.7	17.4	2.2	13.0
平成22年	11人	18.2	18.2	18.2	27.3	-	18.2

⑬福祉用具の貸与・購入費の支給

平成19年	273人	53.1	11.0	26.0	1.5	0.7	7.7
平成22年	337人	54.6	16.3	20.5	2.7	0.6	5.3

⑭住宅改修費の支給

平成19年	156人	53.8	12.2	19.9	1.3	1.3	11.5
平成22年	177人	53.1	15.3	20.9	3.4	2.3	5.1

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

「やや不満」「不満」の理由としては、「回数や時間が足りない」が、「訪問介護（身体介護）」「訪問リハビリテーション」「訪問介護（生活援助）」「通所介護（デイサービス）」で多く、それぞれ（53.8%）（50.0%）（46.7%）（42.1%）となっています。「利用料が高い」では、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（54.5%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（50.0%）と多くなっています。

表2-9 「やや不満」「不満」の理由

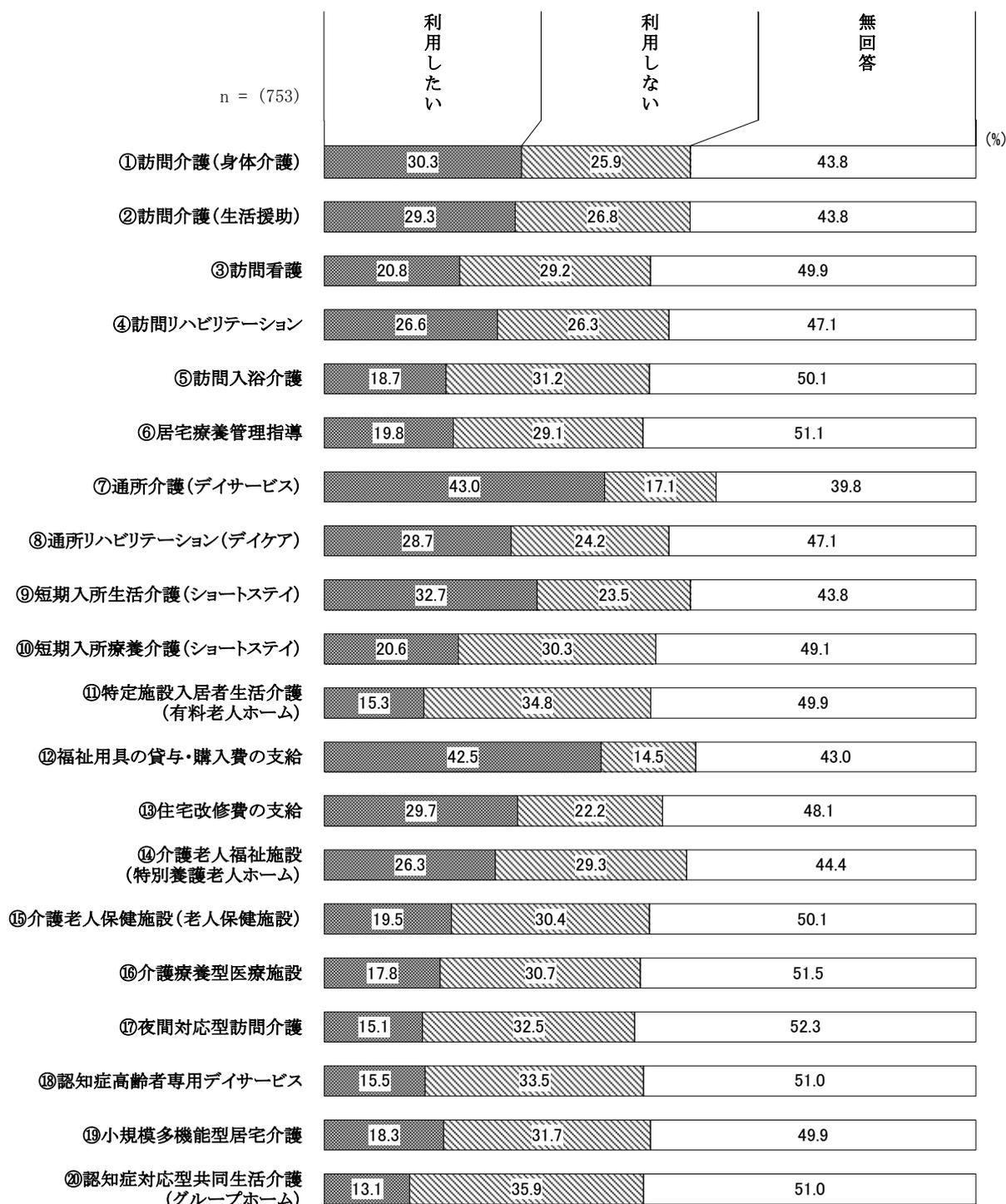
上段：人数／下段：%

	調査数	回数や時間が足りない	利用の日時が合わない	サービス提供事業者の対応がよくない	契約とサービス内容が違っている	利用料が高い	事業者と家族との連携が取れていない	その他	無回答
①訪問介護（身体介護）	13 100.0	7 53.8	- -	1 7.7	1 7.7	1 7.7	- -	3 23.1	2 15.4
②訪問介護（生活援助）	15 100.0	7 46.7	1 6.7	- -	1 6.7	1 6.7	- -	3 20.0	3 20.0
③訪問入浴介護	5 100.0	1 20.0	2 40.0	- -	2 40.0	- -	- -	1 20.0	1 20.0
④訪問看護	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
⑤訪問リハビリテーション	6 100.0	3 50.0	- -	- -	- -	2 33.3	- -	1 16.7	- -
⑥居宅療養管理指導	5 100.0	- -	- -	- -	- -	2 40.0	- -	2 40.0	1 20.0
⑦通所介護（デイサービス）	19 100.0	8 42.1	3 15.8	1 5.3	1 5.3	- -	1 5.3	4 21.1	1 5.3
⑧通所リハビリテーション（デイケア）	6 100.0	1 16.7	- -	1 16.7	- -	1 16.7	- -	3 50.0	- -
⑨短期入所生活介護（ショートステイ）	24 100.0	3 12.5	3 12.5	6 25.0	- -	12 50.0	2 8.3	10 41.7	- -
⑩短期入所療養介護（ショートステイ）	6 100.0	- -	- -	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	- -
⑪認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	2 100.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -
⑫特定施設入居者生活介護	3 100.0	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	2 66.7	- -
⑬福祉用具の貸与・購入費の支給	11 100.0	- -	- -	- -	- -	6 54.5	- -	4 36.4	1 9.1
⑭住宅改修費の支給	10 100.0	- -	- -	2 20.0	- -	3 30.0	- -	5 50.0	2 20.0

問12 今後、どのような「介護保険サービス」を利用したいですか。以下の①～⑳のサービスごとにお答えください。(以下の①～⑳〇はそれぞれ1つだけ)

今後の利用意向をみると、「通所介護（デイサービス）」が43.0%で最も多く、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（42.5%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（32.7%）、「訪問介護（身体介護）」（30.3%）、「住宅改修費の支給」（29.7%）、「訪問介護（生活援助）」（29.3%）の順で続いています。

図2-14 今後の利用意向

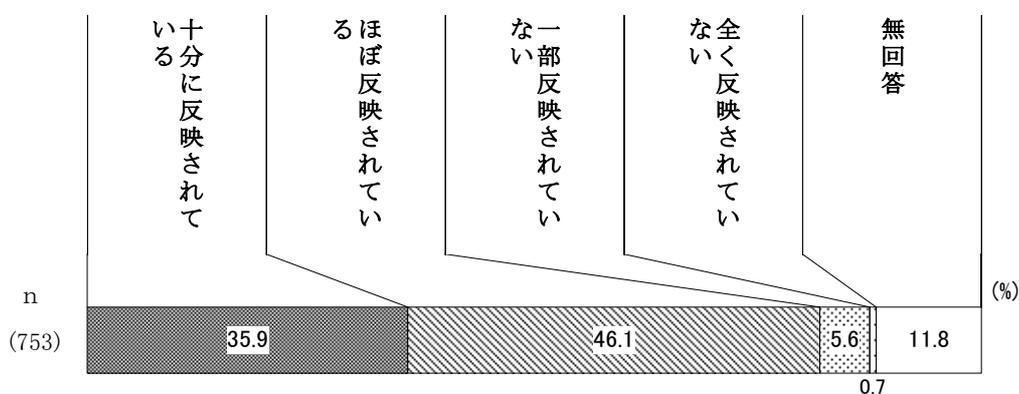


4. 居宅サービス計画と介護支援専門員について

問13 現在お使いの居宅サービス計画（ケアプラン）には、あなたやご家族の希望は反映されていますか。（○は1つだけ）

居宅サービス利用者の意向がケアプランに反映されているかについては、「十分に反映されている」が35.9%で、これに「ほぼ反映されている」の46.1%を合わせた【反映されている】は82.0%と8割を超えています。

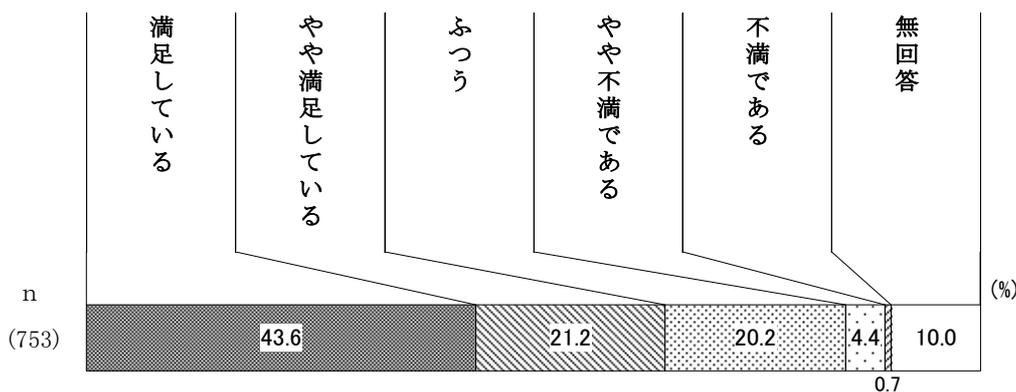
図2-15 居宅サービス計画に希望が反映されているか



問14 あなたは、ケアプランの内容に満足していますか。（○は1つだけ）

ケアプランの内容に対して、「満足している」は43.6%で、これに「やや満足している」(21.2%)を合わせた【満足】は64.8%となっています。また、「ふつう」は20.2%、「やや不満である」は4.4%、「不満である」は0.7%となっています。

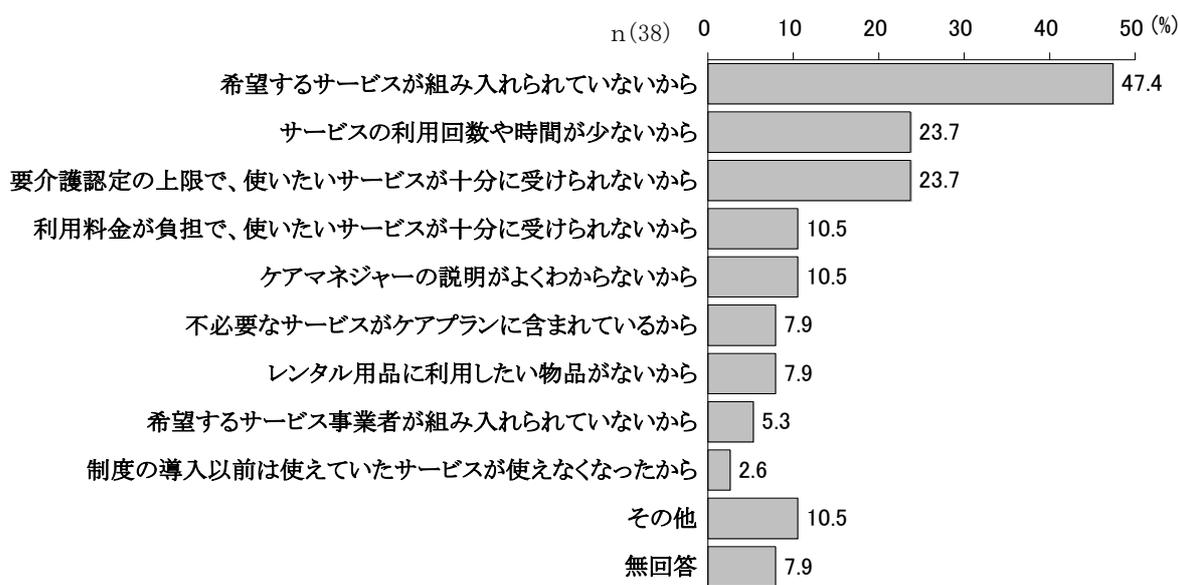
図2-16 ケアプランの満足度



「問14で「4 やや不満である」又は「5 不満である」とお答えの方におうかがいします。」
 問14-1 ケアプランのどのような点に不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

ケアプランの内容に不満がある理由は、「希望するサービスが組み入れられていないから」が47.4%で最も多く、「サービスの利用回数や時間が少ないから」「要介護認定による利用の制限(上限)があるため、使いたいサービスが十分に受けられないから」がともに23.7%で次いでいます。

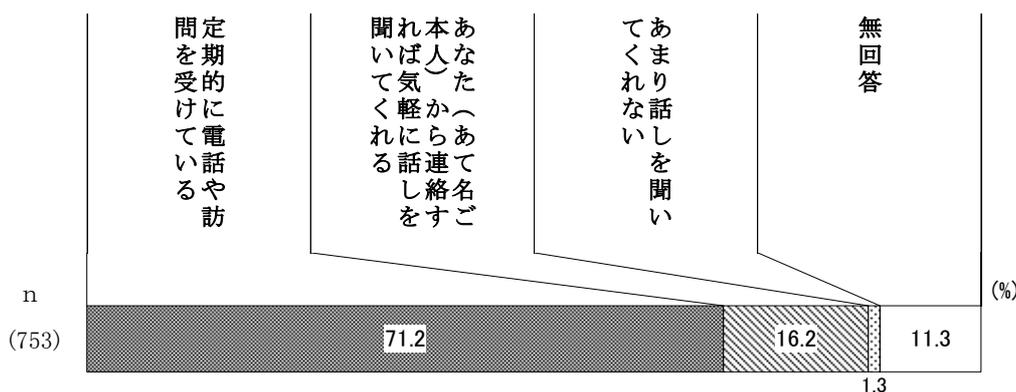
図2-17 ケアプランの不満点



問15 ケアマネジャーは、ケアプラン作成後も、あなたの様子を気にかけて、要望・意見を聞いてくれますか。(○は1つだけ)

ケアプラン作成後のケアマネジャーの対応については、「定期的に電話や訪問を受けている」が71.2%で最も多く、これに「あなた(あて名ご本人)から連絡すれば気軽に話しを聞いてくれる」が16.2%で次いでいます。

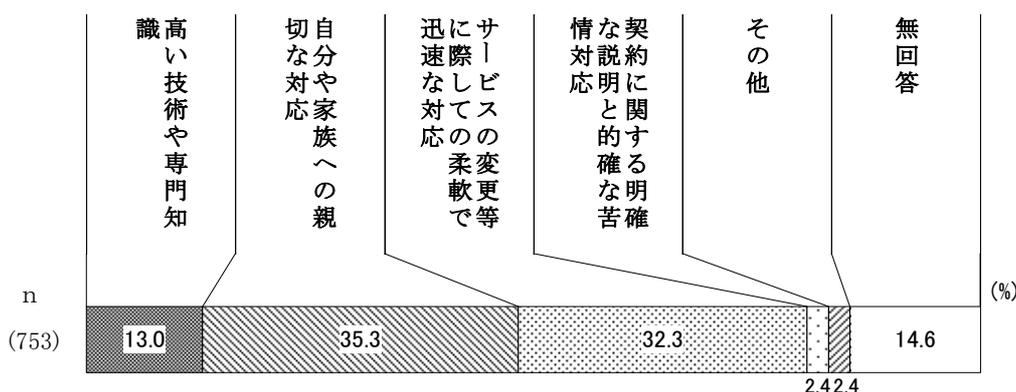
図2-18 ケアプラン作成後のケアマネジャーの対応



問16 ケアマネジャーやサービス事業者が一番望むことは何ですか。(〇は1つだけ)

ケアマネジャーやサービス事業者が一番望むことは、「自分や家族への親切な対応」(35.3%)と「サービスの変更等に際しての柔軟で迅速な対応」(32.3%)が、いずれも3割を超えています。

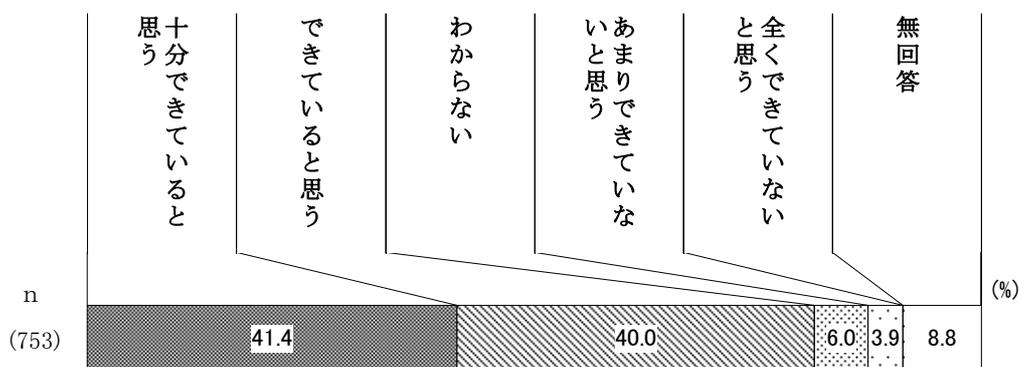
図2-19 ケアマネジャーやサービス事業者に望むこと



問17 ケアマネジャーは、各サービス事業者やサービス担当者との連携は十分だと思いますか。(〇は1つだけ)

ケアマネジャーと、サービス事業者やサービス担当者との連携については、「十分できていると思う」が41.4%で、これに「できていると思う」(40.0%)を合わせた【肯定的評価】は81.4%を占めています。

図2-20 ケアマネジャーの各事業者や担当者との連携について

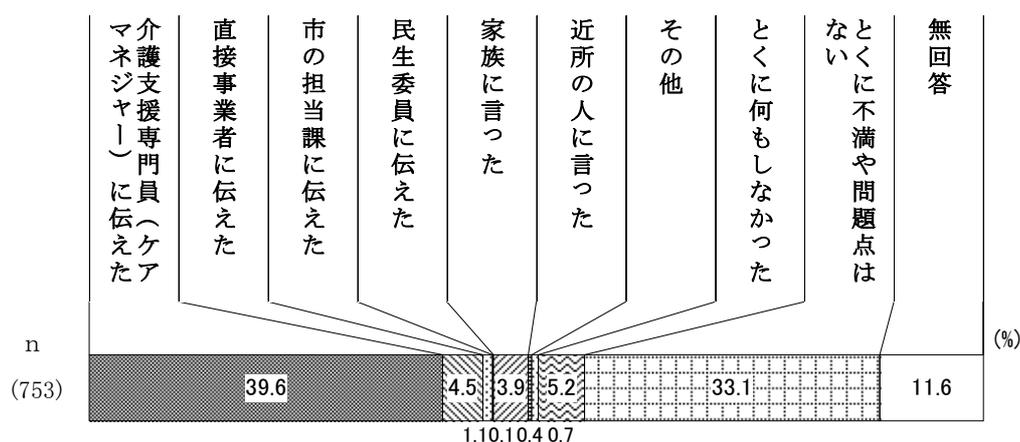


5. サービスの不満や問題点について

問18 これまでサービスを利用して感じた不満や問題点をどなたかに伝えましたか。
(○は1つだけ)

サービスを利用して感じた不満を伝えた先は、「介護支援専門員（ケアマネジャー）に伝えた」が39.6%と最も多くなっています。一方、「とくに不満や問題点はない」は33.1%になっています。

図2-21 不満や問題を伝えた人

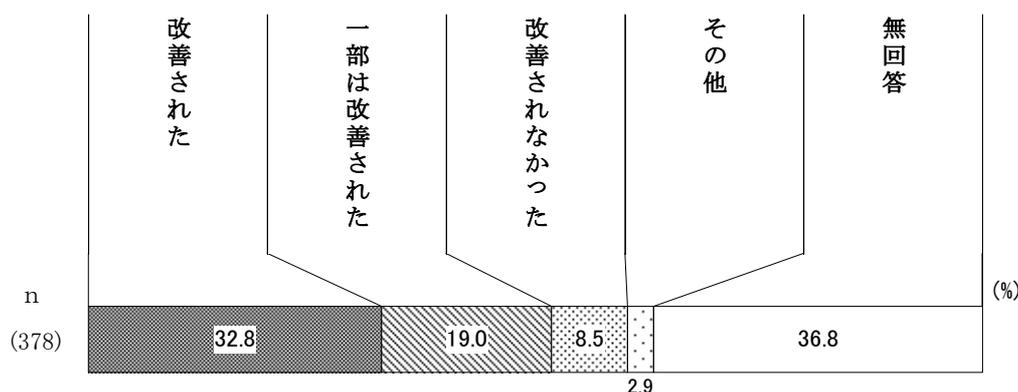


《問18で「1」～「7」とお答えの方におうかがいします。》

問18-1 どなたかに相談した結果、不満や問題点は改善されましたか。(○は1つだけ)

何らかの不満を誰かに伝えた人が、その不満や問題点が改善されたかについては、「改善された」は32.8%、「一部は改善された」は19.0%となっています。一方、「改善されなかった」は8.5%となっています。

図2-22 不満や問題点は改善された



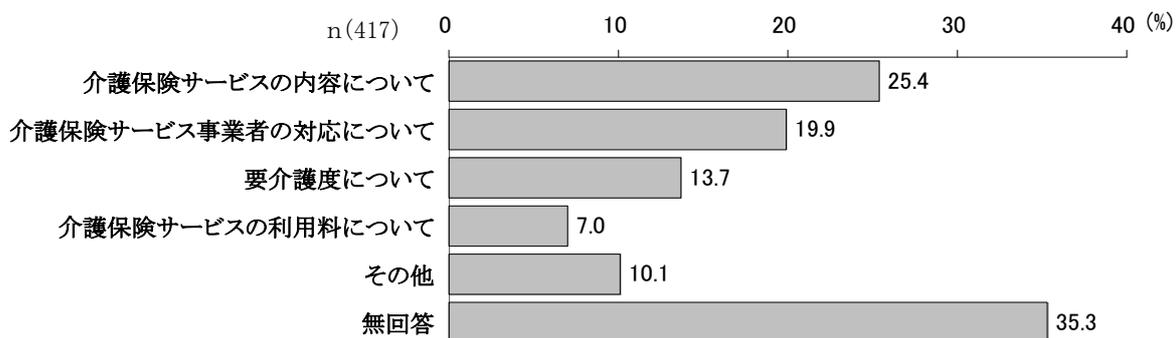
「問18で「1」～「8」とお答えの方におうかがいします。」

問18-3 これまでサービスを利用して感じた不満や問題点はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

サービスへの不満は、「介護保険サービスの内容について」が25.4%で最も多く、これに「介護保険サービス事業者の対応について」が19.9%で次いでいます。

図2-23 サービスを利用した不満や問題点



6. 保険料について

問19 介護保険制度は、高齢者等の介護を社会全体で支えるしくみであり、制度は皆さまからの保険料で成り立っています。あなたは、次にあげるような介護保険制度・しくみに関することがらをご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度の内容の周知度については、「介護保険サービスを利用するには、要介護認定を受ける必要があること」が81.8%で最も多く、これに「介護保険サービスを利用したら、利用料の1割を負担すること」(77.2%)が次いでいます。

図2-24 介護保険制度・しくみで知っていること

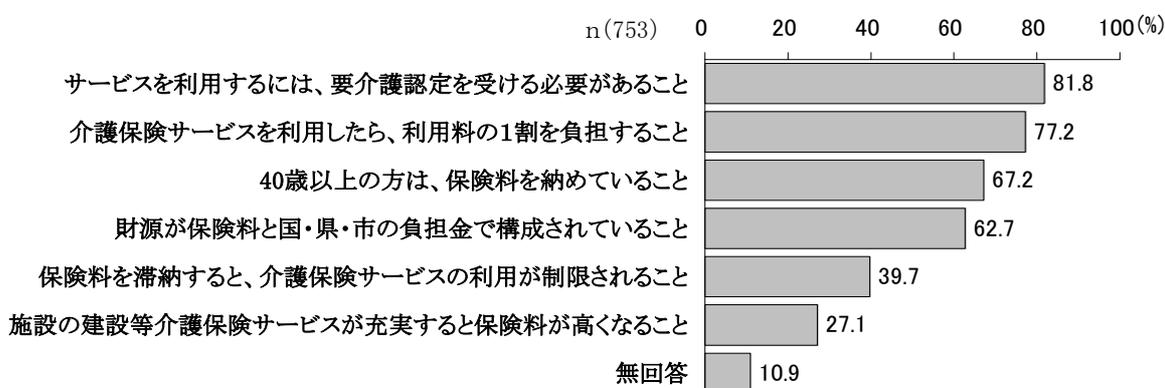


表2-10 要介護度別 介護保険制度・しくみで知っていること

調査項目	上段：人数 / 下段：%									
	調査数	必要があること	サービスを利用するに	割を払ったら、利用料の1割を負担すること	介護保険サービスの利用料を1割を負担すること	40歳以上の方は、保険料を納めていること	財源が市の負担金と国・県・市の負担金で構成されていること	介護保険サービスの利用が制限されること	施設が高くなること	無回答
全体	753	616	581	506	472	299	204	82		
	100.0	81.8	77.2	67.2	62.7	39.7	27.1	10.9		
問4 要介護度										
要支援1	105	72	64	59	50	33	22	22		
	100.0	68.6	61.0	56.2	47.6	31.4	21.0	21.0		
要支援2	116	94	89	77	75	50	38	14		
	100.0	81.0	76.7	66.4	64.7	43.1	32.8	12.1		
要介護1	162	130	129	104	104	69	43	16		
	100.0	80.2	79.6	64.2	64.2	42.6	26.5	9.9		
要介護2	159	134	127	103	98	67	49	15		
	100.0	84.3	79.9	64.8	61.6	42.1	30.8	9.4		
要介護3	84	75	66	64	55	28	23	6		
	100.0	89.3	78.6	76.2	65.5	33.3	27.4	7.1		
要介護4	58	54	53	47	42	22	15	2		
	100.0	93.1	91.4	81.0	72.4	37.9	25.9	3.4		
要介護5	61	51	47	48	43	29	11	5		
	100.0	83.6	77.0	78.7	70.5	47.5	18.0	8.2		
問6 同居家族										
ひとり暮らし	78	51	55	46	45	23	18	17		
	100.0	65.4	70.5	59.0	57.7	29.5	23.1	21.8		
夫婦ふたり暮らし	142	115	108	94	88	58	42	14		
	100.0	81.0	76.1	66.2	62.0	40.8	29.6	9.9		
その他の世帯	383	314	293	257	234	152	96	42		
	100.0	82.0	76.5	67.1	61.1	39.7	25.1	11.0		

表2-11 経年比較 介護保険制度・しくみで知っていること

(%)

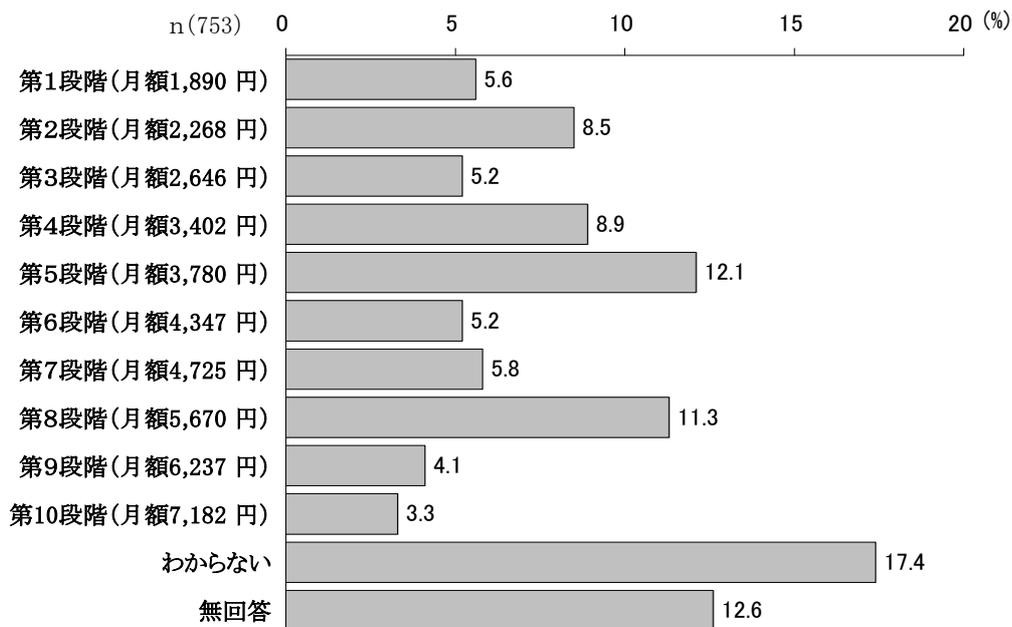
	調査数	は、サ 必要 が ある こと を受け る は、 要 が ある こと を受け る は、 要 が ある こと を受け る	割 を 負 担 す る こ と の 利 益	用 し た ら 、 サ ー ビ ス の 利 用 料 の 1 割	介 護 保 険 サ ー ビ ス の 利 用	4 0 歳 以 上 の 方 は、 保 険 料 を 納 め て い る こ と	さ ら に 、 保 険 料 と 国 庫 ・ 地 方 財 源 が 保 険 料 の 支 払 に 使 わ れ て い る こ と	財 源 が 保 険 料 と 国 庫 ・ 地 方 財 源 が 保 険 料 の 支 払 に 使 わ れ て い る こ と	用 が 制 限 さ れ る こ と の 利 益	保 険 料 を 滞 納 す る こ と の 利 益	保 険 料 が 高 く な る こ と の 利 益	施 設 の 建 設 等 介 護 保 険	無 回 答
平成19年	847人	75.0	74.3	63.9	61.3	35.4	21.5	16.1					
平成22年	753人	81.8	77.2	67.2	62.7	39.7	27.1	10.9					

(注)「40歳以上の方は、保険料を納めること」は、平成19年では「65歳以上の方は、全員保険料を支払っていること」

問20 あなたが現在お支払いの介護保険料は何段階ですか。(○は1つだけ)

介護保険料の段階は、「第5段階(月額3,780円)」(12.1%)、「第8段階(月額5,670円)」(11.3%)が、1割を超えています。

図2-25 納めている介護保険料の段階



問21 問19の「6」のように、介護保険サービスが充実すると保険料は高くなります。介護保険サービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。
(○は1つだけ)

介護保険サービスと保険料の関係については、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が35.6%で最も多く、これに「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が26.7%で次いでいます。

平成19年の調査結果と比較すると、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」は22.9%から26.7%へ増加しています。

図2-26 介護保険サービスと保険料の考え方について

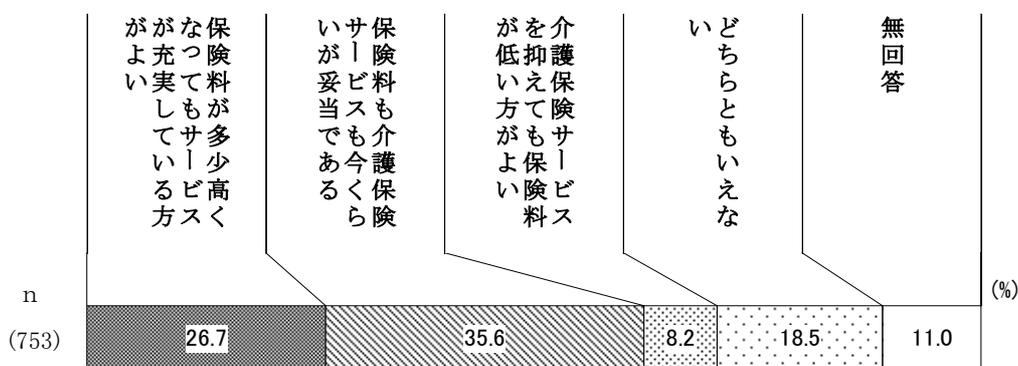


表2-12 経年比較 介護保険サービスと保険料の考え方について

	調査数	保険料が多少高くなってもサービスがよくなる方がよいが充実しない	保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である	介護保険サービスが低い方がよい	どちらともいえない	無回答
平成19年	847人	22.9	33.5	10.3	23.6	9.7
平成22年	753人	26.7	35.6	8.2	18.5	11.0

7. 生活支援サービスについて

問22 浦安市では、高齢者の生活を支援するために介護保険以外に次にあげるようなサービスを実施しています。あなたは、これらのサービスを利用していますか。また、今後これらのサービスを利用したいですか。(以下のサービスごとにあてはまるところに○)

要介護者を対象とした生活支援サービスの利用状況をみると、「紙おむつの給付」(31.7%)、「住宅改修費の助成」(31.5%)が、3割を超えて多く、「介護保険施設利用要介護者等送迎サービス」(22.4%)が続いています。

図2-27 高齢者福祉サービス（要介護者対象）の利用状況

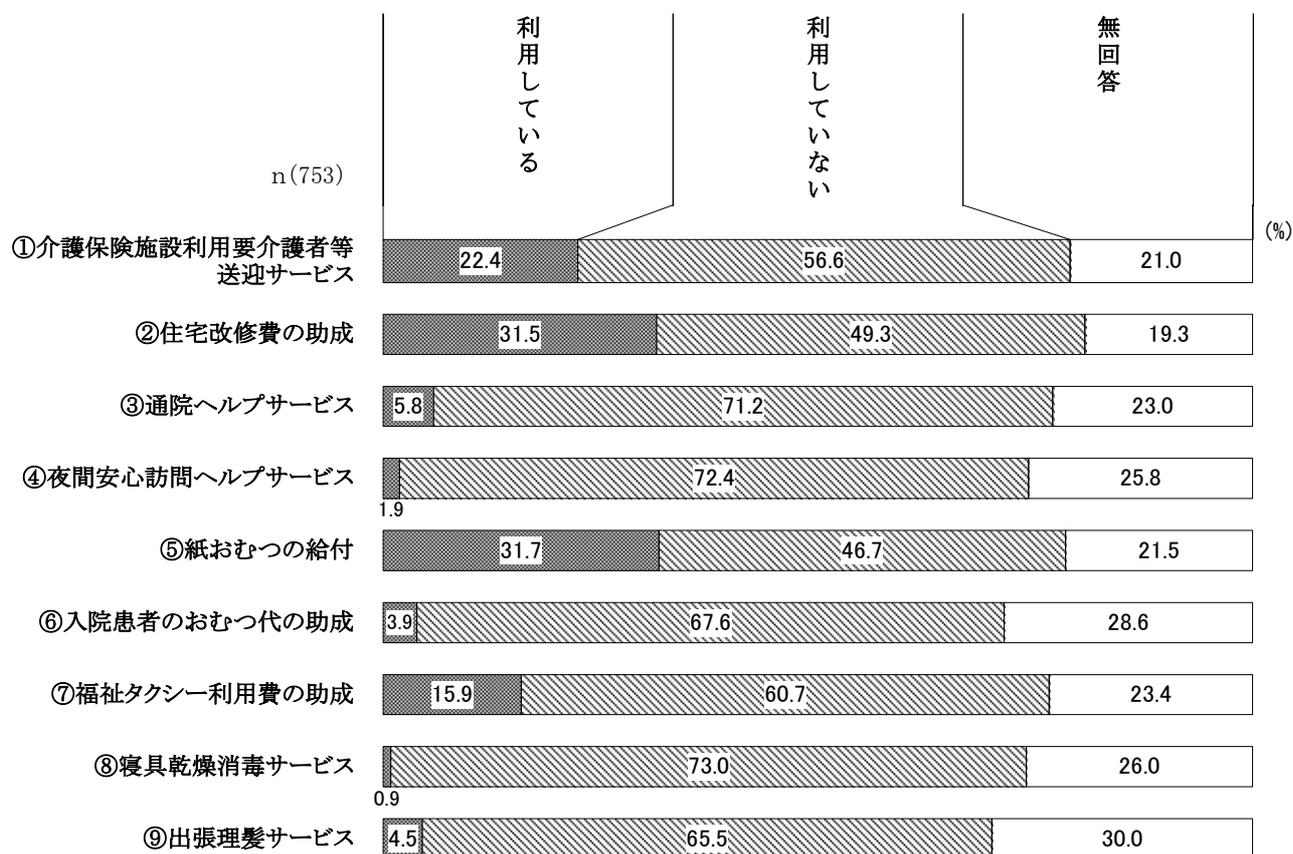


表2-13 経年比較 高齢者福祉サービス（要介護者対象）の利用状況
(%)

	調査数	利用している	利用していない	無回答
①介護保険施設利用要介護者等送迎サービス				
平成19年	847人	13.1	56.0	30.9
平成22年	753人	22.4	56.6	21.0
②住宅改修費の助成				
平成19年	847人	24.9	45.9	29.2
平成22年	753人	31.5	49.3	19.3
③紙おむつの給付				
平成19年	847人	28.1	43.4	28.5
平成22年	753人	31.7	46.7	21.5
④入院患者のおむつ代の助成				
平成19年	847人	3.2	59.7	37.1
平成22年	753人	3.9	67.6	28.6
⑤福祉タクシー利用費の助成				
平成19年	847人	11.6	55.6	32.8
平成22年	753人	15.9	60.7	23.4
⑥寝具乾燥消毒サービス				
平成19年	847人	1.1	63.9	35.1
平成22年	753人	0.9	73.0	26.0
⑦出張理髪サービス				
平成19年	847人	3.7	65.3	31.1
平成22年	753人	4.5	65.5	30.0

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

生活支援サービスの利用状況は、「バス乗車券の交付」が41.0%で最も多く、「各種健（検）診など」(24.2%)、「交通安全つえの給付」(13.5%)、「緊急通報電話の貸与」(12.7%)、「シルバーカー購入費の助成」(12.2%)の順で続いています。

図2-28 高齢者保健福祉サービスの利用状況

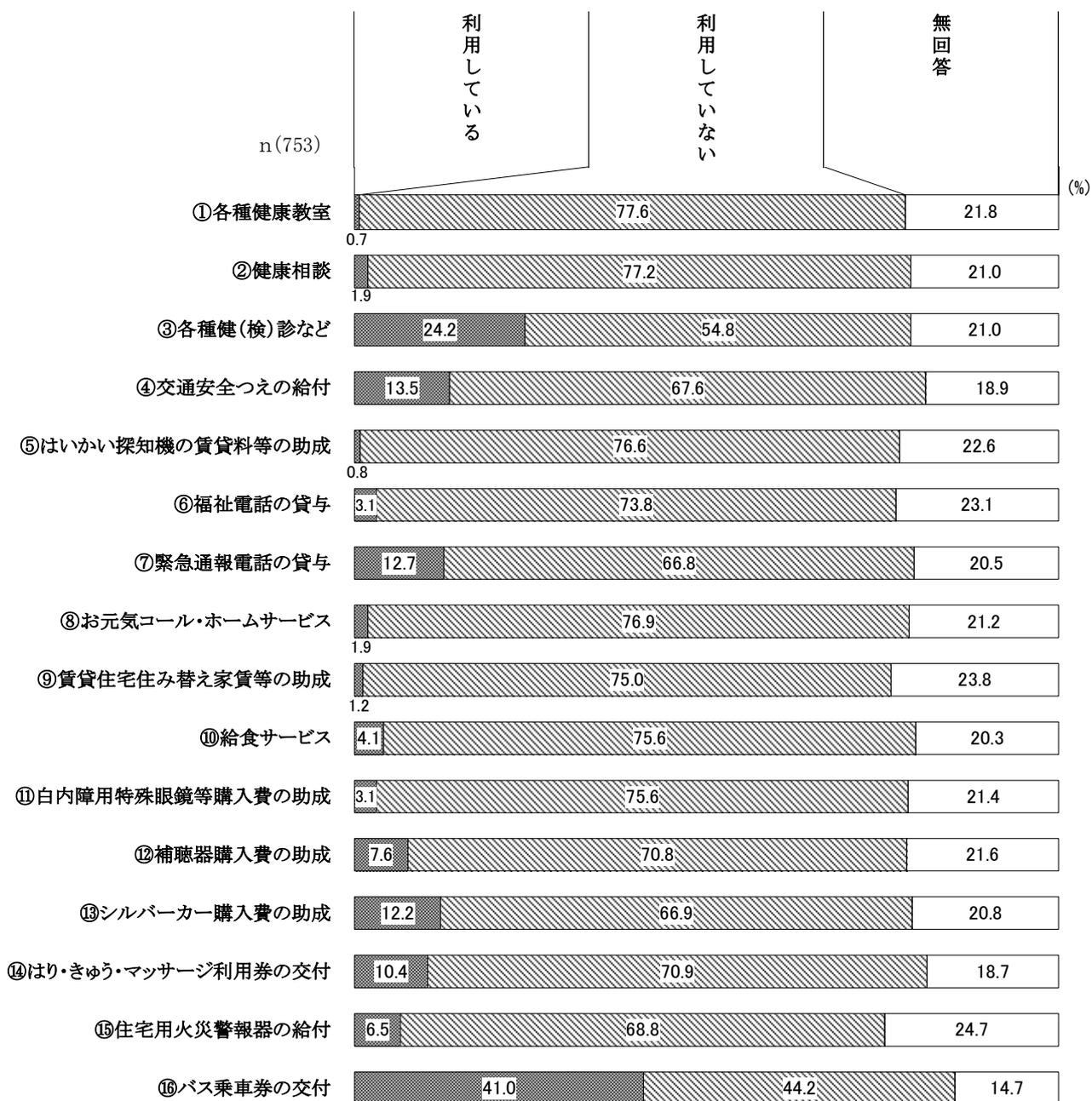


表2-14 経年比較 高齢者保健福祉サービスの利用状況

(%)

	調査数	利用している	利用していない	無回答
①各種健康教室				
平成19年	847人	1.1	70.5	28.5
平成22年	753人	0.7	77.6	21.8
②健康相談				
平成19年	847人	2.0	69.3	28.7
平成22年	753人	1.9	77.2	21.0
③各種健（検）診など				
平成19年	847人	17.7	52.2	30.1
平成22年	753人	24.2	54.8	21.0
④交通安全つえの給付				
平成19年	847人	15.0	57.4	27.6
平成22年	753人	13.5	67.6	18.9
⑥福祉電話の貸与				
平成19年	847人	2.7	65.1	32.2
平成22年	753人	3.1	73.8	23.1
⑦緊急通報電話の貸与				
平成19年	847人	13.1	59.5	27.4
平成22年	753人	12.7	66.8	20.5
⑧お元気コール・ホームサービス				
平成19年	847人	2.0	67.7	30.3
平成22年	753人	1.9	76.9	21.2
⑨賃貸住宅住み替え家賃等の助成				
平成19年	847人	0.4	65.5	34.1
平成22年	753人	1.2	75.0	23.8
⑩給食サービス				
平成19年	847人	5.9	65.3	28.8
平成22年	753人	4.1	75.6	20.3
⑪白内障用特殊眼鏡等購入費の助成				
平成19年	847人	1.9	68.4	29.8
平成22年	753人	3.1	75.6	21.4
⑫補聴器購入費の助成				
平成19年	847人	6.7	64.2	29.0
平成22年	753人	7.6	70.8	21.6
⑬シルバーカー購入費の助成				
平成19年	847人	9.1	63.0	27.9
平成22年	753人	12.2	66.9	20.8
⑭はり・きゅう・マッサージ利用券の交付				
平成19年	847人	7.8	64.9	27.3
平成22年	753人	10.4	70.9	18.7
⑮住宅用火災警報器の給付				
平成19年	847人	2.7	64.5	32.8
平成22年	753人	6.5	68.8	24.7
⑯バス乗車券の交付				
平成19年	847人	34.8	44.3	20.9
平成22年	753人	41.0	44.2	14.7

(注)「⑤はいかい探知機の賃貸料等の助成」は、前回調査の項目になし。

第2章 居宅サービス利用者に関する調査結果

要介護者を対象とした生活支援サービスの今後の利用意向は、「福祉タクシー利用費の助成」が54.2%で最も多く、「住宅改修費の助成」(49.1%)、「通院ヘルプサービス」(47.4%)、「紙おむつの給付」(47.0%)の順で続いています。

図2-29 高齢者福祉サービス（要介護者対象）の今後の利用意向

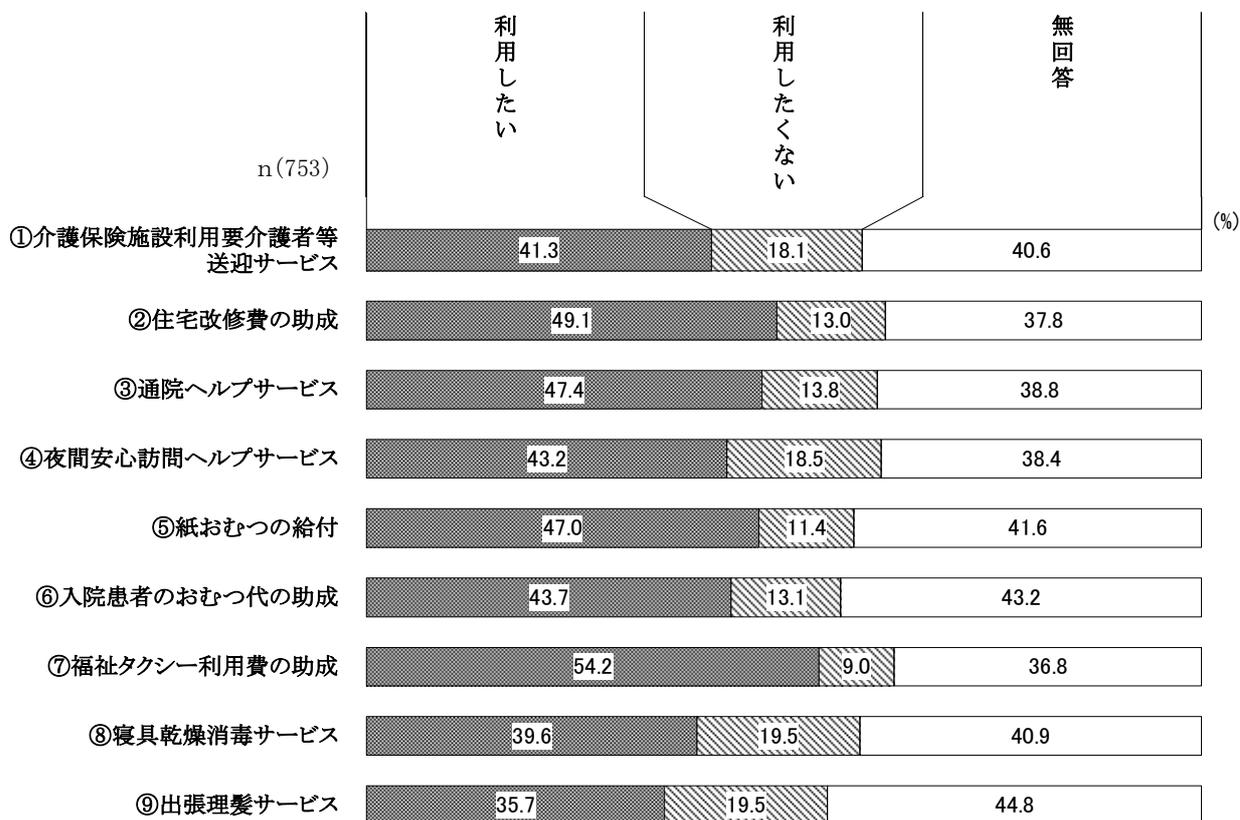


表2-15 経年比較 高齢者福祉サービス（要介護者対象）の今後の利用意向

サービス名	調査数	利用意向 (%)		
		利用したい	利用したくない	無回答
①介護保険施設利用要介護者等送迎サービス	平成19年 847人	38.7	13.7	47.6
	平成22年 753人	41.3	18.1	40.6
②住宅改修費の助成	平成19年 847人	41.2	12.4	46.4
	平成22年 753人	49.1	13.0	37.8
③紙おむつの給付	平成19年 847人	43.7	9.7	46.6
	平成22年 753人	47.0	11.4	41.6
④入院患者のおむつ代の助成	平成19年 847人	40.6	9.4	49.9
	平成22年 753人	43.7	13.1	43.2
⑤福祉タクシー利用費の助成	平成19年 847人	44.6	8.4	47.0
	平成22年 753人	54.2	9.0	36.8
⑥寝具乾燥消毒サービス	平成19年 847人	38.0	14.6	47.3
	平成22年 753人	39.6	19.5	40.9
⑦出張理髪サービス	平成19年 847人	37.4	15.3	47.2
	平成22年 753人	35.7	19.5	44.8

生活支援サービスの今後の利用意向は、「各種健（検）診など」が42.2%で最も多く、「緊急通報電話の貸与」（38.0%）、「はり・きゅう・マッサージ利用券の交付」（37.7%）、「補聴器購入費の助成」（35.7%）、「バス乗車券の交付」（35.2%）の順で続いています。

図2-30 高齢者保健福祉サービスの今後の利用意向

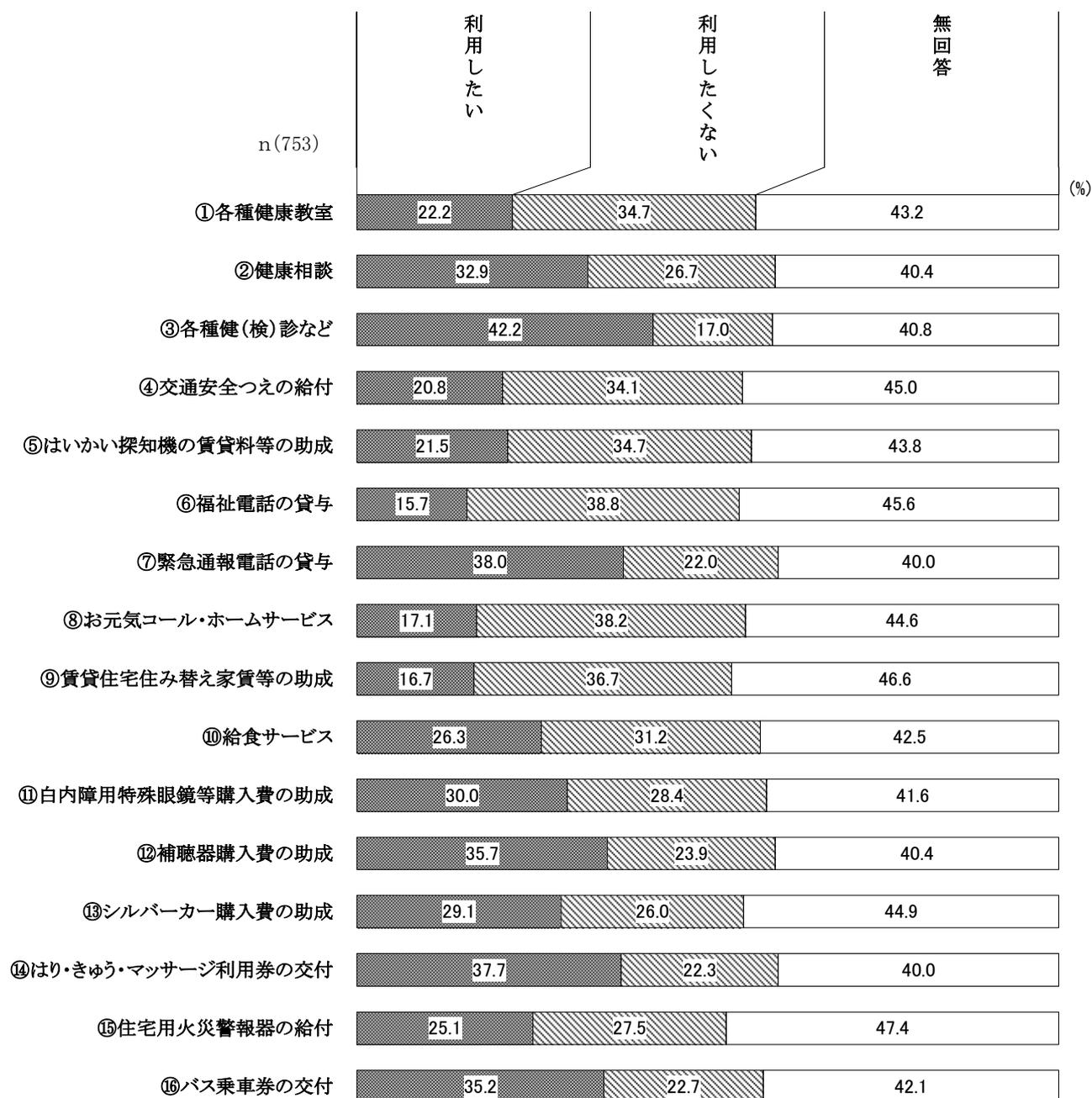


表2-16 経年比較 高齢者保健福祉サービスの今後の利用意向

(%)

	調査数	利用したい	利用したくない	無回答
①各種健康教室				
平成19年	847人	18.3	30.5	51.2
平成22年	753人	22.2	34.7	43.2
②健康相談				
平成19年	847人	29.5	22.8	47.7
平成22年	753人	32.9	26.7	40.4
③各種健（検）診など				
平成19年	847人	36.7	14.0	49.2
平成22年	753人	42.2	17.0	40.8
④交通安全つえの給付				
平成19年	847人	21.7	27.2	51.1
平成22年	753人	20.8	34.1	45.0
⑥福祉電話の貸与				
平成19年	847人	13.8	32.2	54.0
平成22年	753人	15.7	38.8	45.6
⑦緊急通報電話の貸与				
平成19年	847人	35.1	18.3	46.6
平成22年	753人	38.0	22.0	40.0
⑧お元気コール・ホームサービス				
平成19年	847人	16.2	32.7	51.1
平成22年	753人	17.1	38.2	44.6
⑨賃貸住宅住み替え家賃等の助成				
平成19年	847人	14.5	31.6	53.8
平成22年	753人	16.7	36.7	46.6
⑩給食サービス				
平成19年	847人	24.7	27.7	47.6
平成22年	753人	26.3	31.2	42.5
⑪白内障用特殊眼鏡等購入費の助成				
平成19年	847人	32.6	20.1	47.3
平成22年	753人	30.0	28.4	41.6
⑫補聴器購入費の助成				
平成19年	847人	35.9	18.2	45.9
平成22年	753人	35.7	23.9	40.4
⑬シルバーカー購入費の助成				
平成19年	847人	26.0	22.4	51.6
平成22年	753人	29.1	26.0	44.9
⑭はり・きゅう・マッサージ利用券の交付				
平成19年	847人	34.6	18.8	46.6
平成22年	753人	37.7	22.3	40.0
⑮住宅用火災警報器の給付				
平成19年	847人	24.4	22.4	53.1
平成22年	753人	37.7	22.3	40.0
⑯バス乗車券の交付				
平成19年	847人	29.9	22.3	47.8
平成22年	753人	35.2	22.7	42.1

(注)「⑤はいかい探知機の賃貸料等の助成」は、前回調査の項目になし。

8. 災害時のことについて

問23 あなたは、地震などのいざという時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか。(〇は1つだけ)

災害時に自力で避難「できる」は21.9%で、「できない」が71.3%を占めています。

図2-31 避難場所まで自力で避難できる

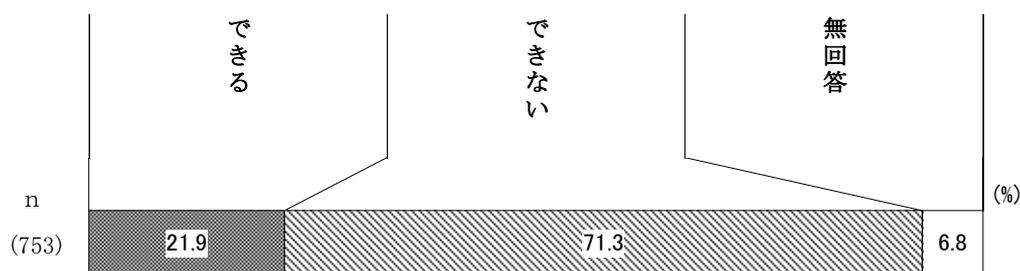


表2-17 同居家族別 避難場所まで自力で避難できる

	調査数	できる	できない	無回答
全体	753	165	537	51
	100.0	21.9	71.3	6.8
問6 同居家族				
ひとり暮らし	124	36	74	14
	100.0	29.0	59.7	11.3
夫婦ふたり暮らし	186	47	131	8
	100.0	25.3	70.4	4.3
その他の世帯	438	82	329	27
	100.0	18.7	75.1	6.2

上段：人数／下段：%

「問23で「できる」と答えた方におうかがいします。」

問23-1 地震などのいざという時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいますか。

(○は1つだけ)

避難を助けてくれる家族以外の方の有無は、「いない」が56.4%、「いる」が36.4%となっています。

図2-32 避難を助けてくれる家族以外の方の有無

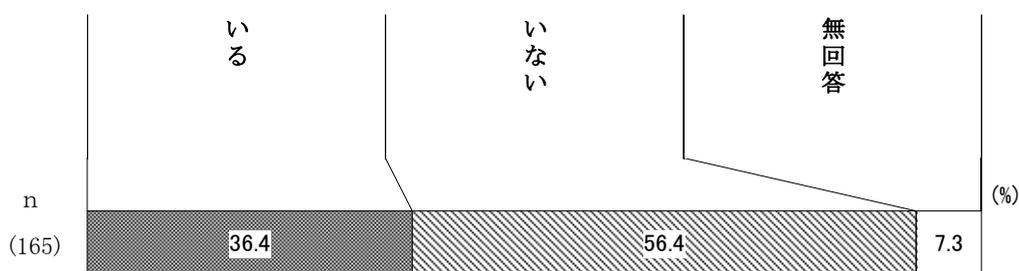


表2-18 同居家族別 避難を助けてくれる家族以外の方の有無

	調査数	いる	いない	無回答
全 体	165	60	93	12
	100.0	36.4	56.4	7.3
問6 同居家族				
ひとり暮らし	36	11	22	3
	100.0	30.6	61.1	8.3
夫婦ふたり暮らし	47	21	25	1
	100.0	44.7	53.2	2.1
その他の世帯	82	28	46	8
	100.0	34.1	56.1	9.8

上段：人数／下段：%

「問23-1で「いる」と答えた方におうかがいします。」
 問23-2 それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に避難を助けてくれる家族以外の方は、「近所の住民（親族を含む）」が81.7%と圧倒的に多くなっています。

図2-33 避難を助けてくれる人

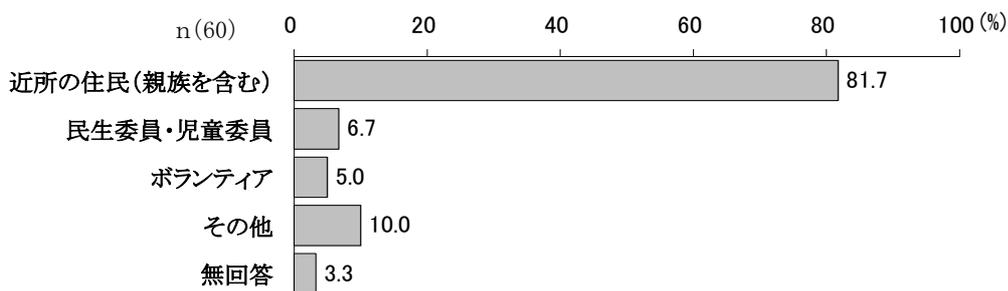


表2-19 同居家族別 避難を助けてくれる人

	調査数	近所の住民(親族を含む)	民生委員・児童委員	ボランティア	その他	無回答
全体	60	49	4	3	6	2
	100.0	81.7	6.7	5.0	10.0	3.3
問6 同居家族						
ひとり暮らし	11	7	2	2	2	1
	100.0	63.6	18.2	18.2	18.2	9.1
夫婦ふたり暮らし	21	17	2	-	2	-
	100.0	81.0	9.5	-	9.5	-
その他の世帯	28	25	-	1	2	1
	100.0	89.3	-	3.6	7.1	3.6

上段：人数／下段：%

「すべての方におうかがいします。」

問24 地震などのいざという時のことで、あなたがふだん不安に感じていることは、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時の不安は、「避難所まで移動できるか」が68.3%で最も多く、「まわりの人に助けてもらえるか」(61.4%)、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」(57.2%)、「避難所での介護、看護をしてもらえるか」(55.6%)の順で続いています。

図2-34 地震などのいざという時に感じている不安

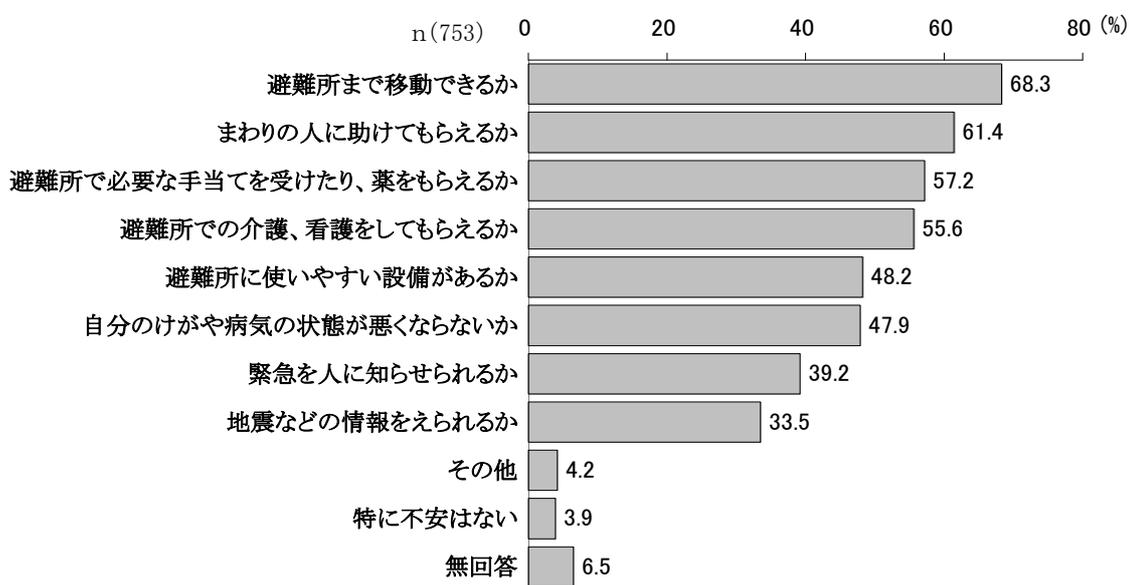


表2-20 同居家族別 地震などのいざという時に感じている不安

上段：人数／下段：%

	調査数	避難所まで移動できるか	まわりの人に助けられるか	避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか	避難所での介護、看護をしてもらえるか	避難所に使いやすい設備があるか	自分のけがや病気の状態が悪くならないか	緊急を人に知らせられるか	地震などの情報をえられるか	その他	特に不安はない	無回答
全体	753 100.0	514 68.3	462 61.4	431 57.2	419 55.6	363 48.2	361 47.9	295 39.2	252 33.5	32 4.2	29 3.9	49 6.5
問6 同居家族												
ひとり暮らし	124 100.0	76 61.3	77 62.1	65 52.4	52 41.9	53 42.7	59 47.6	49 39.5	49 39.5	8 6.5	6 4.8	11 8.9
夫婦ふたり暮らし	186 100.0	125 67.2	104 55.9	112 60.2	115 61.8	83 44.6	102 54.8	83 44.6	66 35.5	8 4.3	4 2.2	9 4.8
その他の世帯	438 100.0	310 70.8	279 63.7	252 57.5	249 56.8	225 51.4	199 45.4	162 37.0	136 31.1	16 3.7	19 4.3	27 6.2

問25 地震などのいざという時のために、あらかじめボランティアなど近所の人に、あなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなたはどのように思いますか。
(○は1つだけ)

いざという時のために、避難の手伝いや介助をお願いすることについては、「ぜひ協力してほしい」が50.2%で最も多く、これに「いざという時以外もプライバシーが守られれば、協力してほしい」(26.6%)が次いでいます。

図2-35 ボランティアなどに避難の手助けを依頼することについて

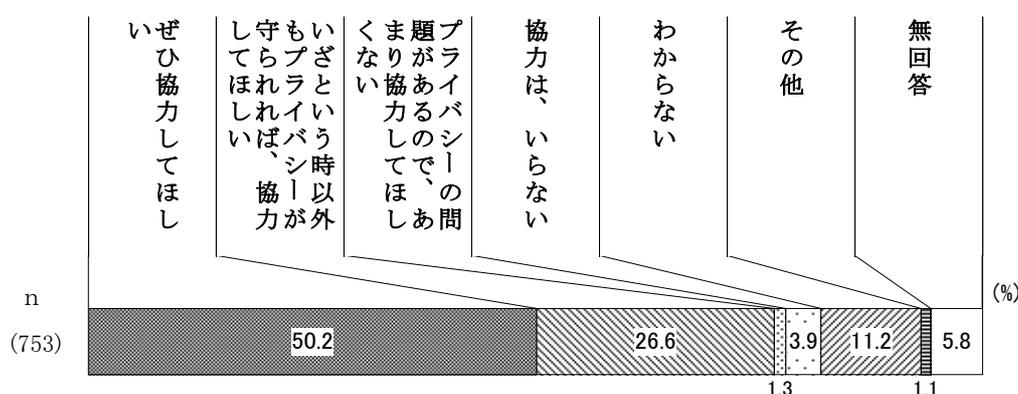


表2-21 同居家族別 ボランティアなどに避難の手助けを依頼することについて

上段：人数／下段：%

	調査数	ぜひ協力してほしい	いざという時以外もプライバシーが守られれば、協力してほしい	わからない	その他	無回答
全体	753	378	200	10	29	84
	100.0	50.2	26.6	1.3	3.9	11.2
問6 同居家族						
ひとり暮らし	124	69	27	2	4	9
	100.0	55.6	21.8	1.6	3.2	7.3
夫婦ふたり暮らし	186	112	43	2	6	15
	100.0	60.2	23.1	1.1	3.2	8.1
その他の世帯	438	196	129	6	19	59
	100.0	44.7	29.5	1.4	4.3	13.5

9. 今後の過ごし方や介護保険制度について

問26 今後、どのように過ごしたいと考えていますか。(○は1つだけ)

今後の過ごし方については、「在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせ生活したい」(39.6%)と「在宅で、介護保険サービスを受けながら生活したい」(36.5%)が、いずれも3割を超えて多くなっています。

図2-36 今後の過ごし方について

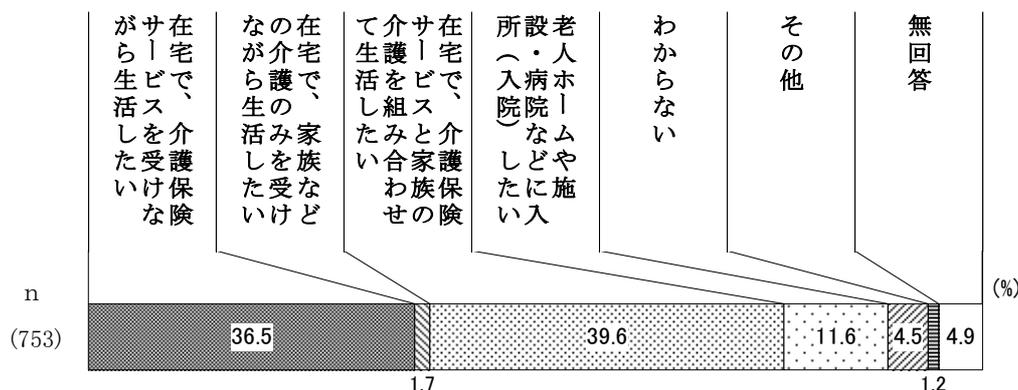


表2-22 同居家族別 今後の過ごし方について

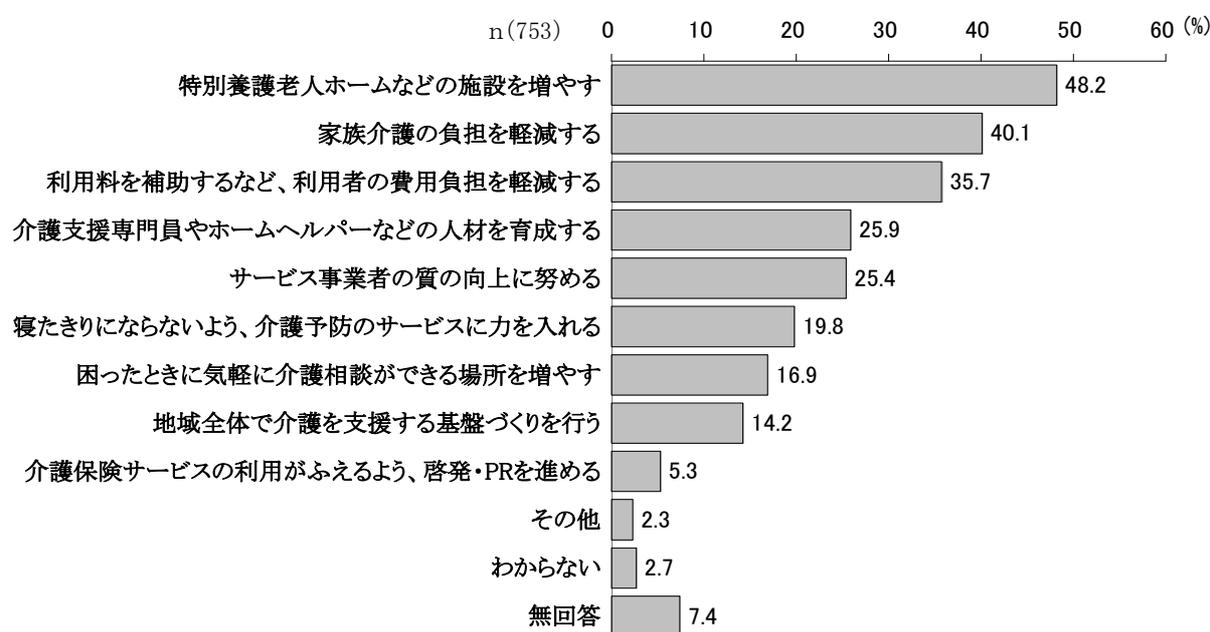
上段：人数／下段：%

	調査数	在宅で、介護保険サービスを受けながら生活したい	在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせ生活したい	在宅で、介護保険サービスと家族の介護を組み合わせ生活したい	在宅で、介護保険サービスを受けながら生活したい	在宅で、介護保険サービスを受けながら生活したい	わからない	その他	無回答
全体	753	275	13	298	87	34	9	37	
	100.0	36.5	1.7	39.6	11.6	4.5	1.2	4.9	
問6 同居家族									
ひとり暮らし	124	71	1	19	16	7	1	9	
	100.0	57.3	0.8	15.3	12.9	5.6	0.8	7.3	
夫婦ふたり暮らし	186	70	4	77	24	6	1	4	
	100.0	37.6	2.2	41.4	12.9	3.2	0.5	2.2	
その他の世帯	438	133	8	201	46	21	7	22	
	100.0	30.4	1.8	45.9	10.5	4.8	1.6	5.0	

問27 「介護保険制度」全体をより良くするため浦安市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)

浦安市が力を入れるべきことについては、「特別養護老人ホームなどの施設を増やす」が48.2%で最も多く、以下「家族介護の負担を軽減する」(40.1%)、「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する」(35.7%)、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの人材を育成する」(25.9%)、「サービス事業者の質の向上に努める」(25.4%)の順で続いています。

図2-37 浦安市が力を入れるべきこと



10. お世話している家族の方について

問29 あて名ご本人を主にお世話しているのは、どなたですか。(○は1つだけ)

対象者の主な介護者は、「夫又は妻」が34.7%で最も多く、これに「娘」が20.8%、「娘・息子の配偶者」が11.4%となっています。

図2-38 お世話している人

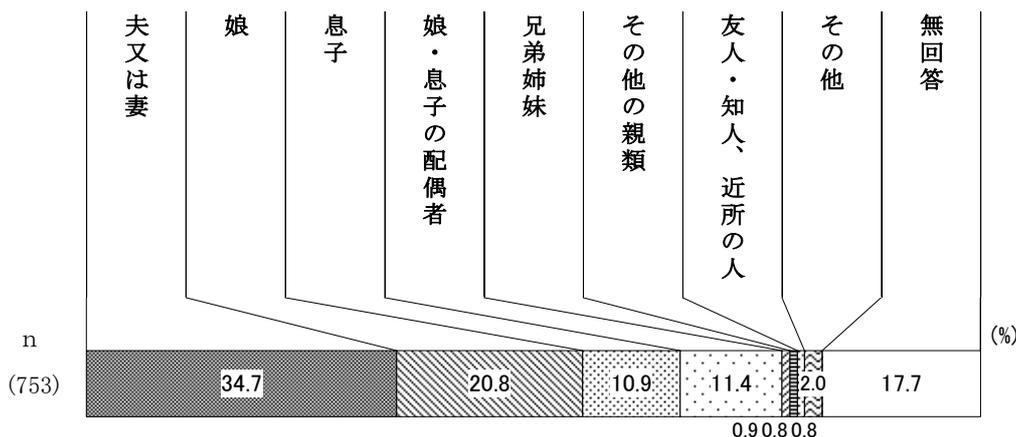


表2-23 要介護度別・同居家族別 お世話している人

上段：人数/下段：%

	調査数	夫又は妻	娘	息子	娘・息子の配偶者	兄弟姉妹	その他の親類	友人・知人、近所の人	その他	無回答
全体	753	261	157	82	86	7	6	6	15	133
	100.0	34.7	20.8	10.9	11.4	0.9	0.8	0.8	2.0	17.7
問4 要介護度										
要支援1	105	11	26	9	12	-	1	3	-	43
	100.0	10.5	24.8	8.6	11.4	-	1.0	2.9	-	41.0
要支援2	116	22	18	14	13	-	2	3	4	40
	100.0	19.0	15.5	12.1	11.2	-	1.7	2.6	3.4	34.5
要介護1	162	58	34	17	21	2	-	-	5	25
	100.0	35.8	21.0	10.5	13.0	1.2	-	-	3.1	15.4
要介護2	159	71	38	13	19	3	1	-	1	13
	100.0	44.7	23.9	8.2	11.9	1.9	0.6	-	0.6	8.2
要介護3	84	41	16	10	9	1	-	-	3	4
	100.0	48.8	19.0	11.9	10.7	1.2	-	-	3.6	4.8
要介護4	58	28	11	7	8	-	2	-	1	1
	100.0	48.3	19.0	12.1	13.8	-	3.4	-	1.7	1.7
要介護5	61	28	14	11	3	1	-	-	1	3
	100.0	45.9	23.0	18.0	4.9	1.6	-	-	1.6	4.9
問6 同居家族										
ひとり暮らし	124	-	17	8	7	4	3	5	5	75
	100.0	-	13.7	6.5	5.6	3.2	2.4	4.0	4.0	60.5
夫婦ふたり暮らし	186	148	9	3	4	-	-	-	-	22
	100.0	79.6	4.8	1.6	2.2	-	-	-	-	11.8
その他の世帯	438	112	131	71	75	3	3	1	10	32
	100.0	25.6	29.9	16.2	17.1	0.7	0.7	0.2	2.3	7.3

問30 あて名ご本人を直接お世話・介護している時間は、1日にどれくらいですか。
(○は1つだけ)

介護している時間は、「決まっていない」が20.6%で最も多く、これに「1～4時間未満」が18.3%で次いでいます。

図2-39 お世話・介護している時間（1日）

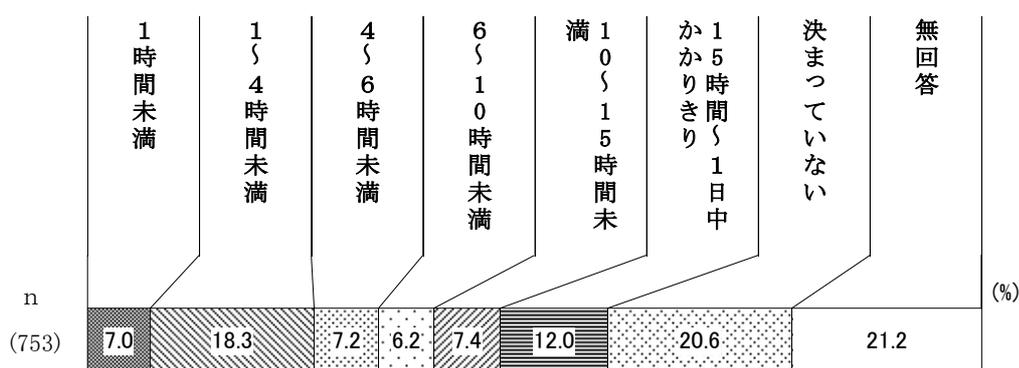


表2-24 要介護度別・同居家族別 お世話・介護している時間（1日）

上段：人数／下段：%

	調査数	1時間未満	1～4時間未満	4～6時間未満	6～10時間未満	10～15時間未満	15時間～1日中	決まっていない	無回答
全体	753	53	138	54	47	56	90	155	160
	100.0	7.0	18.3	7.2	6.2	7.4	12.0	20.6	21.2

問4 要介護度

要支援1	105	15	18	3	-	2	3	19	45
	100.0	14.3	17.1	2.9	-	1.9	2.9	18.1	42.9
要支援2	116	10	22	1	3	1	2	27	50
	100.0	8.6	19.0	0.9	2.6	0.9	1.7	23.3	43.1
要介護1	162	17	38	12	6	7	9	43	30
	100.0	10.5	23.5	7.4	3.7	4.3	5.6	26.5	18.5
要介護2	159	8	34	16	8	13	21	43	16
	100.0	5.0	21.4	10.1	5.0	8.2	13.2	27.0	10.1
要介護3	84	1	13	10	13	19	12	9	7
	100.0	1.2	15.5	11.9	15.5	22.6	14.3	10.7	8.3
要介護4	58	2	6	2	7	8	22	7	4
	100.0	3.4	10.3	3.4	12.1	13.8	37.9	12.1	6.9
要介護5	61	-	5	10	10	5	21	6	4
	100.0	-	8.2	16.4	16.4	8.2	34.4	9.8	6.6

問6 同居家族

ひとり暮らし	124	10	11	4	2	2	-	18	77
	100.0	8.1	8.9	3.2	1.6	1.6	-	14.5	62.1
夫婦ふたり暮らし	186	10	31	12	13	17	38	37	28
	100.0	5.4	16.7	6.5	7.0	9.1	20.4	19.9	15.1
その他の世帯	438	33	95	38	32	37	52	100	51
	100.0	7.5	21.7	8.7	7.3	8.4	11.9	22.8	11.6

問31 高齢者のお世話をするご家族から寄せられる悩みを4つほどあげてみました。介護保険を利用するようになってから、これらの状態がどのようになりましたか。(以下の(1)～(4)について1つずつ○)

いずれの状態についても、『改善』（「改善された」と「やや改善された」の合計）が4割を超えています。

図2-40 介護保険を利用してからの変化

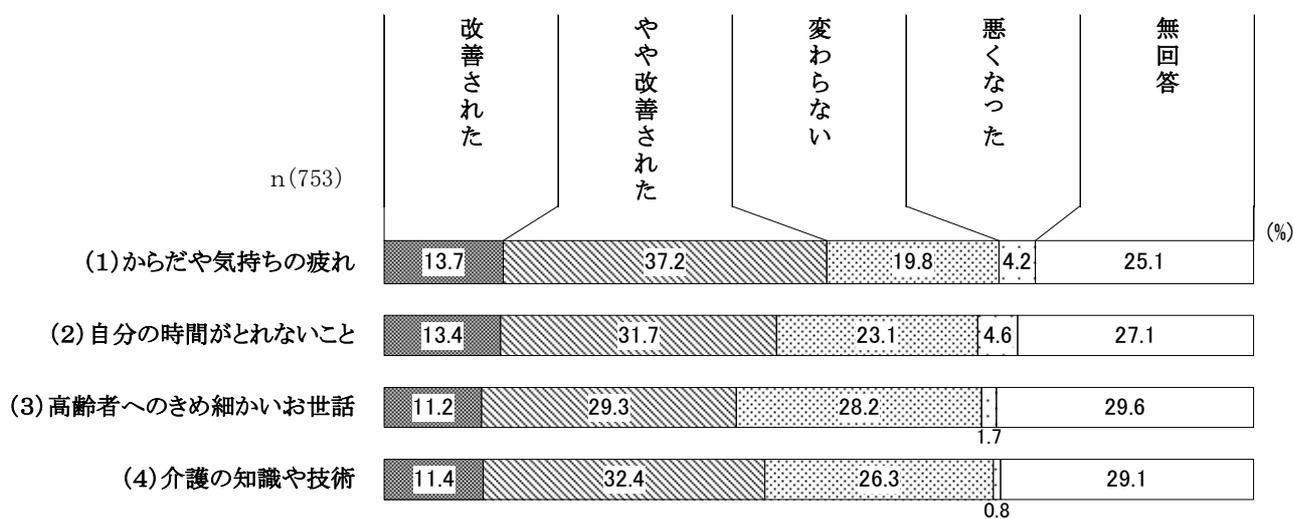


表2-25 要介護度別・同居家族別 介護保険を利用してからの変化

上段：人数/下段：%

(1) からだや気持ちの疲れ

(2) 自分の時間がとれないこと

	調査数	改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
全体	753	103	280	149	32	189
	100.0	13.7	37.2	19.8	4.2	25.1

	調査数	改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
全体	753	101	239	174	35	204
	100.0	13.4	31.7	23.1	4.6	27.1

問4 要介護度

要支援1	105	9	30	16	1	49
	100.0	8.6	28.6	15.2	1.0	46.7
要支援2	116	16	26	20	-	54
	100.0	13.8	22.4	17.2	-	46.6
要介護1	162	30	65	26	5	36
	100.0	18.5	40.1	16.0	3.1	22.2
要介護2	159	20	71	37	9	22
	100.0	12.6	44.7	23.3	5.7	13.8
要介護3	84	10	38	18	9	9
	100.0	11.9	45.2	21.4	10.7	10.7
要介護4	58	11	25	15	3	4
	100.0	19.0	43.1	25.9	5.2	6.9
要介護5	61	7	23	15	5	11
	100.0	11.5	37.7	24.6	8.2	18.0

要支援1	105	12	19	17	2	55
	100.0	11.4	18.1	16.2	1.9	52.4
要支援2	116	12	17	28	-	59
	100.0	10.3	14.7	24.1	-	50.9
要介護1	162	28	59	33	5	37
	100.0	17.3	36.4	20.4	3.1	22.8
要介護2	159	22	62	36	13	26
	100.0	13.8	39.0	22.6	8.2	16.4
要介護3	84	13	29	24	8	10
	100.0	15.5	34.5	28.6	9.5	11.9
要介護4	58	8	28	16	2	4
	100.0	13.8	48.3	27.6	3.4	6.9
要介護5	61	6	22	19	5	9
	100.0	9.8	36.1	31.1	8.2	14.8

問6 同居家族

ひとり暮らし	124	12	12	14	-	86
	100.0	9.7	9.7	11.3	-	69.4
夫婦ふたり暮らし	186	26	71	43	10	36
	100.0	14.0	38.2	23.1	5.4	19.4
その他の世帯	438	65	196	92	22	63
	100.0	14.8	44.7	21.0	5.0	14.4

ひとり暮らし	124	10	11	12	1	90
	100.0	8.1	8.9	9.7	0.8	72.6
夫婦ふたり暮らし	186	22	58	55	11	40
	100.0	11.8	31.2	29.6	5.9	21.5
その他の世帯	438	69	169	107	23	70
	100.0	15.8	38.6	24.4	5.3	16.0

(3) 高齢者へのきめ細かいお世話

(4) 介護の知識や技術

	調査数	改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
全体	753	84	221	212	13	223
	100.0	11.2	29.3	28.2	1.7	29.6

	調査数	改善された	やや改善された	変わらない	悪くなった	無回答
全体	753	86	244	198	6	219
	100.0	11.4	32.4	26.3	0.8	29.1

問4 要介護度

要支援1	105	10	25	15	-	55
	100.0	9.5	23.8	14.3	-	52.4
要支援2	116	11	19	27	-	59
	100.0	9.5	16.4	23.3	-	50.9
要介護1	162	20	50	49	2	41
	100.0	12.3	30.9	30.2	1.2	25.3
要介護2	159	16	52	53	5	33
	100.0	10.1	32.7	33.3	3.1	20.8
要介護3	84	9	35	22	3	15
	100.0	10.7	41.7	26.2	3.6	17.9
要介護4	58	6	21	25	-	6
	100.0	10.3	36.2	43.1	-	10.3
要介護5	61	12	17	19	3	10
	100.0	19.7	27.9	31.1	4.9	16.4

要支援1	105	7	21	20	-	57
	100.0	6.7	20.0	19.0	-	54.3
要支援2	116	11	23	25	-	57
	100.0	9.5	19.8	21.6	-	49.1
要介護1	162	22	54	46	1	39
	100.0	13.6	33.3	28.4	0.6	24.1
要介護2	159	22	57	47	2	31
	100.0	13.8	35.8	29.6	1.3	19.5
要介護3	84	8	34	26	2	14
	100.0	9.5	40.5	31.0	2.4	16.7
要介護4	58	4	28	19	-	7
	100.0	6.9	48.3	32.8	-	12.1
要介護5	61	11	25	14	1	10
	100.0	18.0	41.0	23.0	1.6	16.4

問6 同居家族

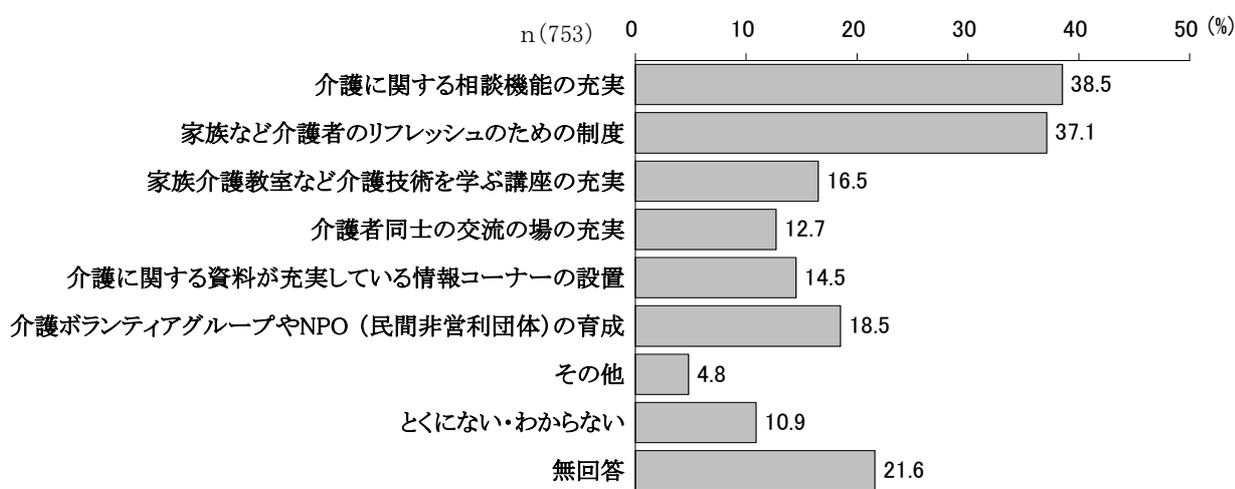
ひとり暮らし	124	8	9	18	-	89
	100.0	6.5	7.3	14.5	-	71.8
夫婦ふたり暮らし	186	21	58	57	2	48
	100.0	11.3	31.2	30.6	1.1	25.8
その他の世帯	438	55	153	137	11	82
	100.0	12.6	34.9	31.3	2.5	18.7

ひとり暮らし	124	6	15	15	-	88
	100.0	4.8	12.1	12.1	-	71.0
夫婦ふたり暮らし	186	28	67	47	-	44
	100.0	15.1	36.0	25.3	-	23.7
その他の世帯	438	52	161	136	6	83
	100.0	11.9	36.8	31.1	1.4	18.9

問32 高齢者のお世話をする家族の皆さまへの支援として、浦安市が力を入れるべきことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)

「介護に関する相談機能の充実」(38.5%)と「家族など介護者のリフレッシュのための制度」(37.1%)が、4割近くと多くなっています。

図2-41 家族への支援として浦安市が力を入れるべきこと



問33 大変立ち入ったことをお聞きしますが、あて名ご本人は、日常生活において次のようなことがみられますか。

日常生活での要介護者の状態について、「ひんぱんにある」と回答された項目は、「薬を飲む時間や、飲む量を間違えること」が15.5%で最も多く、「慣れた道や場所がわからなくなること」「火の始末や火元の管理ができなくなること」がともに11.6%で次いでいます。

図2-42 あて名ご本人の日常生活について

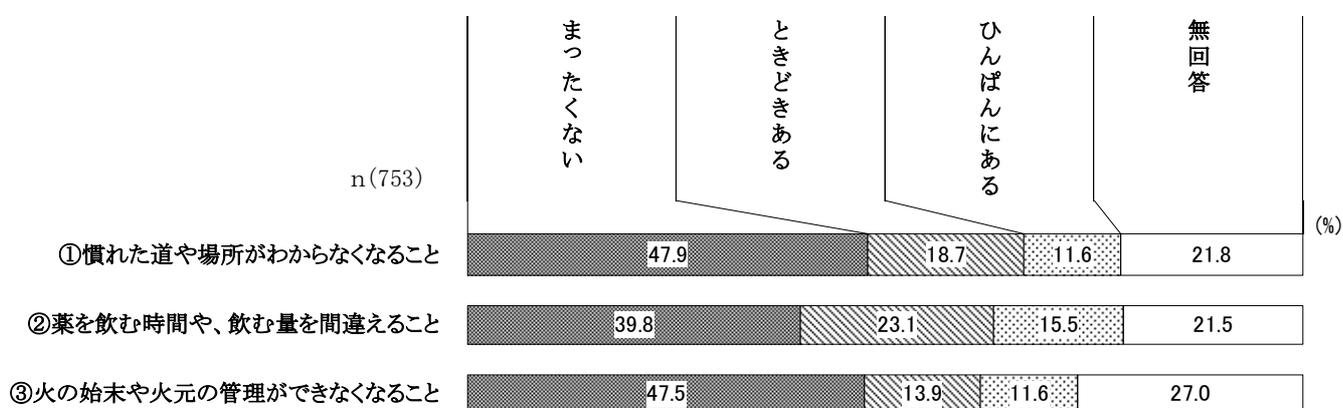


表2-26 同居家族別 あて名ご本人の日常生活について

上段：人数/下段：%

①慣れた道や場所がわからなくなる
こと

	調査数	まったくくない	ときどきある	ひんばんにある	無回答
全体	753	361	141	87	164
	100.0	47.9	18.7	11.6	21.8

②薬を飲む時間や、飲む量を
間違えること

	調査数	まったくくない	ときどきある	ひんばんにある	無回答
全体	753	300	174	117	162
	100.0	39.8	23.1	15.5	21.5

問6 同居家族

ひとり暮らし	124	42	10	4	68
	100.0	33.9	8.1	3.2	54.8
夫婦ふたり暮らし	186	110	34	14	28
	100.0	59.1	18.3	7.5	15.1
その他の世帯	438	207	96	69	66
	100.0	47.3	21.9	15.8	15.1

ひとり暮らし	124	41	11	6	66
	100.0	33.1	8.9	4.8	53.2
夫婦ふたり暮らし	186	88	46	23	29
	100.0	47.3	24.7	12.4	15.6
その他の世帯	438	169	116	88	65
	100.0	38.6	26.5	20.1	14.8

③火の始末や火元の管理が
できなくなること

	調査数	まったくくない	ときどきある	ひんばんにある	無回答
全体	753	358	105	87	203
	100.0	47.5	13.9	11.6	27.0

問6 同居家族

ひとり暮らし	124	47	8	5	64
	100.0	37.9	6.5	4.0	51.6
夫婦ふたり暮らし	186	104	24	19	39
	100.0	55.9	12.9	10.2	21.0
その他の世帯	438	206	71	63	98
	100.0	47.0	16.2	14.4	22.4

第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 住宅の種類は、「一戸建ての持ち家」が48.6%で最も多く、これに「分譲マンション」が28.2%で次いでいます。
- 世帯状況は、「同居家族がいる（同一敷地内、同一建物内に家族がいる場合も含む）」が80.0%を占めています。一方、「ひとり暮らし世帯である」は18.2%となっています。
- 日頃から行き来のある親戚あるいは近所の人が「いる」という人が82.5%を占めています。
- 日常生活の状況は、「何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所であれば、ひとりで外出する」「屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない」（ともに26.4%）が多くなっています。また、「日常生活は自立している」は15.0%となっています。
- 介護してくれる家族が「いる（同居）」が66.8%、「いる（別居）」が16.8%を占めていますが、その家族の中には「介護者が高齢・障がい・病弱等のために十分に介護ができない」（20.7%）、「介護者が仕事・子育てのために十分に介護ができない」（17.9%）などの問題のあるケースも少なくありません。平成19年の調査結果と比較すると、「特に問題はない」は56.0%から43.5%へ減少し、「介護者が仕事・子育てのために十分に介護ができない」が13.5%から17.9%へ増加しています。
- 現在の住宅で困っていることは、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」が21.4%で最も多く、これに「玄関周りの段差で困っている」が15.9%で次いでいます。
- 介護保険料の段階については、「第8段階（月額5,670円）」（13.2%）、「第2段階（月額2,268円）」（11.8%）が、1割を超えてやや多くなっています。
- 介護保険サービスと保険料の関係については、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」（23.6%）と「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」（20.5%）が多くなっています。また、「どちらともいえない」が30.5%になっています。
- 介護保険サービスを利用していない理由は、「家族が介護してくれるから」（32.7%）と「介護者の急病など、万一に備えて認定だけは受けておきたいから」（30.0%）が、とくに多くなっています。また、「サービスを利用しなくても日常生活に困らないから」も24.5%と多くなっています。平成19年の調査結果と比較すると、「サービスを利用しなくても日常生活に困らないから」は35.6%から24.5%へ減少しています。
- 介護サービスの利用状況は、「居宅介護支援（ケアプランの作成）」が30.0%で最も多く、「住宅改修費の支給」（28.2%）、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（20.9%）の順で続いています。
- 今後の利用意向は、「居宅介護支援（ケアプランの作成）」が27.7%で最も多く、「住宅改修費の支給」（27.3%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（26.8%）、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（25.5%）、「訪問介護（生活援助）」（25.0%）の順で続いています。

第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

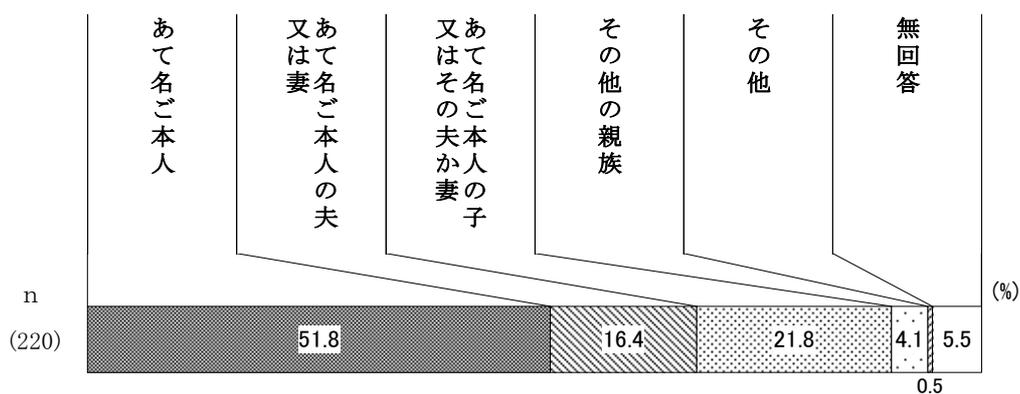
- 過去に介護保険サービスを利用していたが、利用をやめた理由は、「家族等の介護で何とかやっ
ていけるようになったから」が15.8%で最も多く、「自分に合った（利用したい）サービスがな
いから」（12.5%）、「心身の状態が改善されたから」「入院したから」（ともに10.8%）の順で続
いています。
- 要介護者を対象とする高齢者福祉サービスの利用状況は、「住宅改修費の助成」が20.5%で最も
多く、これに「紙おむつの給付」が12.3%で次いでいます。今後の利用意向は、「住宅改修費の
助成」が33.2%で最も多く、「福祉タクシー利用費の助成」（27.7%）、「通院ヘルプサービス」
（25.5%）の順で続いています。
- 高齢者保健福祉サービスの利用状況は、「バス乗車券の交付」が45.5%で圧倒的に多くなってい
ます。今後の利用意向は、「はり・きゅう・マッサージ利用券の交付」が28.2%で最も多く、
「補聴器購入費の助成」（25.9%）、「各種健（検）診など」「給食サービス」（ともに23.2%）の
順で続いています。
- 災害時に自立で避難「できる」は30.0%で、「できない」が59.5%を占めています。
- 災害時の不安は、「避難所まで移動できるか」が60.9%で最も多く、「まわりの人に助けてもら
えるか」（52.7%）、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」（44.5%）、「避難所
での介護、看護をしてもらえるか」（44.1%）の順で続いています。
- いざという時のために、避難の手伝いや介助をお願いすることについては、「ぜひ協力してほし
い」が49.1%で最も多く、これに「いざという時以外もプライバシーが守られれば、協力して
ほしい」（24.5%）が次いでいます。

2. 基本属性について

問1 この調査にお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

回答記入者は「あて名ご本人」が51.8%と過半数を占め、「あて名ご本人の子又はその夫か妻」が21.8%で次いでいます。

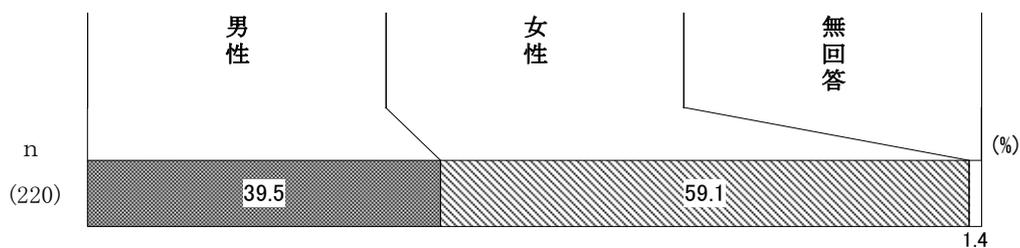
図3-1 調査の回答者



問2 性別は。

性別は、「男性」39.5%、「女性」59.1%と、女性が多くなっています。

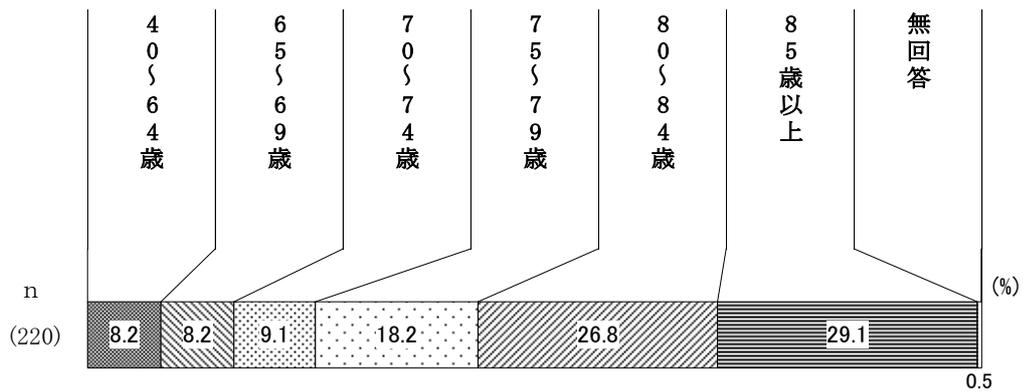
図3-2 性別



問3 平成22年10月1日現在の年齢は。

年齢は「85歳以上」が29.1%、「80～84歳」が26.8%と、多くなっています。

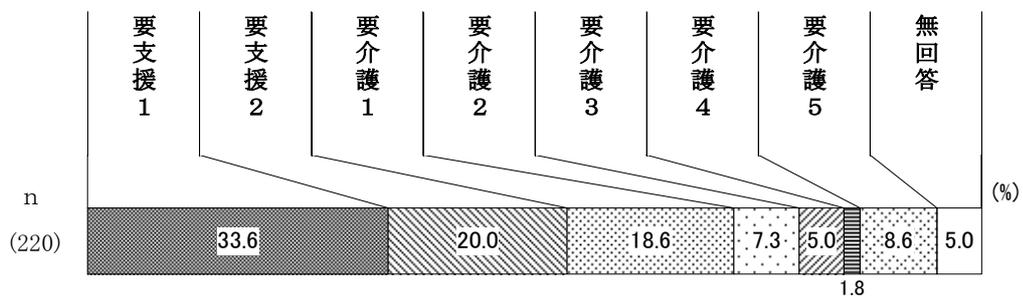
図3-3 年齢



問4 現在の要介護度は。(○は1つだけ)

要介護度は、「要支援1」が33.6%で最も多く、これに「要支援2」(20.0%)が次いでいます。

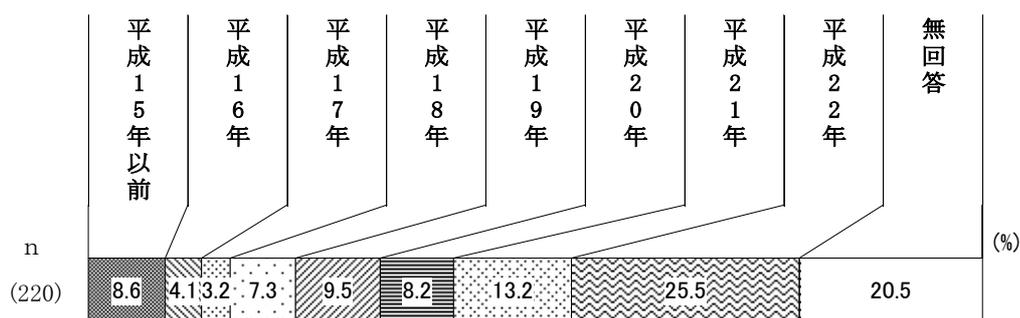
図3-4 現在の要介護度



問5 最初の要介護認定を受けた時期はいつですか。

介護認定を受けた時期は、「平成22年」が25.5%、「平成21年」が13.2%、「平成19年」が9.5%、となっています。

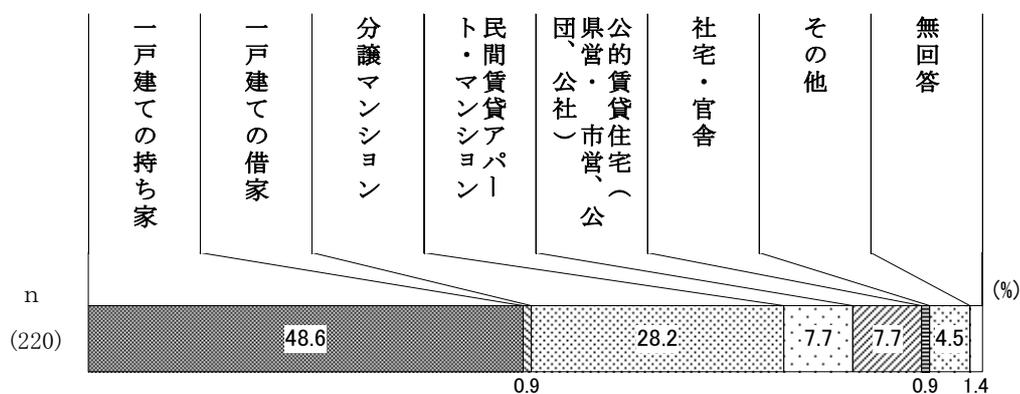
図3-5 介護認定を受けた時期



問6 お住まいは。(○は1つだけ)

住宅の種類は、「一戸建ての持ち家」が48.6%で最も多く、これに「分譲マンション」が28.2%で次いでいます。

図3-6 住んでいる住宅



問7 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つだけ)

居住地区は、各地区に分散していますが、その中では「堀江」が14.1%とやや多くなっています。

日常生活圏域別でみると、元町地区が39.1%、中町地区が49.5%、新町地区は10.9%となっています。

図3-7 居住地区

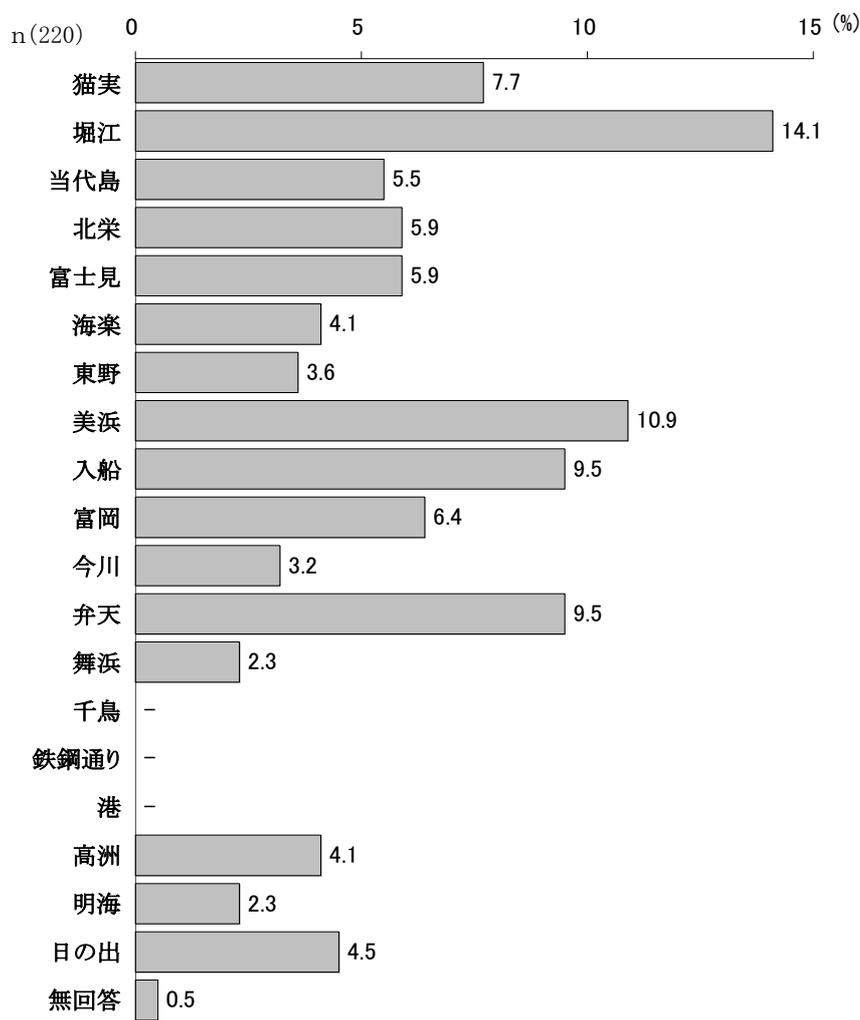
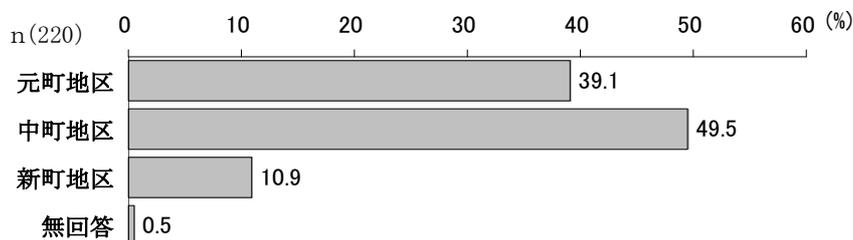


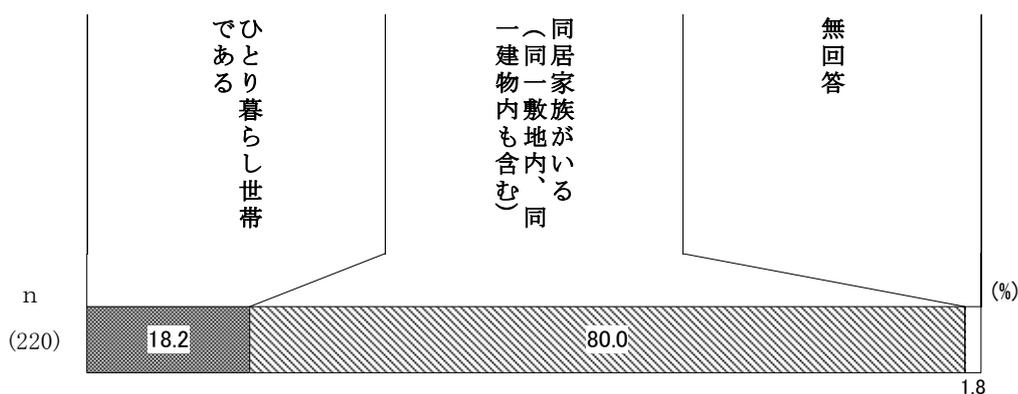
図3-8 居住地区（日常生活圏域別）



問8 世帯状況についておたずねします。(○は1つだけ)

世帯状況は、「同居家族がいる(同一敷地内、同一建物内に家族がいる場合も含む)」が80.0%を占めています。「ひとり暮らし世帯である」は18.2%となっています。

図3-9 世帯状況

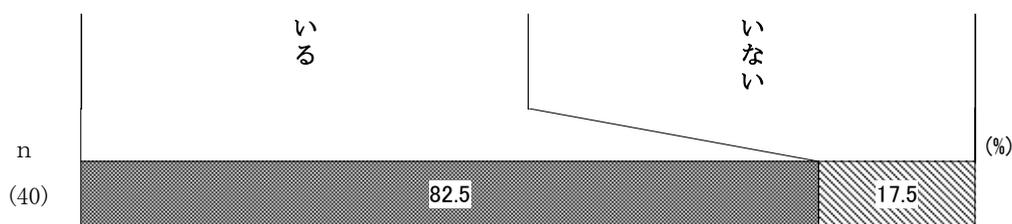


「問8で「ひとり暮らし世帯である」とお答えの方におたずねします。」

問8-1 日頃から行き来のある親戚あるいは近所の方がいますか。(○は1つだけ)

日頃から行き来のある親戚あるいは近所の方が「いる」という人が82.5%を占めています。

図3-10 行き来のある親戚・近所の方の有無

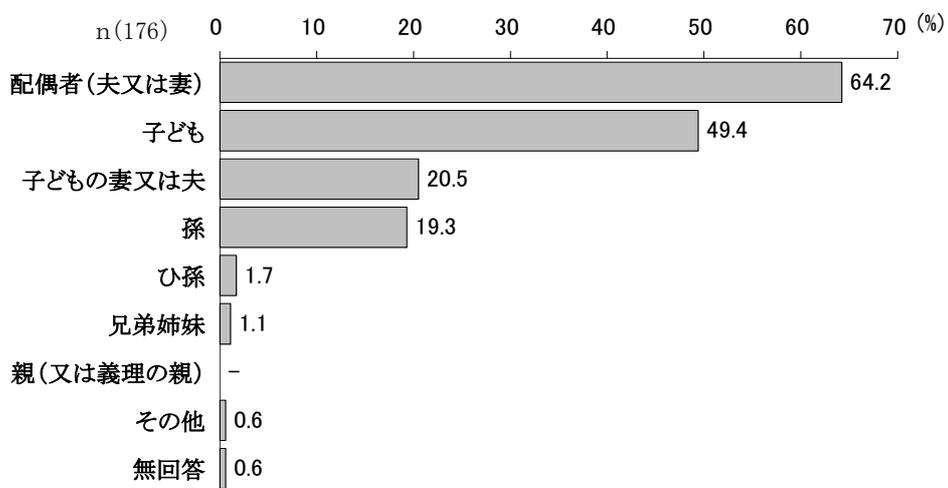


「問8で「同居家族がいる」とお答えの方におたずねします。」

問8-2 同居しているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居家族は、「配偶者（夫又は妻）」が64.2%で最も多く、「子ども」（49.4%）、「子どもの妻又は夫」（20.5%）の順で続いています。

図3-11 同居家族



問9 日常生活の状況についておたずねします。(○は1つだけ)

日常生活の状況は、「何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所であれば、ひとりで外出する」「屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない」(ともに26.4%)が多くなっています。また、「日常生活は自立している」は15.0%となっています。

図3-12 日常生活の状況

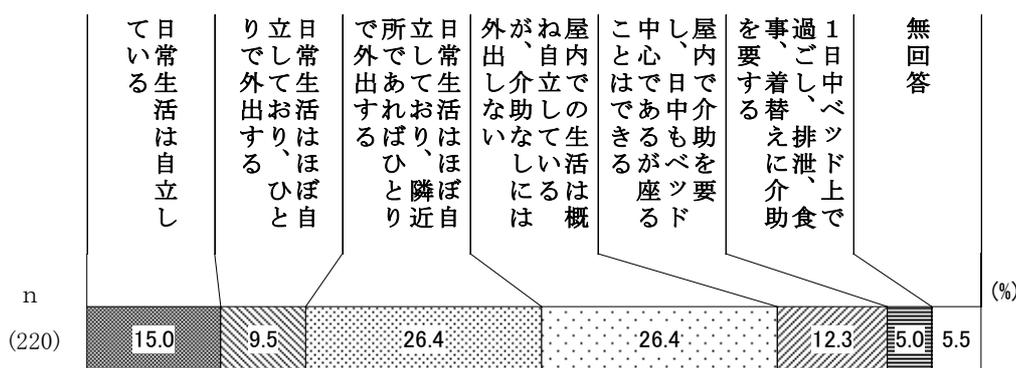


表3-1 要介護度別・同居家族別 日常生活の状況

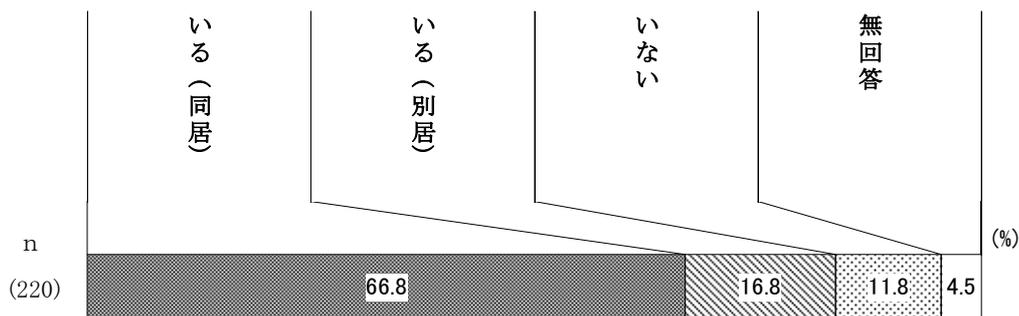
上段：人数/下段：%

	調査数	日常生活は自立している	日常生活はほぼ自立しており、ひとりで外出する	何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所であれば、ひとりで外出する	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない	屋内で介助を要するが、着替えに介助を要する	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要する	無回答
全体	220	33	21	58	58	27	11	12
	100.0	15.0	9.5	26.4	26.4	12.3	5.0	5.5
問4 要介護度								
要支援1	74	15	13	28	15	2	-	1
	100.0	20.3	17.6	37.8	20.3	2.7	-	1.4
要支援2	44	5	5	16	16	2	-	-
	100.0	11.4	11.4	36.4	36.4	4.5	-	-
要介護1	41	6	3	12	14	6	-	-
	100.0	14.6	7.3	29.3	34.1	14.6	-	-
要介護2	16	-	-	1	8	6	1	-
	100.0	-	-	6.3	50.0	37.5	6.3	-
要介護3	11	-	-	-	4	6	-	1
	100.0	-	-	-	36.4	54.5	-	9.1
要介護4	4	-	-	1	-	1	2	-
	100.0	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-
要介護5	19	1	-	-	-	4	8	6
	100.0	5.3	-	-	-	21.1	42.1	31.6
問8 世帯状況								
ひとり暮らし世帯	40	13	2	11	6	4	3	1
	100.0	32.5	5.0	27.5	15.0	10.0	7.5	2.5
同居家族がいる	176	20	18	47	52	23	7	9
	100.0	11.4	10.2	26.7	29.5	13.1	4.0	5.1

問10 あなたを介護してくれる家族等がいますか。(○は1つだけ)

介護してくれる家族が「いる(同居)」が66.8%、「いる(別居)」が16.8%を占めています。

図3-13 介護してくれる家族の有無

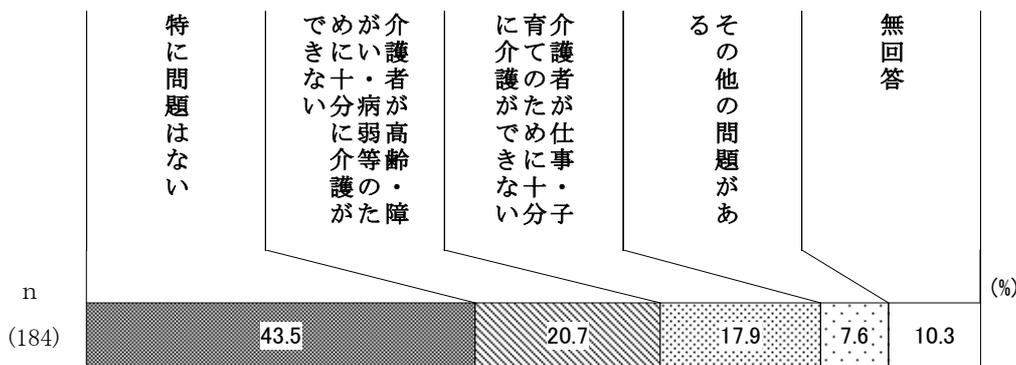


「問10で「いる(同居)」又は「いる(別居)」とお答えの方におたずねします。」
 問10-1 介護者の問題についておたずねします。(○は1つだけ)

介護してくれる家族がいる人の問題は、「介護者が高齢・障がい・病弱等のために十分に介護ができない」(20.7%)、「介護者が仕事・子育てのために十分に介護ができない」(17.9%)などの問題のあるケースも少なくありません。

平成19年の調査結果と比較すると、「特に問題はない」は56.0%から43.5%へ減少し、「介護者が仕事・子育てのために十分に介護ができない」が13.5%から17.9%へ増加しています。

図3-14 介護者の問題



第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

表3-2 要介護度別・同居家族別 介護者の問題

上段：人数／下段：%

	調査数	特に問題はない	分に介護が い・病弱が 介護がで な い た め に 十	介 護 者 が 高 齢 ・ 障 が に 十	介 護 者 が 仕 事 に ・ 子 育 て が	そ の 他 の 問 題 が あ る	無 回 答
全 体	184 100.0	80 43.5	38 20.7	33 17.9	14 7.6	19 10.3	

問4 要介護度

要支援1	60 100.0	34 56.7	9 15.0	9 15.0	2 3.3	6 10.0
要支援2	40 100.0	22 55.0	8 20.0	7 17.5	1 2.5	2 5.0
要介護1	39 100.0	17 43.6	7 17.9	8 20.5	5 12.8	2 5.1
要介護2	16 100.0	3 18.8	5 31.3	3 18.8	1 6.3	4 25.0
要介護3	11 100.0	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	1 9.1
要介護4	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0
要介護5	9 100.0	-	4 44.4	1 11.1	4 44.4	-

問8 世帯状況

ひとり暮らし世帯	25 100.0	5 20.0	2 8.0	10 40.0	3 12.0	5 20.0
同居家族がいる	158 100.0	75 47.5	36 22.8	22 13.9	11 7.0	14 8.9

表3-3 経年比較 介護者の問題

	調査数	特に問題はない	介護者に介護が与えられない	介護者が高齢・障害が十分でない	介護者が仕事・子育てが忙しい	その他の問題がある	無回答
平成19年	200人	56.0	18.5	13.5	6.0	6.0	
平成22年	184人	43.5	20.7	17.9	7.6	10.3	

(%)

問11 過去半年間（平成22年4月～9月）に入院（介護療養型医療施設への入院を含みます）したことがありますか。（○は1つだけ）

過去半年間に入院が「ある」は29.5%、「ない」が65.9%となっています。

図3-15 過去半年間の入院経験



表3-4 要介護度別・同居家族別 過去半年間の入院経験

	調査数	ある	ない	無回答
全体	220	65	145	10
	100.0	29.5	65.9	4.5

上段：人数／下段：%

問4 要介護度

要支援1	74	10	61	3
	100.0	13.5	82.4	4.1
要支援2	44	12	29	3
	100.0	27.3	65.9	6.8
要介護1	41	9	31	1
	100.0	22.0	75.6	2.4
要介護2	16	6	10	-
	100.0	37.5	62.5	-
要介護3	11	9	2	-
	100.0	81.8	18.2	-
要介護4	4	3	1	-
	100.0	75.0	25.0	-
要介護5	19	13	5	1
	100.0	68.4	26.3	5.3

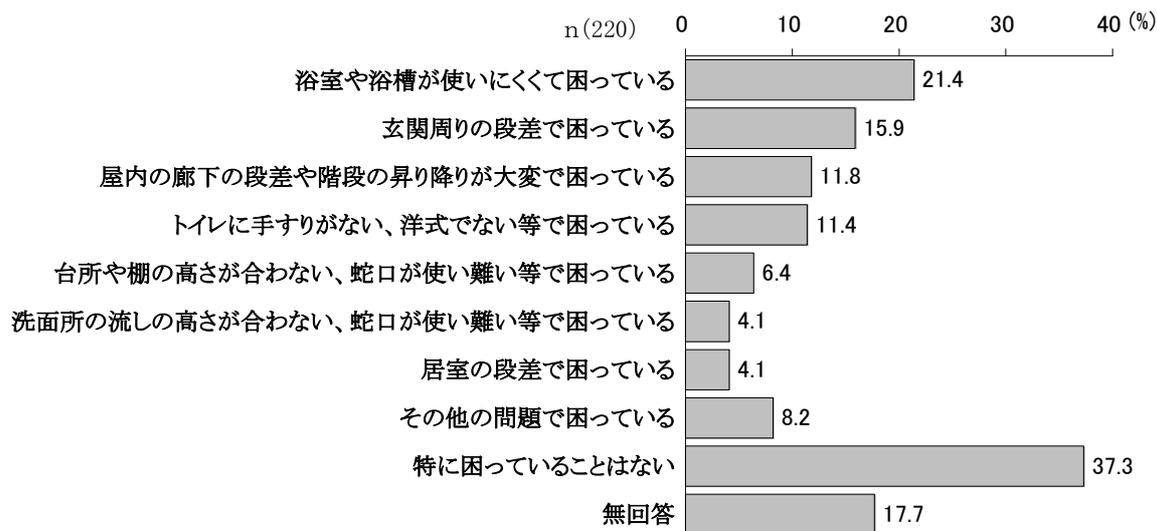
問8 世帯状況

ひとり暮らし世帯	40	15	21	4
	100.0	37.5	52.5	10.0
同居家族がいる	176	49	121	6
	100.0	27.8	68.8	3.4

問12 現在、お住まいの住宅で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の住宅で困っていることは、「浴室や浴槽が使いにくくて困っている」が21.4%で最も多く、これに「玄関周りの段差で困っている」が15.9%で次いでいます。

図3-16 住宅で困っていること

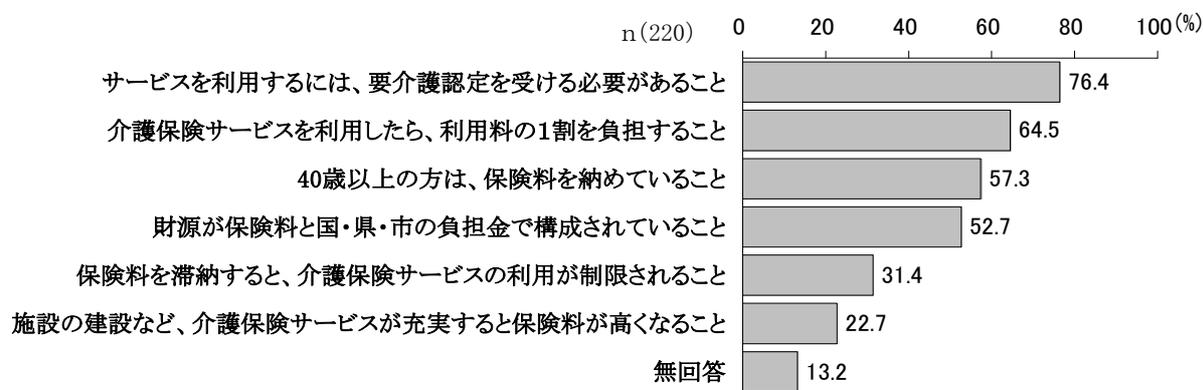


3. 介護保険の利用について

問13 介護保険制度は、高齢者等の介護を社会全体で支えるしくみであり、制度は皆さまからの保険料で成り立っています。あなたは、次にあげるような介護保険制度・しくみに関することがらをご存知ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険制度についての周知度は、「介護保険サービスを利用するには、要介護認定を受ける必要があること」が76.4%で最も多く、これに「介護保険サービスを利用したら、利用料の1割を負担すること」（64.5%）が次いでいます。

図3-17 介護保険制度・しくみで知っていること



第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

表3-5 要介護度別・同居家族別 介護保険制度・しくみで知っていること

上段：人数/下段：%

	調査数	るはサ 必要要 が介ビ ある護 こと認 を受用 けるす にけに	割用介 をし保 を負た險 す、サ る利一 こと用ビ の料ス をのを 1利	険4 料0 を歳 納以 め上 ての 方は 、保	さ れ・ 市が の保 負担 料と で国 構・ 成	財 源が 制限 され るこ と	用介保 が護險 料を 滞納 する こと と	保サ施 険一設 料がの 高が建 く充設 くなる実 ること等 と介護 と保険	無 回 答
全 体	220 100.0	168 76.4	142 64.5	126 57.3	116 52.7	69 31.4	50 22.7	29 13.2	
問4 要介護度									
要支援1	74 100.0	54 73.0	46 62.2	32 43.2	33 44.6	15 20.3	13 17.6	11 14.9	
要支援2	44 100.0	37 84.1	30 68.2	28 63.6	27 61.4	19 43.2	14 31.8	4 9.1	
要介護1	41 100.0	30 73.2	27 65.9	28 68.3	24 58.5	14 34.1	12 29.3	3 7.3	
要介護2	16 100.0	14 87.5	13 81.3	11 68.8	10 62.5	6 37.5	4 25.0	2 12.5	
要介護3	11 100.0	9 81.8	5 45.5	8 72.7	5 45.5	1 9.1	1 9.1	-	
要介護4	4 100.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	-	
要介護5	19 100.0	13 68.4	13 68.4	11 57.9	10 52.6	8 42.1	4 21.1	5 26.3	
問8 世帯状況									
ひとり暮らし世帯	40 100.0	29 72.5	25 62.5	20 50.0	19 47.5	10 25.0	7 17.5	4 10.0	
同居家族がいる	176 100.0	136 77.3	113 64.2	104 59.1	93 52.8	57 32.4	41 23.3	25 14.2	

表3-6 経年比較 介護保険制度・しくみで知っていること

(%)

	調査数	るはサ 必要要 が介ビ ある護 こと認 を受用 けるす にけに	割用介 をし保 を負た險 す、サ る利一 こと用ビ の料ス をのを 1利	険4 料0 を歳 納以 め上 ての 方は 、保	さ れ・ 市が の保 負担 料と で国 構・ 成	財 源が 制限 され るこ と	用介保 が護險 料を 滞納 する こと と	保サ施 険一設 料がの 高が建 く充設 くなる実 ること等 と介護 と保険	無 回 答
平成19年	270人	73.3	66.7	69.3	53.7	35.9	23.7	13.7	
平成22年	220人	76.4	64.5	57.3	52.7	31.4	22.7	13.2	

(注)「40歳以上の方は、保険料を納めること」は、平成19年では「65歳以上の方は、全員保険料を支払っていること」

問14 あなたが現在お支払いの介護保険料は何段階ですか。(○は1つだけ)

介護保険料の段階については、「第8段階（月額5,670円）」（13.2%）、「第2段階（月額2,268円）」（11.8%）が、1割を超えてやや多くなっています。

図3-18 納めている介護保険料の段階

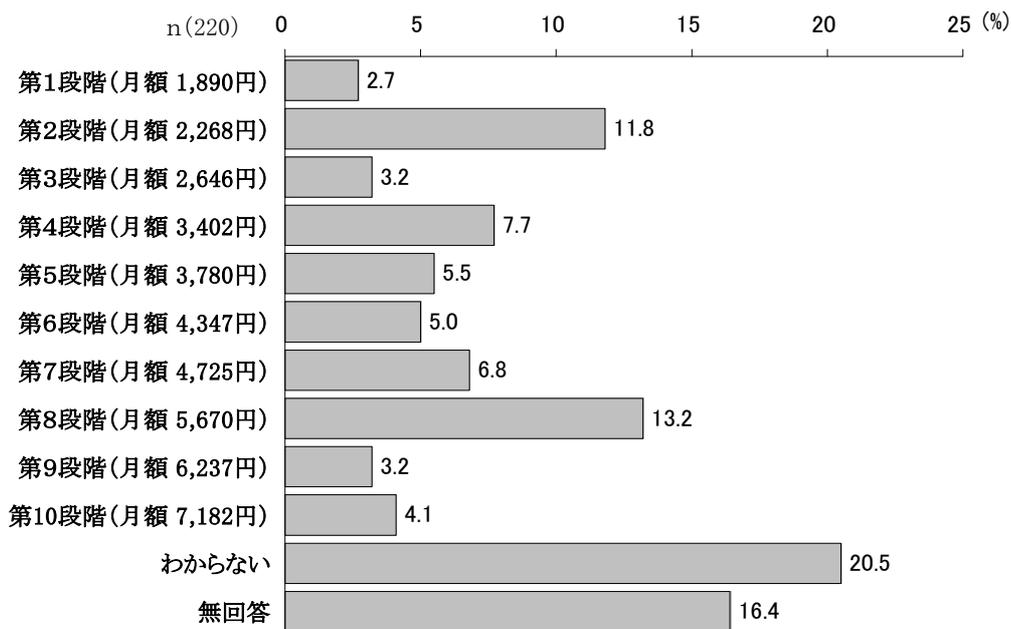


表3-7 要介護度別 納めている介護保険料の段階

上段：人数/下段：%

	調査数	（第1	（第2	（第3	（第4	（第5	（第6	（第7	（第8	（第9	（第10	わからない	無回答
		月額1段階	月額2段階	月額3段階	月額4段階	月額5段階	月額6段階	月額7段階	月額8段階	月額9段階	月額0段階		
全体	220	6	26	7	17	12	11	15	29	7	9	45	36
	100.0	2.7	11.8	3.2	7.7	5.5	5.0	6.8	13.2	3.2	4.1	20.5	16.4

問4 要介護度

要支援1	74	3	4	6	6	4	5	4	10	3	5	17	7
	100.0	4.1	5.4	8.1	8.1	5.4	6.8	5.4	13.5	4.1	6.8	23.0	9.5
要支援2	44	-	5	1	6	2	3	3	5	1	1	11	6
	100.0	-	11.4	2.3	13.6	4.5	6.8	6.8	11.4	2.3	2.3	25.0	13.6
要介護1	41	1	6	-	2	1	1	4	9	-	1	9	7
	100.0	2.4	14.6	-	4.9	2.4	2.4	9.8	22.0	-	2.4	22.0	17.1
要介護2	16	-	4	-	-	3	1	1	1	2	-	2	2
	100.0	-	25.0	-	-	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	-	12.5	12.5
要介護3	11	-	3	-	-	1	-	2	1	-	1	2	1
	100.0	-	27.3	-	-	9.1	-	18.2	9.1	-	9.1	18.2	9.1
要介護4	4	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-
	100.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-
要介護5	19	1	3	-	3	-	1	-	2	1	-	2	6
	100.0	5.3	15.8	-	15.8	-	5.3	-	10.5	5.3	-	10.5	31.6

問15 問13の「6」のように、介護保険サービスが充実すると保険料は高くなります。介護保険サービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。
(○は1つだけ)

介護保険サービスと保険料の関係については、「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」(23.6%)と「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」(20.5%)が、多くなっています。また、「どちらともいえない」が30.5%になっています。

図3-19 介護保険サービスと保険料の考えについて

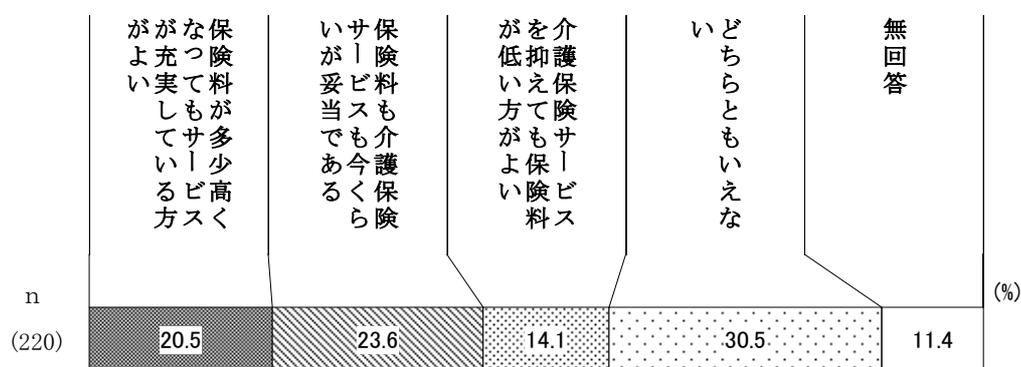


表3-8 要介護度別・同居家族別 介護保険サービスと保険料の考えについて

	調査数	保険料が多少高くてもサービスがよい	保険料も介護保険サービスも今くらい	介護保険サービスがよいが保険料を抑えたい	どちらともいえない	無回答
全体	220	45	52	31	67	25
	100.0	20.5	23.6	14.1	30.5	11.4
問4 要介護度						
要支援1	74	9	17	14	28	6
	100.0	12.2	23.0	18.9	37.8	8.1
要支援2	44	10	12	4	16	2
	100.0	22.7	27.3	9.1	36.4	4.5
要介護1	41	9	10	4	12	6
	100.0	22.0	24.4	9.8	29.3	14.6
要介護2	16	5	1	5	4	1
	100.0	31.3	6.3	31.3	25.0	6.3
要介護3	11	4	5	-	2	-
	100.0	36.4	45.5	-	18.2	-
要介護4	4	1	2	-	-	1
	100.0	25.0	50.0	-	-	25.0
要介護5	19	6	3	-	5	5
	100.0	31.6	15.8	-	26.3	26.3
問8 世帯状況						
ひとり暮らし世帯	40	5	8	8	16	3
	100.0	12.5	20.0	20.0	40.0	7.5
同居家族がいる	176	39	44	22	50	21
	100.0	22.2	25.0	12.5	28.4	11.9

上段：人数／下段：%

問16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない理由は、「家族が介護してくれるから」(32.7%)と「介護者の急病など、万一に備えて認定だけは受けておきたいから」(30.0%)が、とくに多くなっています。また、「サービスを利用しなくても日常生活に困らないから」も24.5%と多くなっています。平成19年の調査結果と比較すると、「サービスを利用しなくても日常生活に困らないから」は35.6%から24.5%へ減少しています。

図3-20 介護保険サービスを利用しない理由

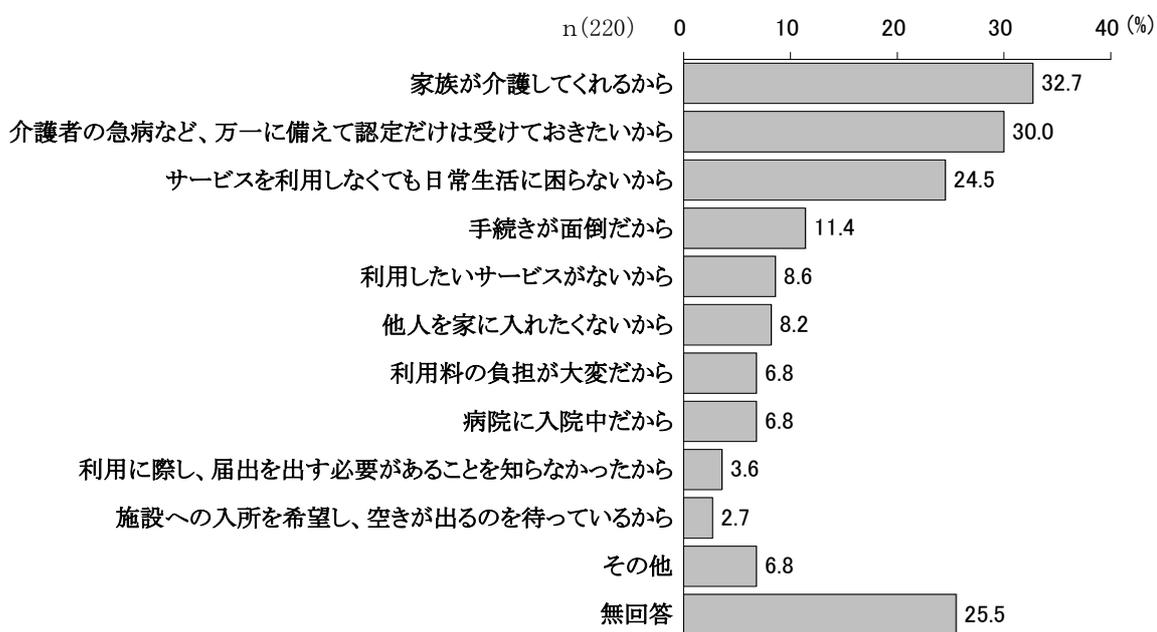


表3-9 経年比較 介護保険サービスを利用しない理由

(%)

	調査数	家族が介護してくれるから	介護者の急病など、万一に備えて認定だけは受けておきたいから	サービスを利用しなくても日常生活に困らないから	手続きが面倒だから	利用したいサービスがないから	他人を家に入れたくないから	利用料の負担が大変だから	病院に入院中だから	利用に際し、届出を出す必要があることを知らなかったから	施設への入所を希望し、空きが出るのを待っているから	その他	無回答
平成19年	270人	35.9	31.9	35.6	10.7	7.4	10.0	9.6	6.3	3.3	1.5	10.4	16.3
平成22年	220人	32.7	30.0	24.5	11.4	8.6	8.2	6.8	6.8	3.6	2.7	6.8	25.5

問17 介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）への入所を希望していますか。（○は1つだけ）

介護保険施設への入所については、「施設入所を希望している」は25.0%、「施設入所を希望していない」は59.1%となっています。

図3-21 介護保険施設への入所希望

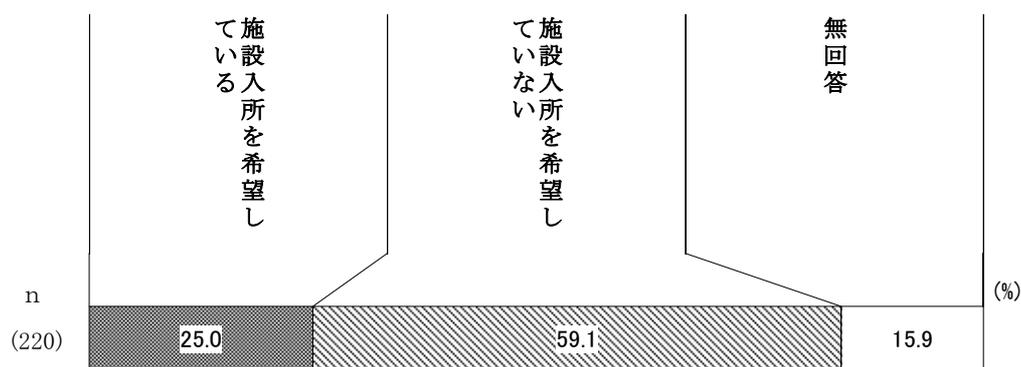


表3-10 要介護度別・同居家族別 介護保険施設への入所希望

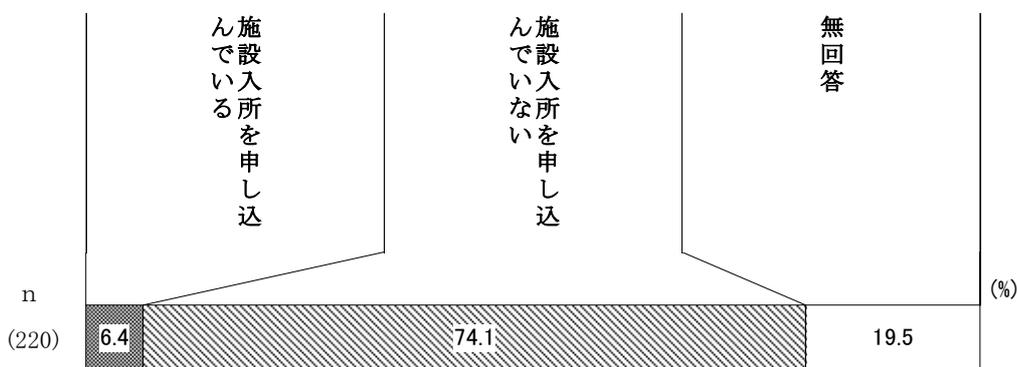
	調査数	施設入所を希望している	施設入所を希望していない	無回答
全体	220	55	130	35
	100.0	25.0	59.1	15.9
問4 要介護度				
要支援1	74	17	48	9
	100.0	23.0	64.9	12.2
要支援2	44	9	28	7
	100.0	20.5	63.6	15.9
要介護1	41	10	27	4
	100.0	24.4	65.9	9.8
要介護2	16	5	9	2
	100.0	31.3	56.3	12.5
要介護3	11	1	9	1
	100.0	9.1	81.8	9.1
要介護4	4	2	2	-
	100.0	50.0	50.0	-
要介護5	19	9	3	7
	100.0	47.4	15.8	36.8
問8 世帯状況				
ひとり暮らし世帯	40	18	17	5
	100.0	45.0	42.5	12.5
同居家族がいる	176	37	111	28
	100.0	21.0	63.1	15.9

上段：人数／下段：%

問18 介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）への入所申し込みをしていますか。（○は1つだけ）

介護保険施設への入所申し込みについて、「施設入所を申し込んでいる」は6.4%、「施設入所を申し込んでいない」は74.1%となっています。

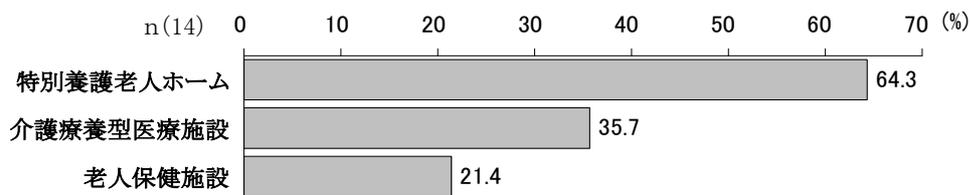
図3-22 介護保険施設への入所申込みの有無



≪問18で「施設入所を申し込んでいる」とお答えの方におたずねします。≫
 問18-1 申し込んでいる施設は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

入所を申し込んでいる施設については、「特別養護老人ホーム」が64.3%で最も多く、「介護療養型医療施設」(35.7%)、「老人保健施設」(21.4%)の順で続いています。

図3-23 入所を申し込んでいる施設



4. 介護保険サービスの利用について

問19 介護保険のサービスそれぞれについておたずねします。

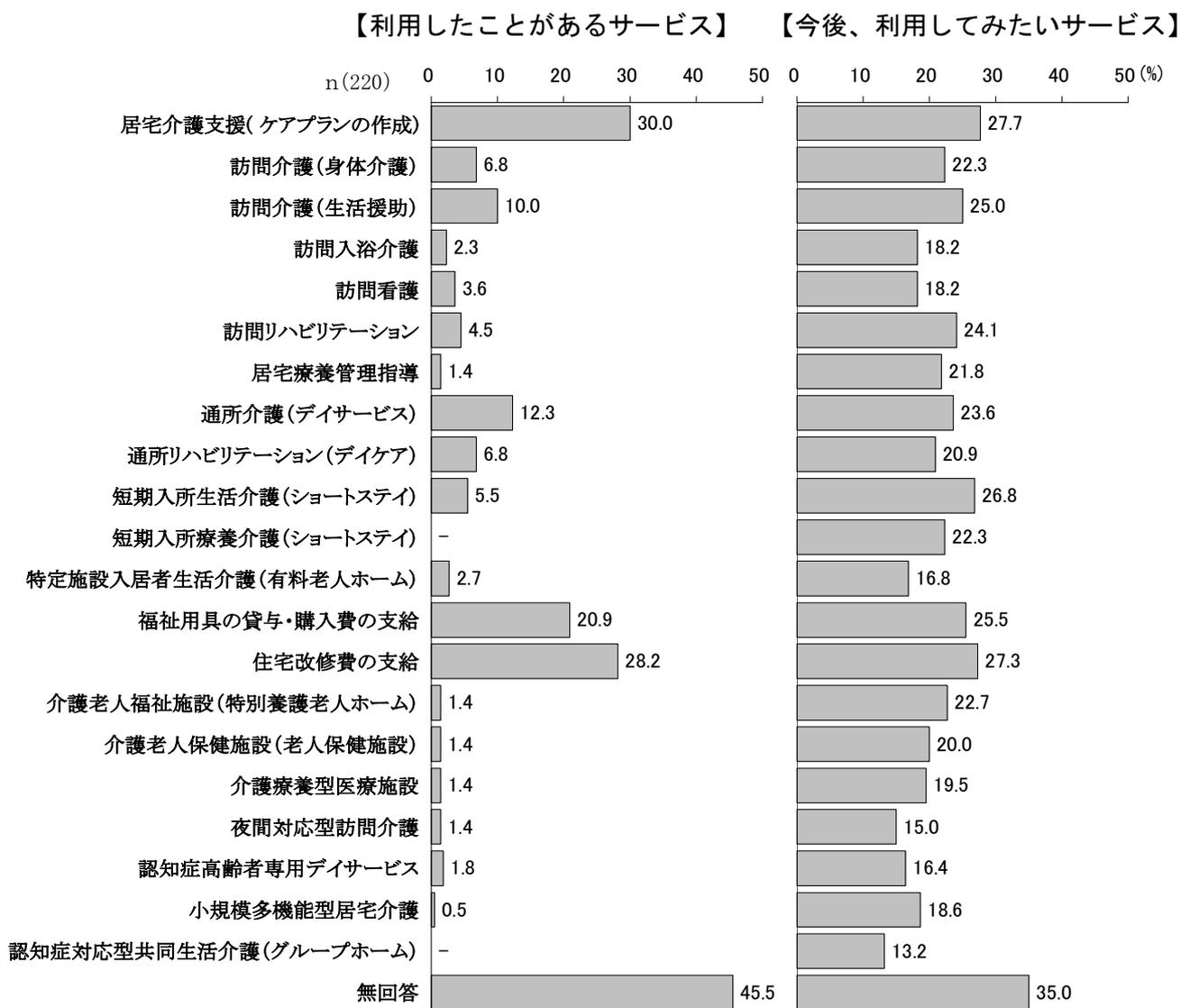
- 1 利用したことがあるサービス
- 2 今後、利用してみたいサービス

それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

介護サービスの利用状況は、「居宅介護支援（ケアプランの作成）」が30.0%で最も多く、「住宅改修費の支給」（28.2%）、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（20.9%）の順で続いています

今後の利用意向は、「居宅介護支援（ケアプランの作成）」が27.7%で最も多く、「住宅改修費の支給」（27.3%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（26.8%）、「福祉用具の貸与・購入費の支給」（25.5%）、「訪問介護（生活援助）」（25.0%）の順で続いています。

図3-24 介護保険サービスの利用状況と、今後の利用意向



5. 以前に介護保険サービスを利用した方について

問20 介護保険のサービスの利用をやめた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

過去に介護保険サービスを利用していたが、利用をやめた理由は、「家族等の介護で何とかやっ
ていけるようになったから」が15.8%で最も多く、「自分に合った(利用したい)サービスがない
から」(12.5%)、「心身の状態が改善されたから」「入院したから」(ともに10.8%)の順で続いて
います。

図3-25 介護保険サービスの利用をやめた理由

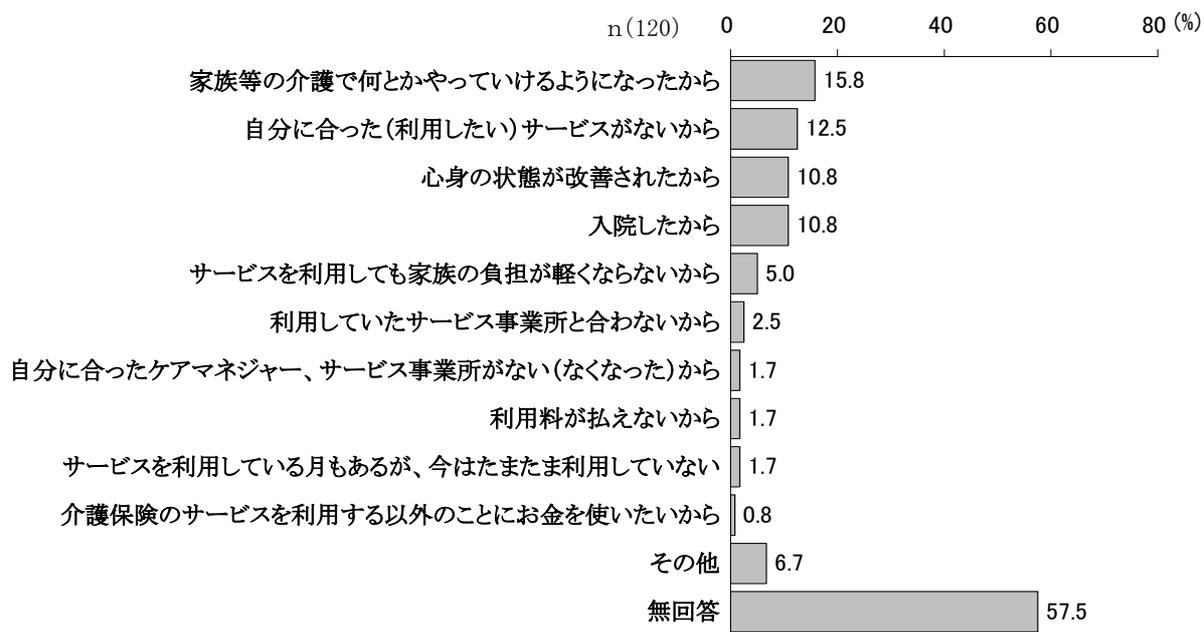


表3-11 経年比較 介護保険サービスの利用をやめた理由

(%)

調査数	家族等の介護で何とかやっ ていけるようになったから	自分に合った(利用したい) サービスがないから	心身の状態が改善されたから	入院したから	サービスを利用しても家族の 負担が軽くならないから	利用料が払えないから	自分に合ったケアマネ ジャー、サービス事業所が ない(なくなった)から	利用している月もあるが、 今はたまたま利用して いない	介護保険のサービスを利用 する以外のことにお金を 使いたいから	その他	無回答	
平成19年 114人	15.8	8.8	8.8	7.9	3.5	5.3	2.6	1.8	4.4	2.6	10.5	53.5
平成22年 120人	15.8	12.5	10.8	10.8	5.0	2.5	1.7	1.7	1.7	0.8	6.7	57.5

6. 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて

問21 次に示す高齢者福祉サービスのそれぞれについておたずねします。

- 1 利用したことがあるサービス
- 2 今後、利用してみたいサービス

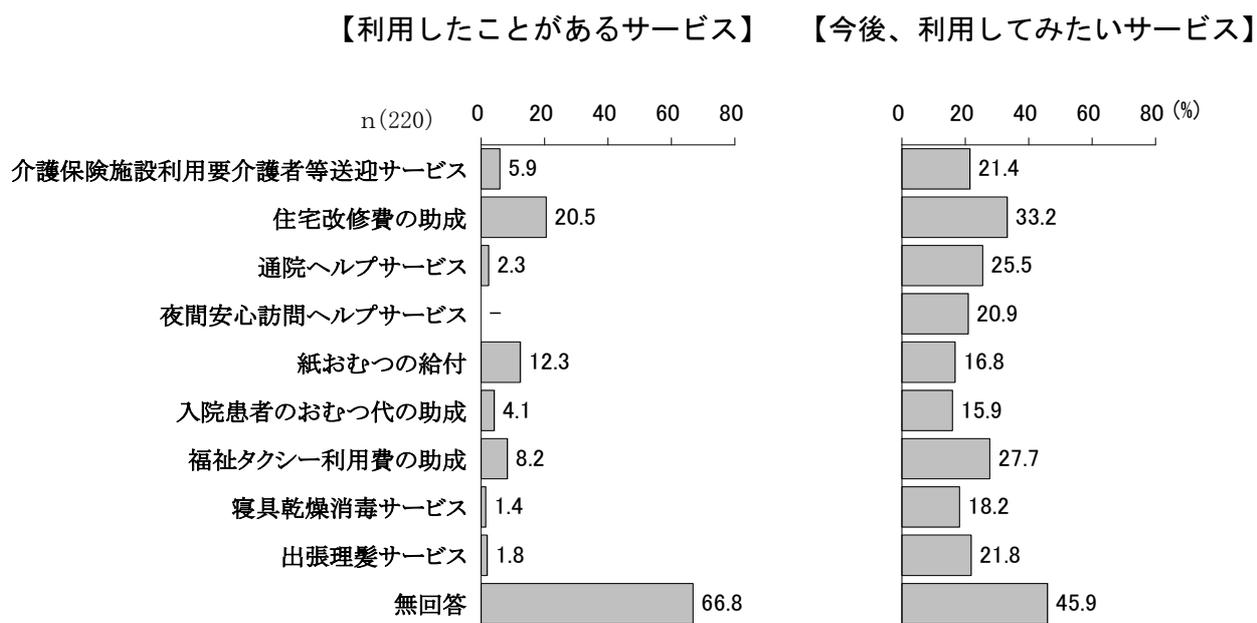
それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

○要介護者を対象とする高齢者福祉サービス

要介護者を対象とする高齢者福祉サービスの利用状況は、「住宅改修費の助成」が20.5%で最も多く、これに「紙おむつの給付」が12.3%で次いでいます。

今後の利用意向は、「住宅改修費の助成」が33.2%で最も多く、「福祉タクシー利用費の助成」(27.7%)、「通院ヘルプサービス」(25.5%)の順で続いています。

図3-26 要介護者を対象とする高齢者福祉サービスの利用状況と、今後の利用意向



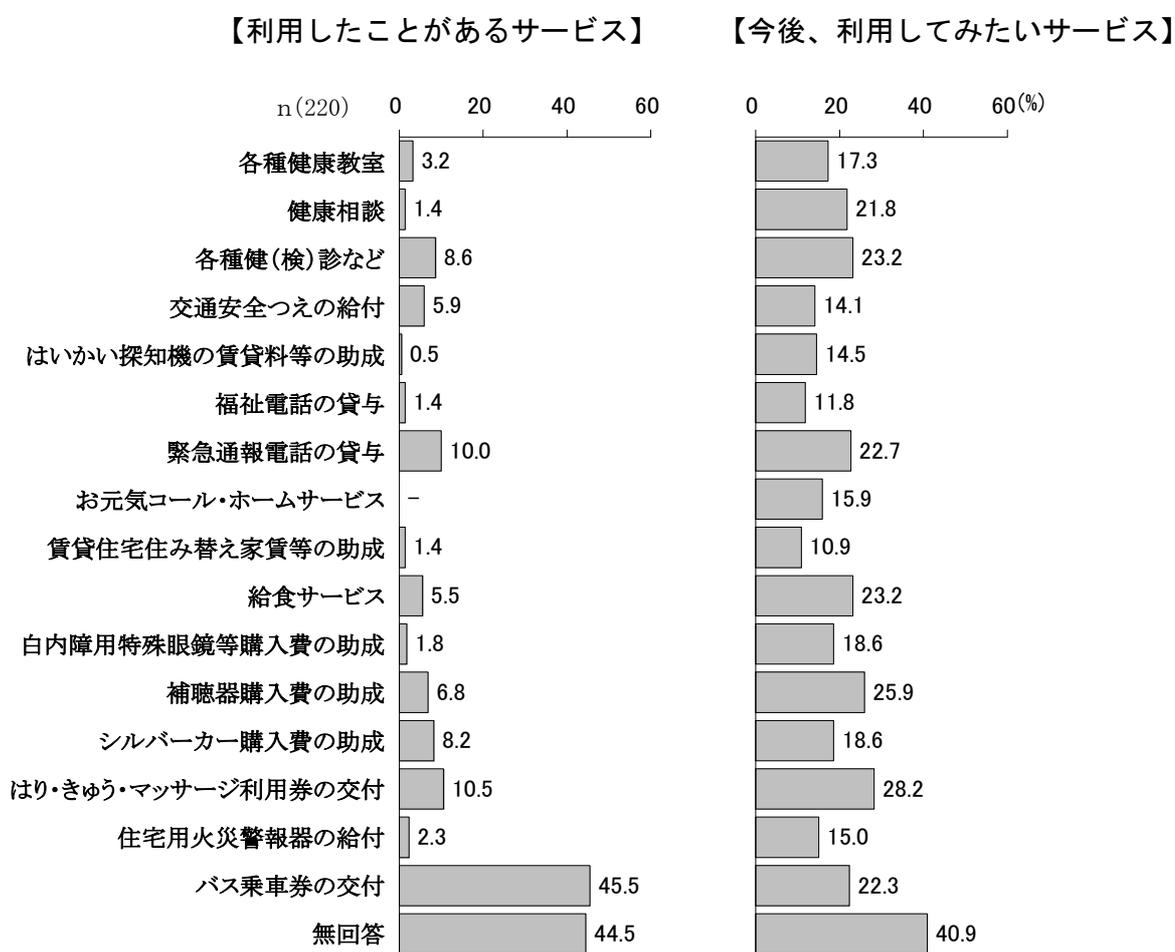
第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

○高齢者保健福祉サービス

高齢者保健福祉サービスの利用状況は、「バス乗車券の交付」が45.5%で圧倒的に多くなっています。

今後の利用意向は、「はり・きゅう・マッサージ利用券の交付」が28.2%で最も多く、「補聴器購入費の助成」(25.9%)、「各種健(検)診など」「給食サービス」(ともに23.2%)の順で続いています。

図3-27 高齢者保健福祉サービスの利用状況と、今後の利用意向



7. 災害時のことについて

問22 あなたは、地震などのいざという時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか。(〇は1つだけ)

災害時に自力で避難「できる」は30.0%で、「できない」が59.5%を占めています。

図3-28 避難場所まで自力で避難できる

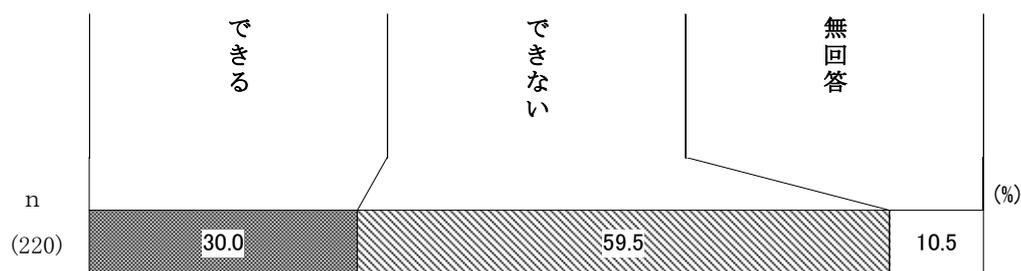


表3-12 同居家族別 避難場所まで自力で避難できる

	調査数	できる	できない	無回答
全体	220	66	131	23
	100.0	30.0	59.5	10.5
問8 世帯状況				
ひとり暮らし世帯	40	10	27	3
	100.0	25.0	67.5	7.5
同居家族がいる	176	54	102	20
	100.0	30.7	58.0	11.4

上段：人数／下段：%

「問22で「できる」と答えた方におうかがいします。」

問22-1 地震などのいざという時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいますか。

(○は1つだけ)

災害時に避難を助けてくれる家族以外の方が「いる」は42.4%、「いない」は47.0%となっています。

図3-29 避難を助けてくれる家族以外の方の有無

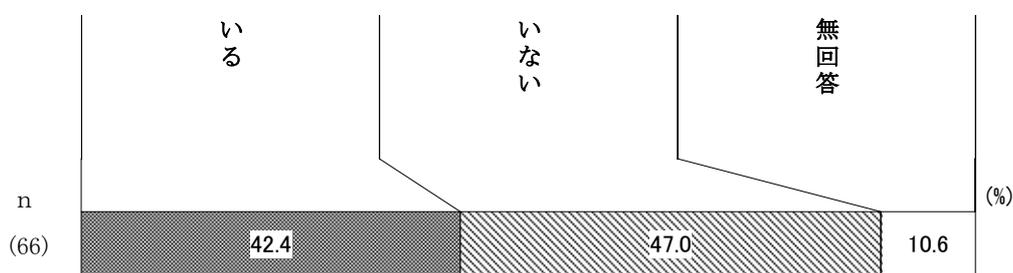


表3-13 同居家族別 避難を助けてくれる家族以外の方の有無

	調査数	いる	いない	無回答
全体	66	28	31	7
	100.0	42.4	47.0	10.6
問8 世帯状況				
ひとり暮らし世帯	10	4	5	1
	100.0	40.0	50.0	10.0
同居家族がいる	54	23	25	6
	100.0	42.6	46.3	11.1

上段：人数／下段：%

「問22-1で「いる」と答えた方におうかがいします。」
 問22-2 それほどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に避難を助けてくれる家族以外の方は、「近所の住民（親族を含む）」が96.4%と圧倒的に多くなっています。

図3-30 避難を助けてくれる人

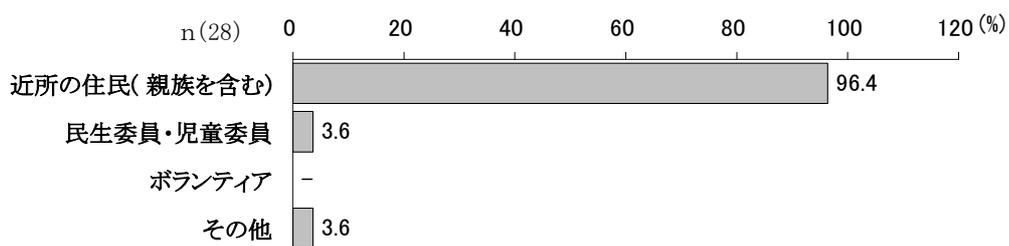


表3-14 同居家族別 避難を助けてくれる人

	調査数	近所の住民(親族を含む)	民生委員・児童委員	ボランティア	その他
全体	28	27	1	-	1
	100.0	96.4	3.6	-	3.6
問8 世帯状況					
ひとり暮らし世帯	4	4	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-
同居家族がいる	23	23	1	-	-
	100.0	100.0	4.3	-	-

上段：人数／下段：%

「すべての方におうかがいします。」

問23 地震などのいざという時のことで、あなたがふだん不安に感じていることは、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時の不安は、「避難所まで移動できるか」が60.9%で最も多く、「まわりの人に助けてもらえるか」(52.7%)、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」(44.5%)、「避難所での介護、看護をしてもらえるか」(44.1%)の順で続いています。

図3-31 地震などのいざというときに感じている不安

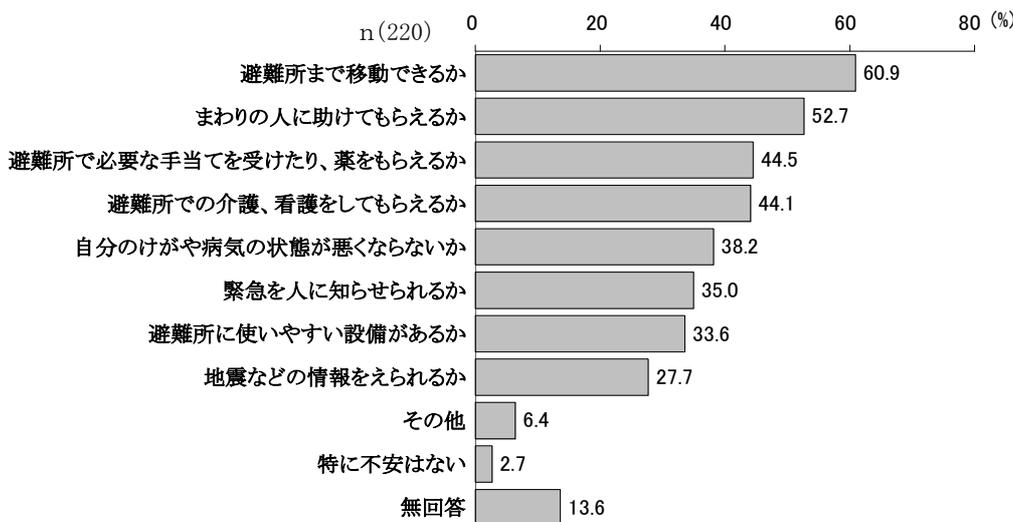


表3-15 要介護度別・同居家族別 地震などのいざというときに感じている不安

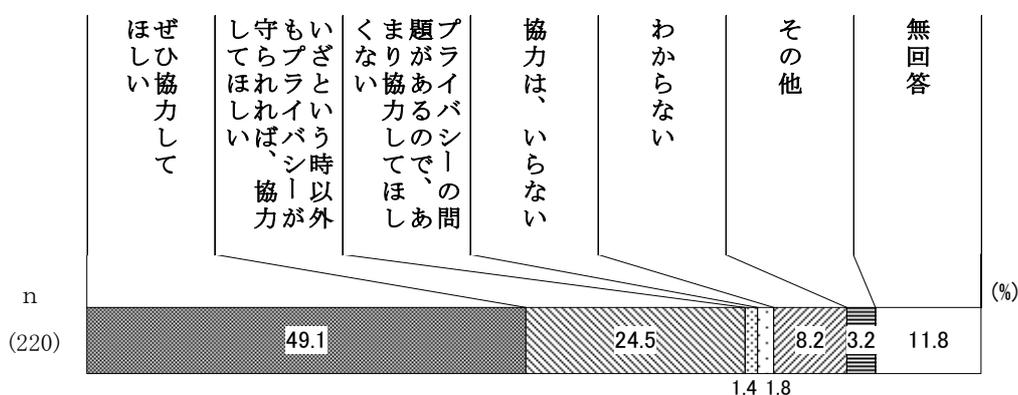
上段：人数/下段：%

	調査数	地震などの情報をえら	緊急を人に知らせられ	まわりの人に助けても	避難所まで移動できる	避難所での介護、看護	避難所での必要薬を手当て	避難所での介護、看護	避難所に使いやすい設備	自分のけがや病気の状況	その他	特に不安はない	無回答
全体	220	61	77	116	134	97	98	74	84	14	6	30	
	100.0	27.7	35.0	52.7	60.9	44.1	44.5	33.6	38.2	6.4	2.7	13.6	
問4 要介護度													
要支援1	74	24	28	37	43	30	32	28	22	4	3	5	
	100.0	32.4	37.8	50.0	58.1	40.5	43.2	37.8	29.7	5.4	4.1	6.8	
要支援2	44	12	14	24	30	20	22	14	16	2	1	5	
	100.0	27.3	31.8	54.5	68.2	45.5	50.0	31.8	36.4	4.5	2.3	11.4	
要介護1	41	12	16	21	24	18	16	14	18	2	2	6	
	100.0	29.3	39.0	51.2	58.5	43.9	39.0	34.1	43.9	4.9	4.9	14.6	
要介護2	16	4	7	12	13	8	9	4	9	2	-	1	
	100.0	25.0	43.8	75.0	81.3	50.0	56.3	25.0	56.3	12.5	-	6.3	
要介護3	11	3	5	8	11	8	7	4	6	-	-	-	
	100.0	27.3	45.5	72.7	100.0	72.7	63.6	36.4	54.5	-	-	-	
要介護4	4	1	1	4	4	3	4	3	2	1	-	-	
	100.0	25.0	25.0	100.0	100.0	75.0	100.0	75.0	50.0	25.0	-	-	
要介護5	19	4	4	7	6	8	6	4	6	2	-	8	
	100.0	21.1	21.1	36.8	31.6	42.1	31.6	21.1	31.6	10.5	-	42.1	
問8 世帯状況													
ひとり暮らし世帯	40	13	13	22	18	16	16	12	15	4	1	6	
	100.0	32.5	32.5	55.0	45.0	40.0	40.0	30.0	37.5	10.0	2.5	15.0	
同居家族がいる	176	48	63	92	114	80	81	60	67	10	4	24	
	100.0	27.3	35.8	52.3	64.8	45.5	46.0	34.1	38.1	5.7	2.3	13.6	

問24 地震などのいざという時のために、あらかじめボランティアなど近所の人に、あなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなたはどのように思いますか。
(○は1つだけ)

いざという時のために、避難の手伝いや介助をお願いすることについては、「ぜひ協力してほしい」が49.1%で最も多く、これに「いざという時以外もプライバシーが守られれば、協力してほしい」(24.5%)が次いでいます。

図3-32 ボランティアなどに避難の手助けを依頼することについて



第3章 居宅サービス未利用者に関する調査結果

第4章 介護サービス提供事業者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 法人の種類は、「株式会社・有限会社」が60.6%で最も多く、これに「社会福祉法人」が24.2%で次いでいます。
- 事業所の所在地は、「浦安市」が100.0%となっています。
- 主な実施事業は、「通所介護」が24.2%、「訪問介護」が18.2%となっています。
- 併設事業では、「居宅介護支援（包括支援センターを含む）」が12.1%で最も多く、「訪問介護」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」が9.1%で続いています。
- 住宅改修理由書の作成は、「作成無し」が60.6%となっています。
- ケアマネジャーの勤務形態について、「常勤」の割合は「専従」が16人、「兼務」が11人となっています。「非常勤」の割合は「専従」が12人、「兼務」が4人となっています。
- ケアマネジャーの担当利用者数について、「常勤」の平均人数は「専従」が35.9人、「兼務」が20.8人となっています。「非常勤」の平均人数は「専従」が30.9人、「兼務」が9.0人となっています。全体では「専従」が33.6人、「兼務」が17.2人となっています。
- ケアマネジャーの通算勤務月数について、「常勤」の平均月数は「専従」が55.8か月、「兼務」が39.8か月となっています。「非常勤」の平均月数は「専従」が33.3か月、「兼務」が28.3か月となっています。全体では「専従」が45.0か月、「兼務」が36.7か月となっています。
- 今後のケアマネジャーの増員の予定は、「ない」が48.5%、「検討中」が24.2%、「ある」が15.2%となっています。増員予定がない理由は「現在の人数で十分だから」が56.3%となっています。
- 事業運営で困難を感じることは、「利用者の確保が困難」「人材の確保が困難」がともに57.6%で最も多く、これに「介護報酬単価が低い」が51.5%で次いでいます。
- サービスの質の評価については、「取り組んでいる」が63.6%、「現在は取り組んでいない」が30.3%となっています。
- 苦情に対応する責任者や窓口の有無については、「責任者や窓口を設置している」が90.9%となっています。
- 苦情対応の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。
- 事故発生や予防の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。
- 損害賠償保険に加入の有無については、「損害賠償保険に加入している」が90.9%となっています。

第4章 介護サービス提供事業者に関する調査結果

- 秘密保持・プライバシーの文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。
- 衛生管理や手続き対応の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。
- 職員の健康管理に関する手続きや対応の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が87.9%となっています。
- 雇用職員の個別な雇用契約については、「個別に適正な契約を結んでいる」が90.9%となっています。
- 職員の交代要望等の対応については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が66.7%、「文書やマニュアルはない」が30.3%となっています。
- 災害発生時の対応方法については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が97.0%となっています。
- 定期的な訓練（避難訓練等）については、「半年に1回以上行っている」が48.5%、「1年に1回程度行っている」が24.2%、「行っていない」が21.2%となっています。
- サービス担当者会議を実施できているかについては、「はい」が87.9%、「いいえ」が12.1%となっています。
- 講習会・研修会を実施できているかについては、「はい」が93.9%、「いいえ」が6.1%となっています。
- 対応が困難な利用者の受け入れについては、「認知症の利用者」が72.7%、「じょく瘡のある利用者」が54.5%、「カテーテルを使用している利用者」が42.4%となっています。
- 対応が困難な利用者の割合は、「受入人数の10%程度いる」「受入人数の5%程度いる」がそれぞれ33.3%、「ほとんどいない」が27.3%となっています。
- 利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合や、提供できる以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介しているかについては、「紹介している」が90.9%となっています。
- 介護保険サービス事業の進出意向については、「現時点ではわからない」の割合順にみると「居宅介護支援」が45.5%、「夜間対応型訪問介護」が42.4%、「通所介護」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」が39.4%で続いています。
「進出する予定はない」の割合順にみると「居宅療養管理指導」「介護療養型医療施設」がともに51.5%、「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「介護老人保健施設」「老人介護支援センター」がすべて48.5%となっています。
「進出を検討している」の割合順にみると、「地域密着型介護老人福祉施設」「地域包括支援センター」がともに9.1%となっています。

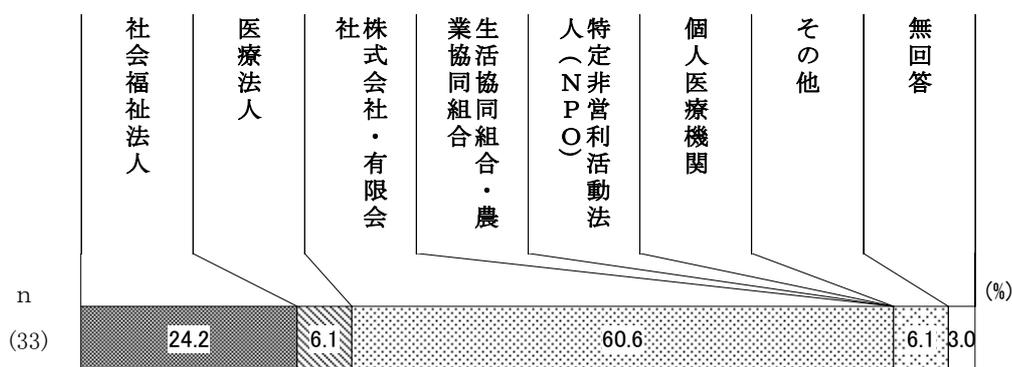
2. 事業所の概要について

問1 貴事業所の概要について記入してください。

①法人の種類（○は1つだけ）

法人の種類は、「株式会社・有限会社」が60.6%、「社会福祉法人」が24.2%となっています。

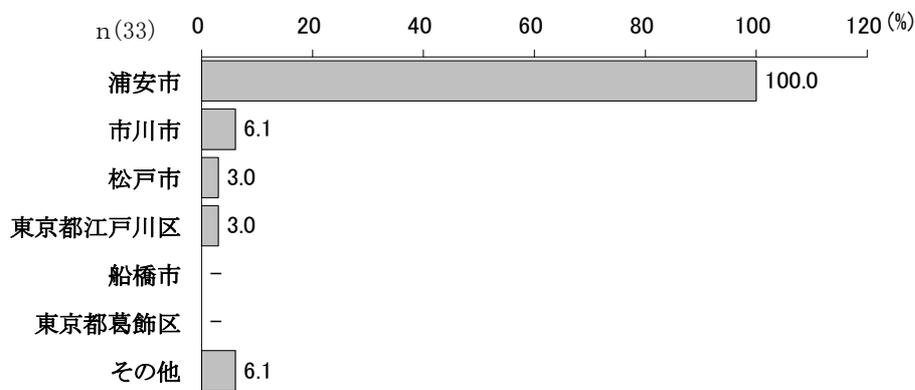
図4-1 法人の種類



②事業所の所在地（あてはまるものすべてに○）

事業所の所在地は、「浦安市」が100.0%となっています。他の地域でも事業を実施している事業所があります。

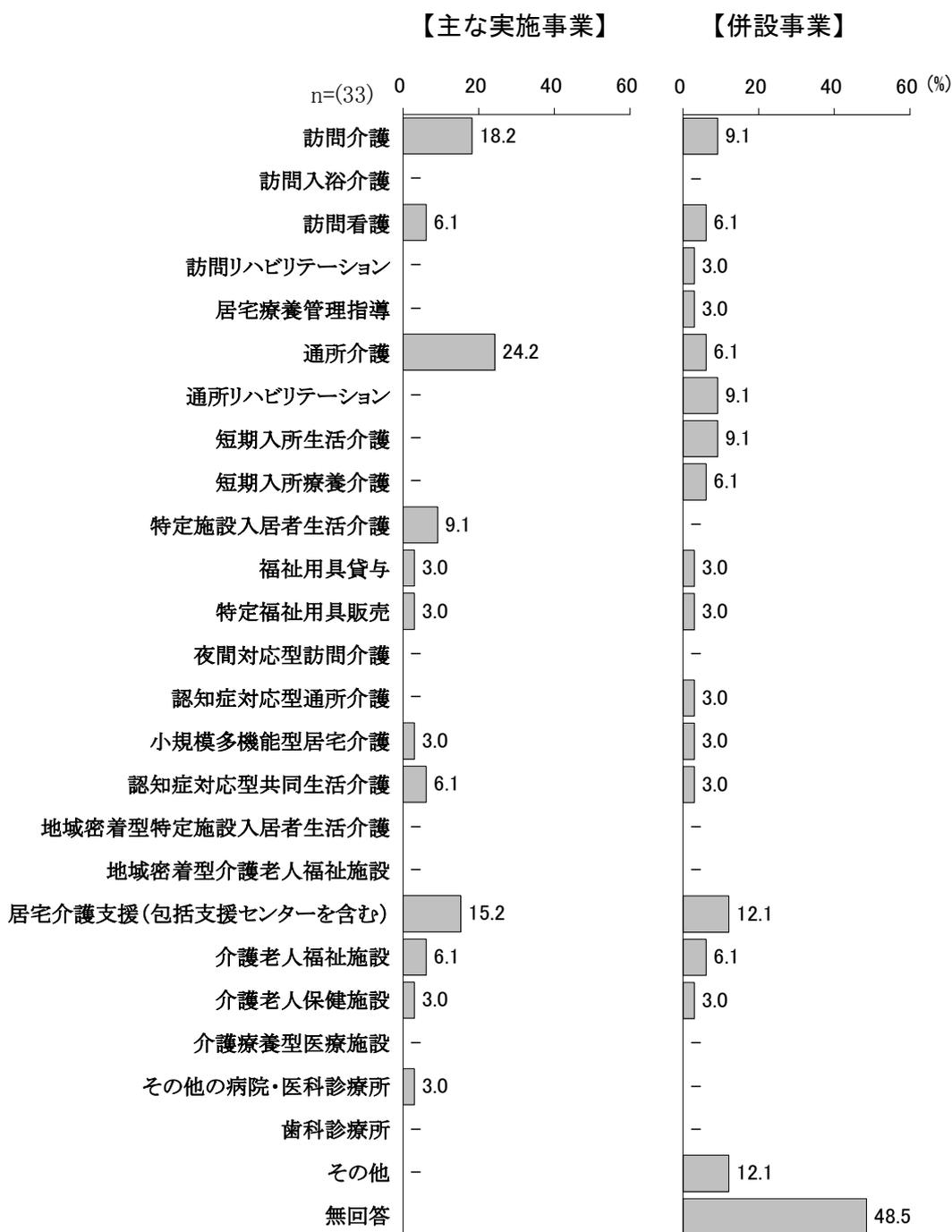
図4-2 事業所の所在地



- ③主な実施事業（○は1つだけ）
 ④併設事業（あてはまるものすべてに○）

主な実施事業は、「通所介護」が24.2%、「訪問介護」が18.2%となっています。
 併設事業では、「居宅介護支援（包括センターを含む）」が12.1%、「訪問介護」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」がそれぞれ9.1%となっています。

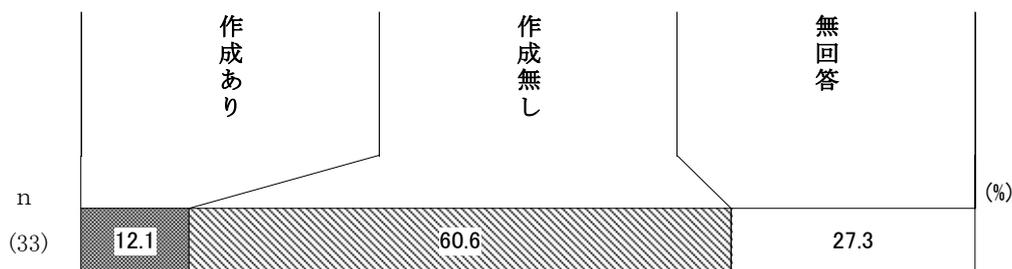
図4-3 主な実施事業と、併設事業



⑤住宅改修理由書の作成

住宅改修理由書の作成については、「作成無し」が60.6%となっています。

図4-4 住宅改修理由書の作成



問2 ケアマネジャーの状況について、1人につき1行で記入してください。

①勤務形態

勤務形態について、「常勤」の割合は「専従」が16人、「兼務」が11人となっています。「非常勤」の割合は「専従」が12人、「兼務」が4人となっています。

表4-1 勤務形態

(単位：人)

(常勤/非常勤)	問2 勤務形態(専従/兼務)			総計
	専従	兼務	不明	
常勤	16	11	2	29
非常勤	12	4	2	18
総計	28	15	4	47

②担当利用者数

担当利用者数について、「常勤」の平均人数は「専従」が35.9人、「兼務」が20.8人となっています。「非常勤」の平均人数は「専従」が30.9人、「兼務」が9.0人となっています。全体は「専従」が33.6人、「兼務」が17.2人となっています。

表4-2 担当利用者数

担当利用者数 (9月中給付管理人数)		問2 勤務形態(専従/兼務)				(単位:人)
問2 勤務形態 (常勤/非常勤)		専従	兼務	不明	総計	
常勤	全事業所数	16	11	2	29	
	人数合計	503	187	30	720	
	対象事業所数	14	9	1	24	
	平均人数	35.9	20.8	30.0	30.0	
	最大人数	101	33	30	101	
	最小人数	2	7	30	2	
非常勤	全事業所数	12	4	2	18	
	人数合計	371	36	38	445	
	対象事業所数	12	4	2	18	
	平均人数	30.9	9.0	19.0	24.7	
	最大人数	57	15	23	57	
	最小人数	10	2	15	2	
全体	全事業所数	28	15	4	47	
	人数合計	874	223	68	1165	
	対象事業所数	26	13	3	42	
	平均人数	33.6	17.2	22.7	27.7	
	最大人数	101	33	30	101	
	最小人数	2	2	15	2	

③通算勤務月数

通算勤務月数について、「常勤」の平均月数は「専従」が55.8か月、「兼務」が39.8か月となっています。「非常勤」の平均月数は「専従」が33.3か月、「兼務」が28.3か月となっています。全体は「専従」が45.0か月、「兼務」が36.7か月となっています。

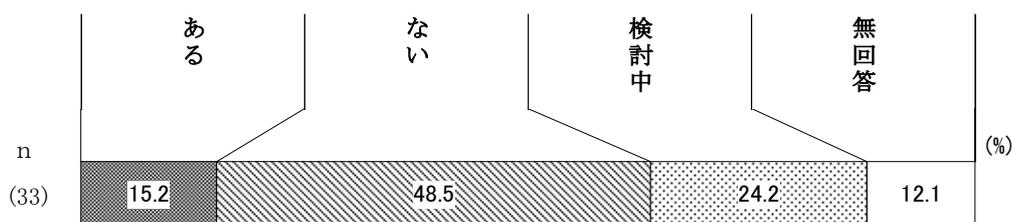
表4-3 通算勤務月数

通算勤務月数 (9月30日までの勤務月数)		問2 勤務形態(専従/兼務)				(単位:か月)
問2 勤務形態 (常勤/非常勤)		専従	兼務	不明	総計	
常勤	全事業所数	16	11	2	29	
	月数合計	725	438	133	1296	
	対象事業所数	13	11	2	26	
	平均月数	55.8	39.8	66.5	49.8	
	最大月数	126	102	67	126	
	最小月数	12	6	66	6	
非常勤	全事業所数	12	4	2	18	
	月数合計	400	113	45	558	
	対象事業所数	12	4	2	18	
	平均月数	33.3	28.3	22.5	31.0	
	最大月数	72	72	40	72	
	最小月数	6	7	5	5	
全体	全事業所数	28	15	4	47	
	月数合計	1125	551	178	1854	
	対象事業所数	25	15	4	44	
	平均月数	45.0	36.7	44.5	42.1	
	最大月数	126	102	67	126	
	最小月数	6	6	5	5	

問3 今後ケアマネジャーの増員の予定はありますか。(〇は1つだけ)

ケアマネジャーの増員の予定は、「ない」が48.5%となっています。

図4-5 ケアマネジャーの増員の予定

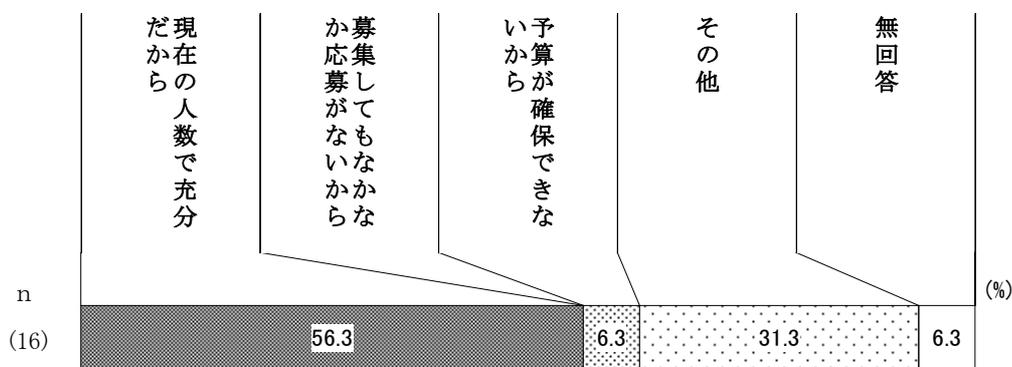


《問3で「ない」とお答えの事業所におたずねします》

問3-1 増員予定がない理由は何ですか。(〇は1つだけ)

増員の予定がない理由は、「現在の人数で充分だから」が56.3%となっています。

図4-6 増員の予定がない理由



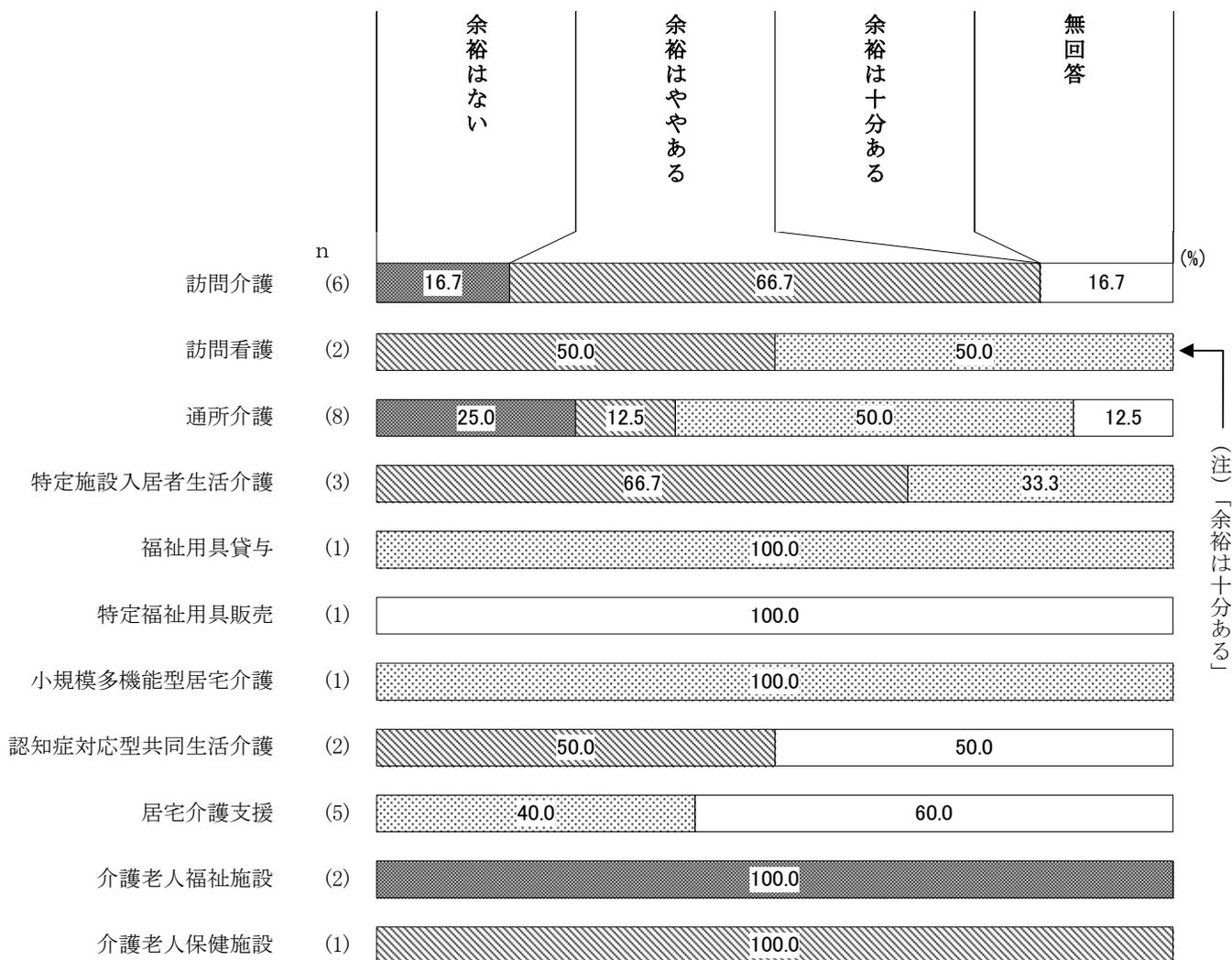
問5 提供しているサービスの種類ごとに、以下の質問にご回答ください。

(○はそれぞれ1つだけ)

①利用者からの利用申込みへの対応は

「訪問看護」「通所介護」は、「余裕は十分ある」がいずれも50.0%を占めています。

図4-7 利用申込みへの対応

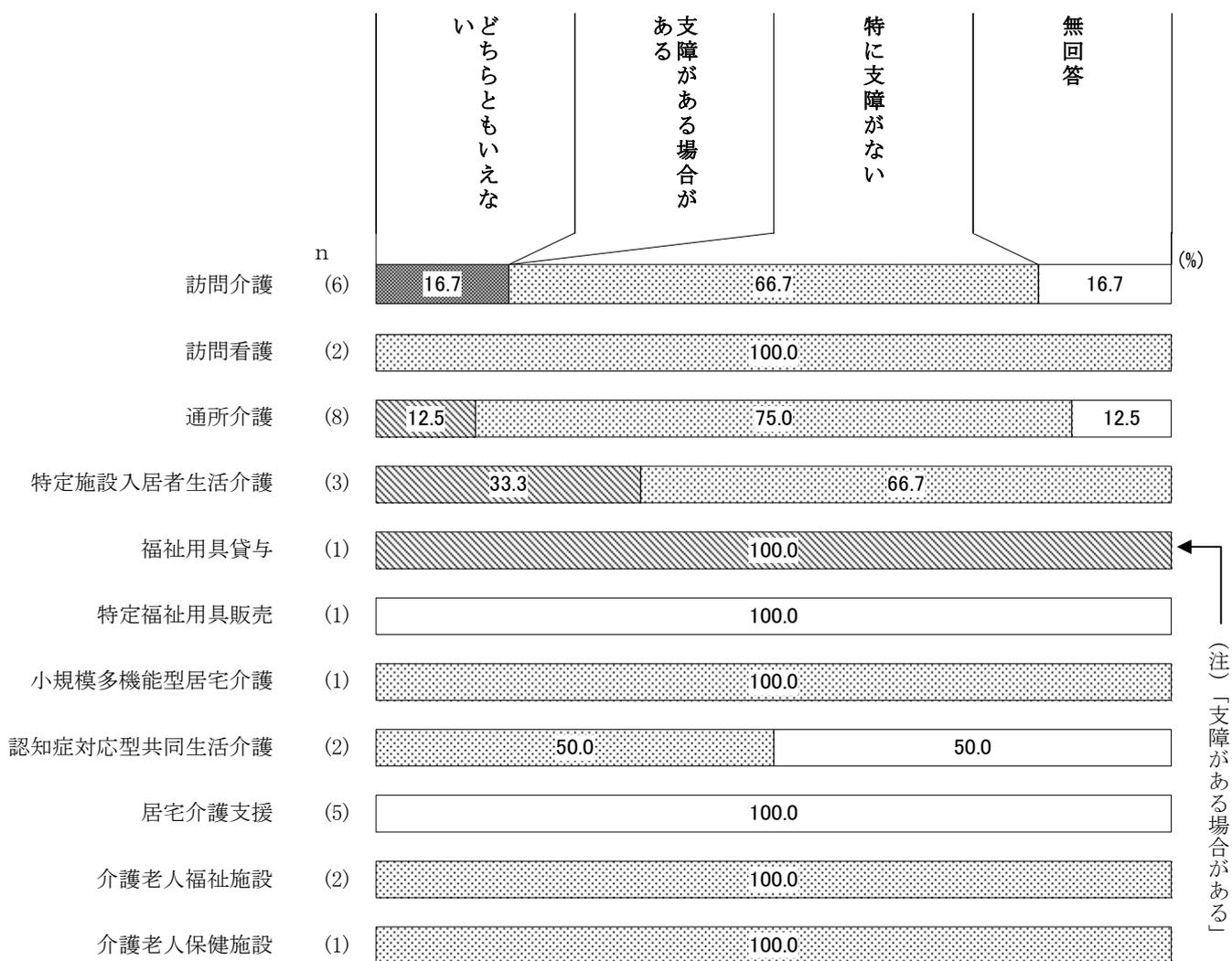


(注) 項目がないものは記入なしのため省略。また、「その他の病院・医科診療所」は問5の項目にはない。

②利用者からの一部負担金の徴収は

「訪問介護」「通所介護」は、「特に支障がない」が、それぞれ66.7%、75.0%となっています。

図4-8 一部負担金の徴収について

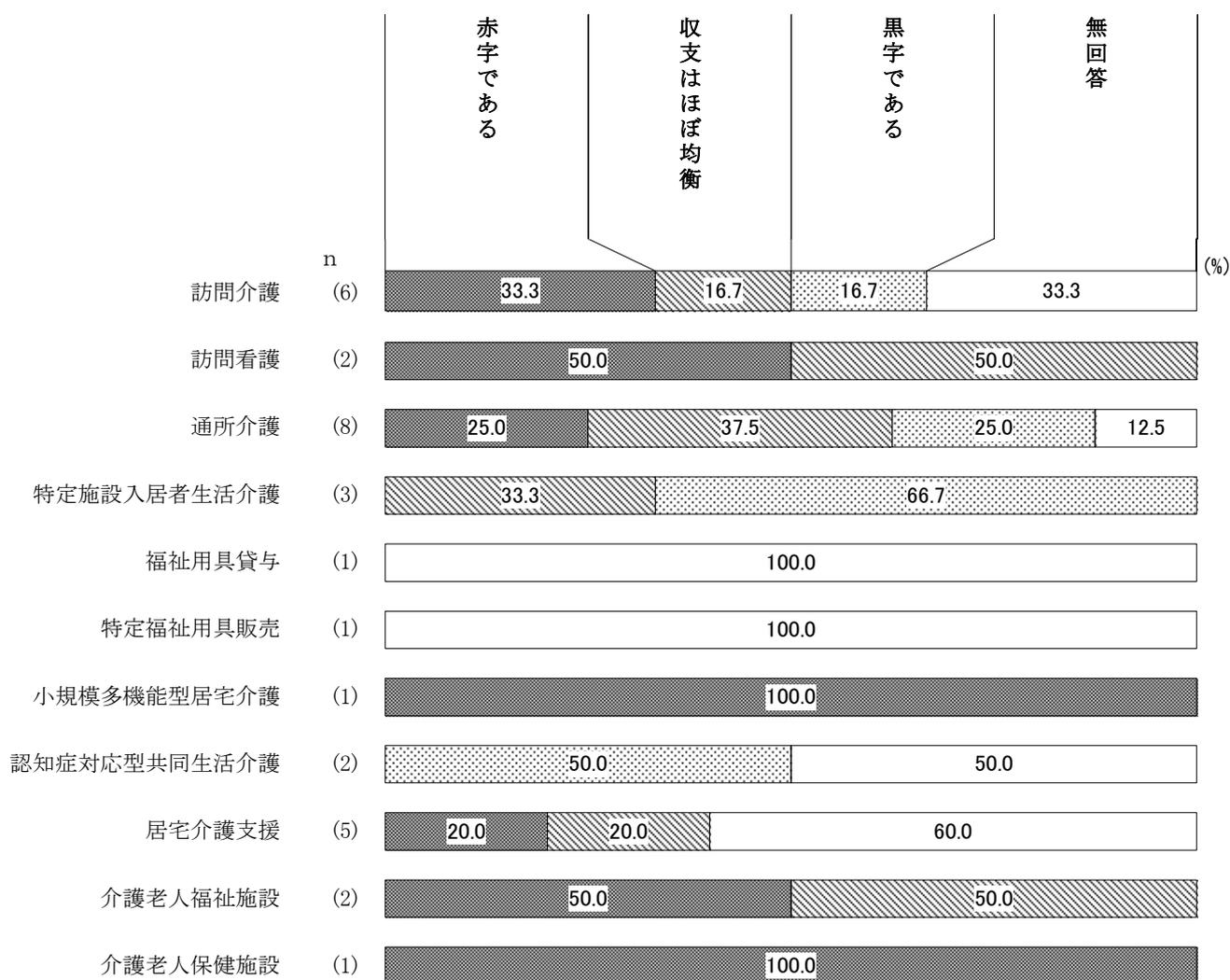


(注) 項目がないものは記入なしのため省略。

③事業所の収支状況

「小規模多機能型居宅介護」「介護老人保健施設」は、「赤字である」が100.0%となっています。

図4-9 収支状況

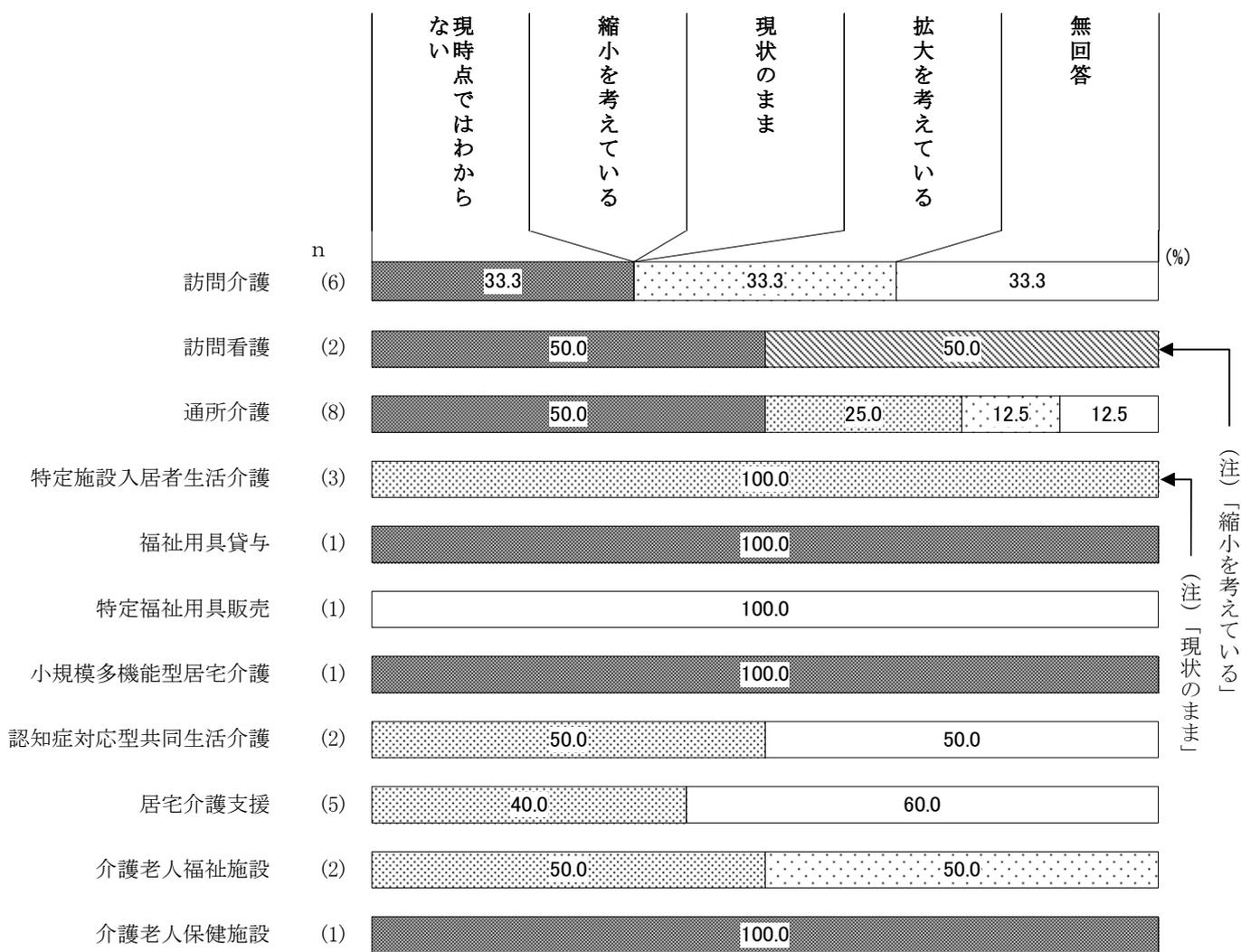


(注) 項目がないものは記入なしのため省略。

④今後の事業展開は

「介護老人福祉施設」「訪問介護」は、「拡大を考えている」が、それぞれ50.0%、33.3%を占めています。

図4-10 今後の事業展開について

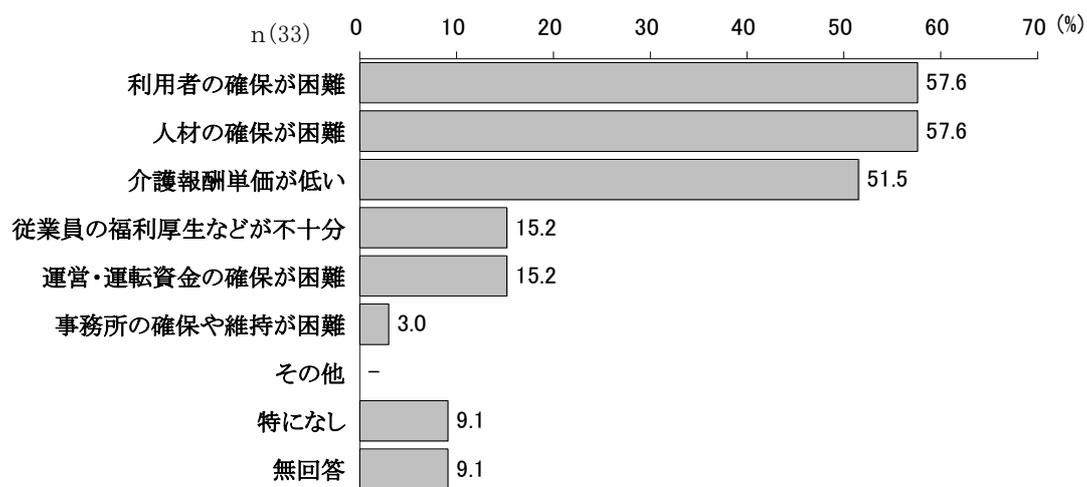


(注) 項目がないものは記入なしのため省略。

問6 円滑な事業運営を進めていく上で、現在、特に困難を感じることは何ですか。(3つに〇)

事業運営で困難を感じることは、「利用者の確保が困難」「人材の確保が困難」が、ともに57.6%と最も多く、「介護報酬単価が低い」(51.5%)が次いでいます。

図4-11 事業運営で困難を感じること



3. サービスの質の確保や向上について

問7 貴事業所のサービスの質の確保や向上に関して、サービスの管理者の方が各項目にお答えください。

(1) サービスの質の確保・向上への取り組みについて

① 利用者の満足度や利用者からのサービスの質評価に取り組んでいますか（利用者のアンケート等）。

サービスの質の評価については、「取り組んでいる」が63.6%、「現在は取り組んでいない」が30.3%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「取り組んでいる」は51.6%から63.6%へ増加しています。

図4-12 サービスの質評価について

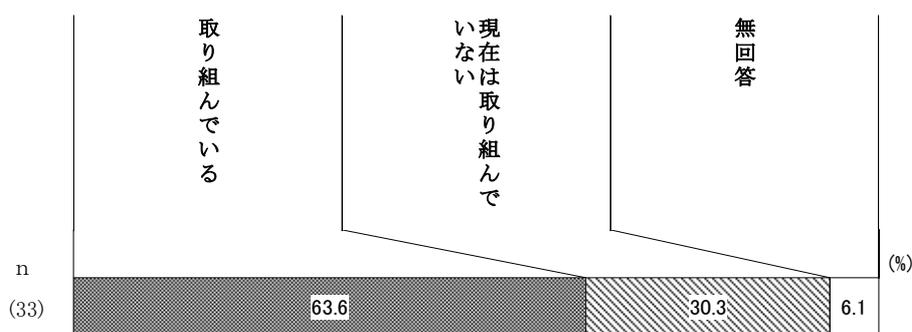
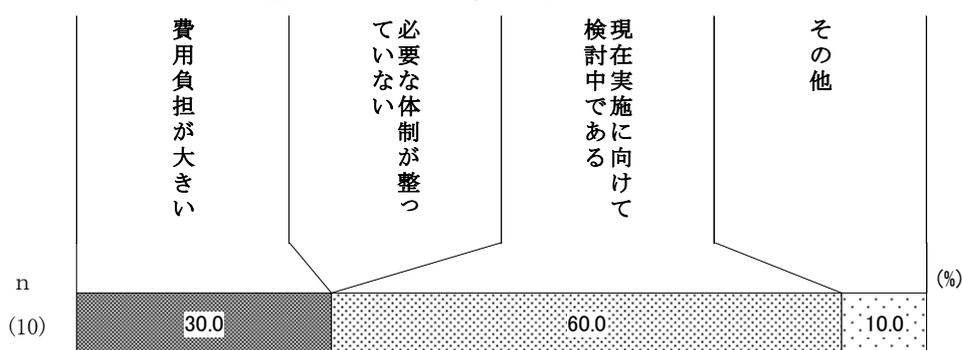


表4-4 経年比較 サービスの質評価について

	調査数	取り組んでいる (%)	現在は取り組んでいない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	51.6	48.4	0.0
平成22年	33人	63.6	30.3	6.1

取り組んでいない理由は、「現在実施に向けて検討中である」が60.0%となっています。

図4-13 取り組んでいない理由



② サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置していますか。

苦情に対応する責任者や窓口の有無は、「責任者や窓口を設置している」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられません。

図4-14 苦情に対応する責任者や窓口の有無

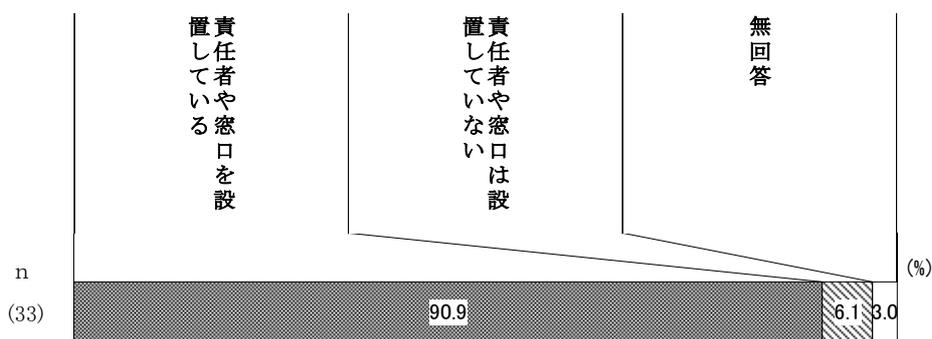


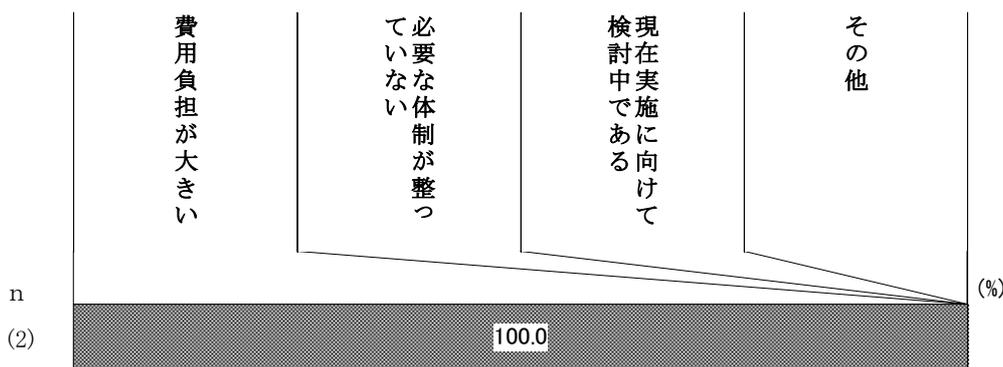
表4-5 経年比較 苦情に対応する責任者や窓口の有無

(%)

	調査数	設置している責任者や窓口を	設置していない責任者や窓口は	無回答
平成19年	31人	93.5	6.5	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

設置していない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-15 設置していない理由



③ サービスに苦情があった場合の手続きや対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

苦情対応の文書やマニュアルの有無は、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルはない」は12.9%から6.1%へ減少しています。

図4-16 苦情対応の文書やマニュアルの有無

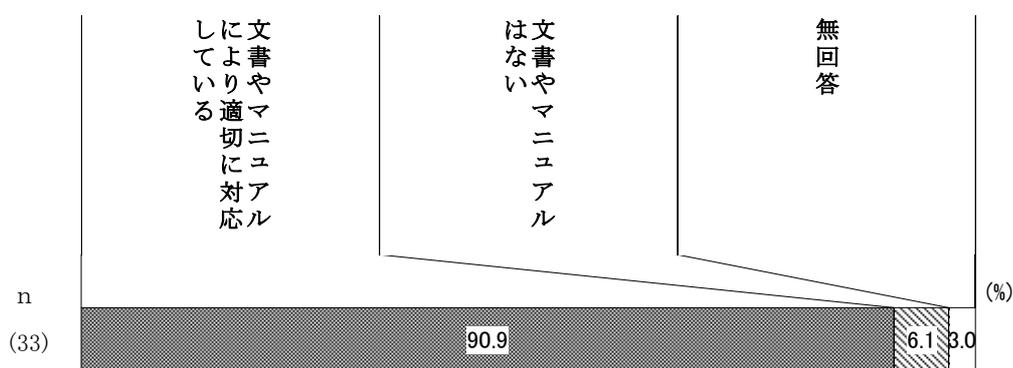
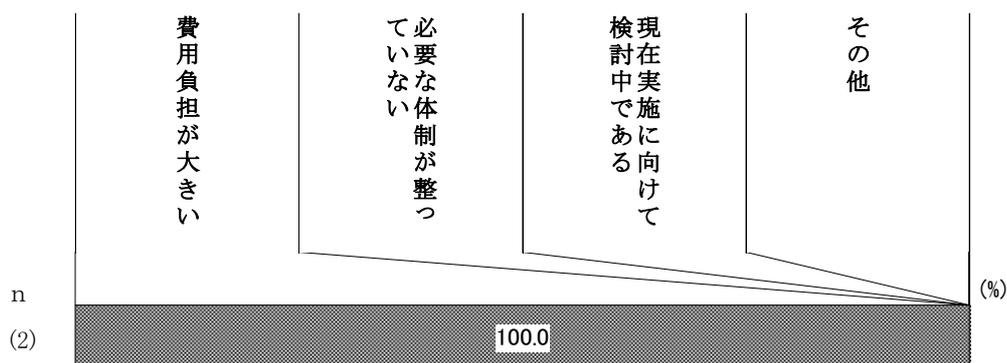


表4-6 経年比較 苦情対応の文書やマニュアルの有無

	調査数	適切に対応している (%)	ない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	87.1	12.9	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-17 文書やマニュアルがない理由



④ 事故発生や事故予防のための手続きや対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

事故発生や予防の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルはない」は9.7%から6.1%へ減少しています。

図4-18 事故発生や予防の文書やマニュアルの有無

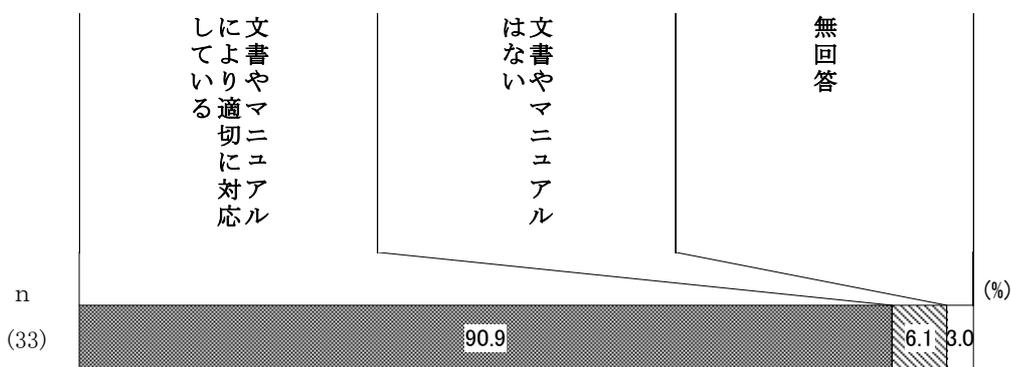
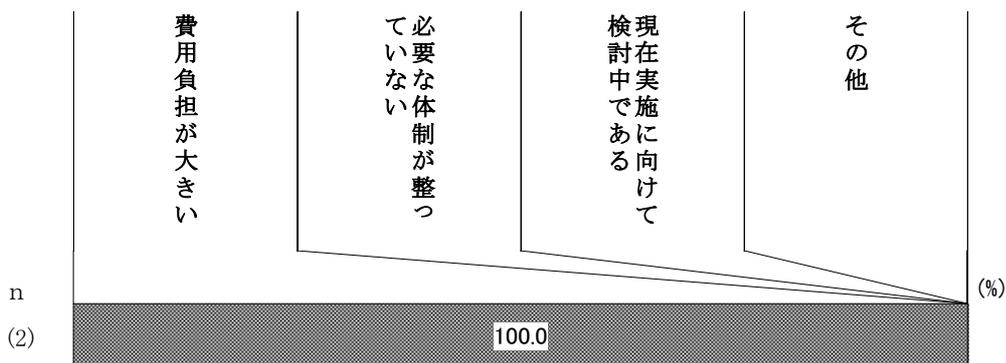


表4-7 経年比較 事故発生や予防の文書やマニュアルの有無

	調査数	適切に対応している (%)	ない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	90.3	9.7	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-19 文書やマニュアルがない理由



⑤ 事故発生時に速やかに対応を行うために、損害賠償保険に加入していますか。

損害賠償保険に加入の有無については、「損害賠償保険に加入している」が90.9%となっています。平成19年の調査結果と比較すると、「損害賠償保険に加入している」は96.7%から90.9%へ減少しています。

図4-20 損害賠償保険に加入の有無

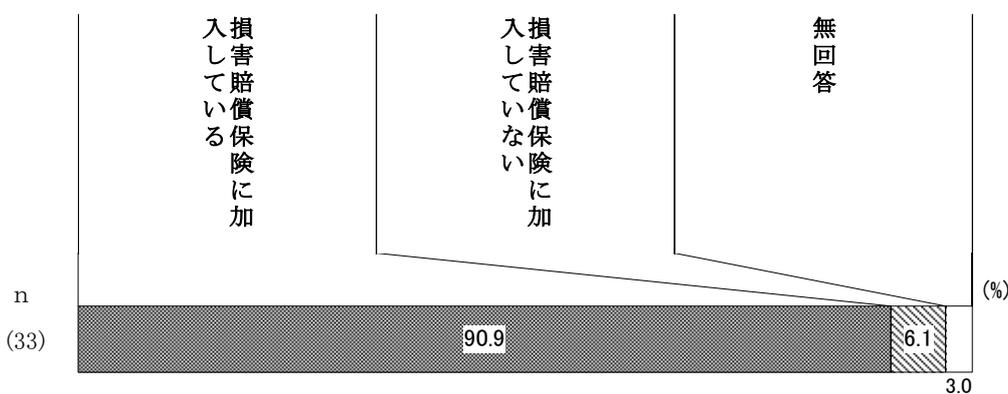
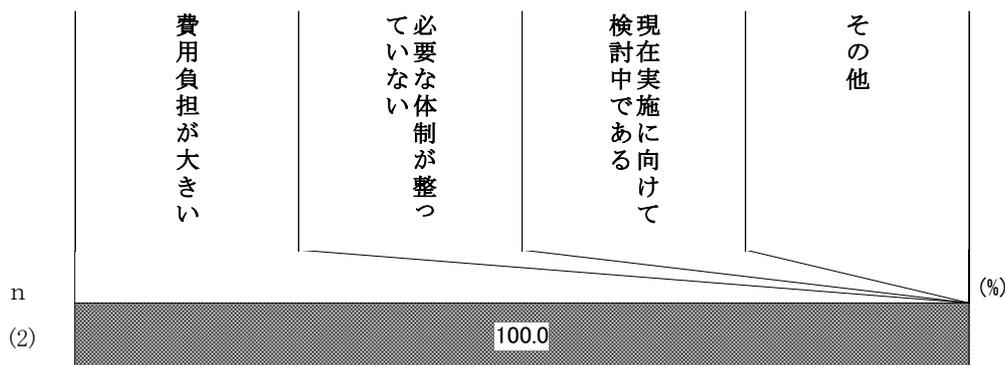


表4-8 経年比較 損害賠償保険に加入の有無

	調査数	加入の有無 (%)		
		加入している	加入していない	無回答
平成19年	31人	96.7	3.2	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

損害賠償保険に加入していない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-21 損害賠償保険に加入していない理由



⑥ 秘密保持、プライバシーについて、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

秘密保持・プライバシーの文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルはない」は9.7%から6.1%へ減少しています。

図4-22 秘密保持・プライバシーの文書やマニュアルの有無

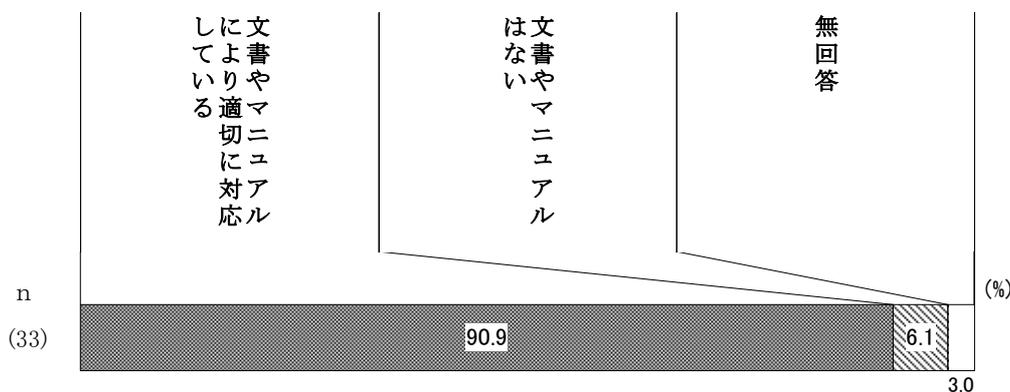
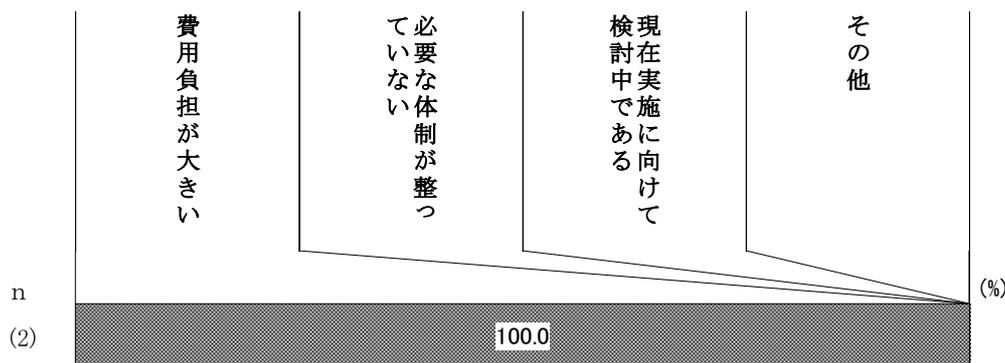


表4-9 経年比較 秘密保持・プライバシーの文書やマニュアルの有無 (%)

	調査数	適切に対応している (%)	文書やマニュアルはない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	90.3	9.7	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-23 文書やマニュアルがない理由



⑦ 衛生管理に関する手続きや対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

衛生管理や手続き対応の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルはない」は12.9%から6.1%へ減少しています。

図4-24 衛生管理や手続き対応の文書やマニュアルの有無

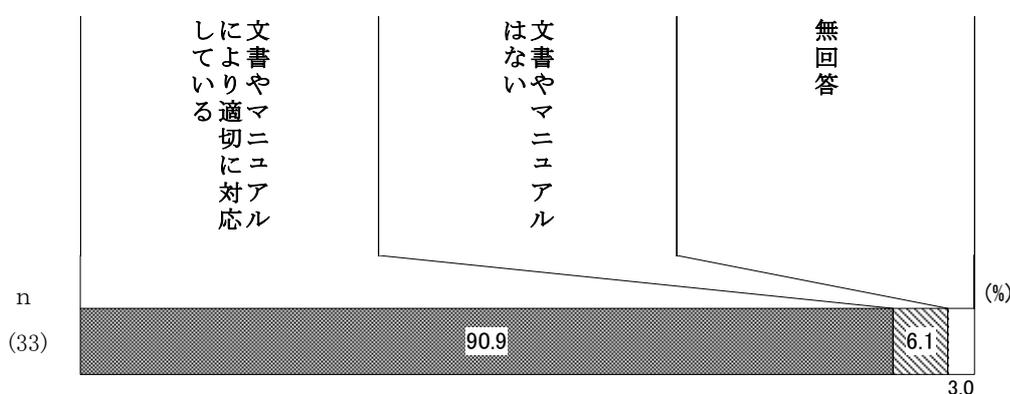


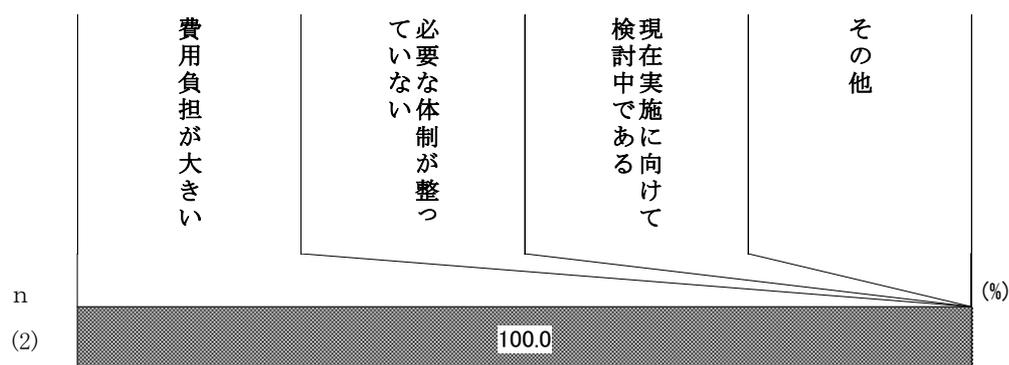
表4-10 経年比較 衛生管理や手続き対応の文書やマニュアルの有無

(%)

	調査数	適切に対応している (%)	文書やマニュアルはない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	87.1	12.9	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-25 文書やマニュアルがない理由



⑧ 職員の健康管理に関する手続きや対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

職員の健康管理に関する手続きや対応の文書やマニュアルの有無については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が87.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルにより適切に対応している」は64.5%から87.9%へ増加し、「文書やマニュアルはない」は35.5%から9.1%へ減少しています。

図4-26 健康管理に関する手続きや対応の文書やマニュアルの有無

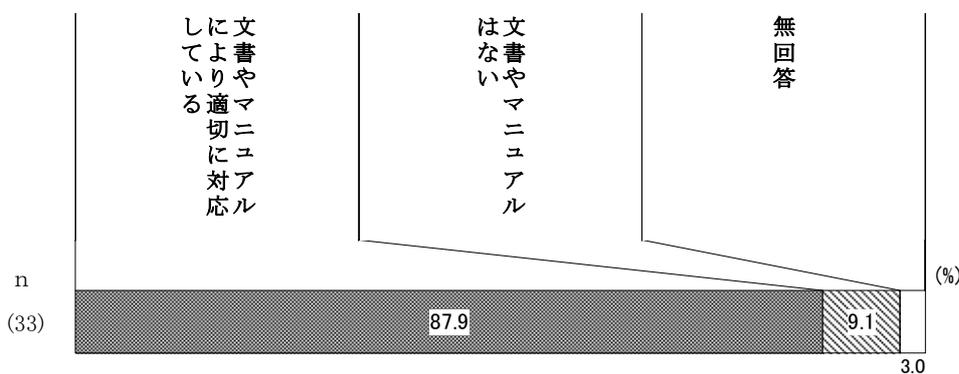
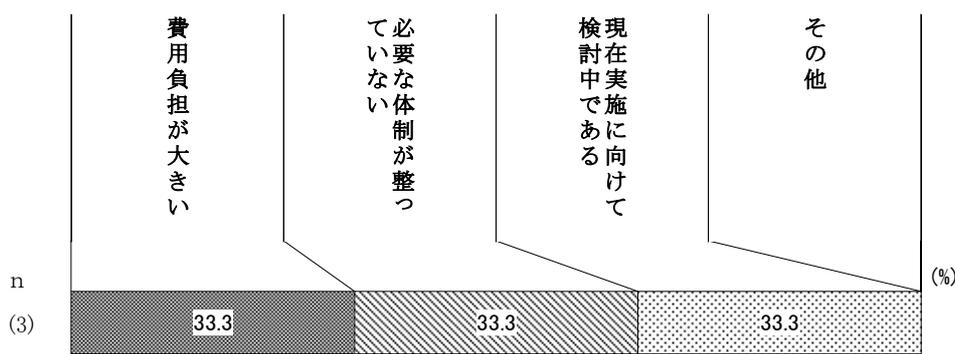


表4-11 経年比較 健康管理に関する手続きや対応の文書やマニュアルの有無

	調査数	適切に対応している (%)	文書やマニュアルはない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	64.5	35.5	0.0
平成22年	33人	87.9	9.1	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「費用負担が大きい」「必要な体制が整っていない」「現在実施に向けて検討中である」に分かれています。

図4-27 文書やマニュアルがない理由



⑨ 雇用職員（非常勤者を含む）について就業規則を定め、個別に雇用契約を結んでいますか。

雇用職員の個別な雇用契約については、「個別に適正な契約を結んでいる」が90.9%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられません。

図4-28 雇用職員の個別な雇用契約について

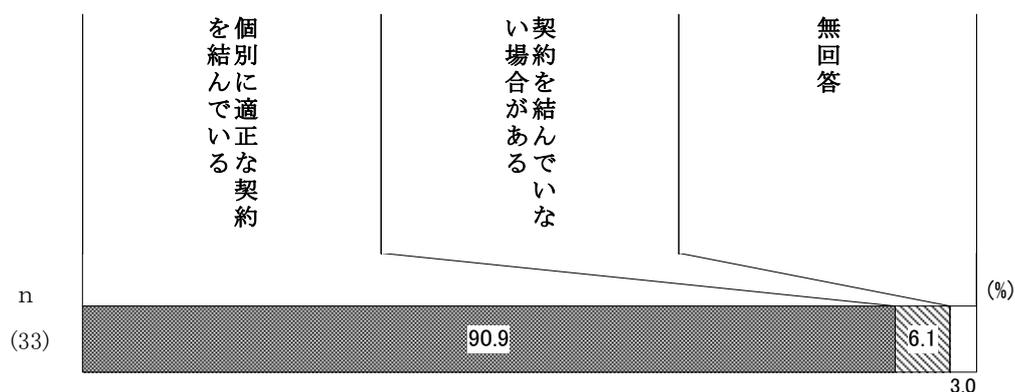
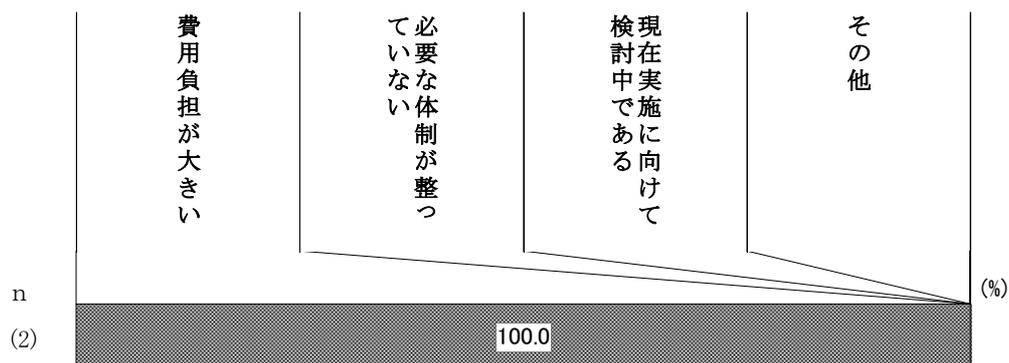


表4-12 経年比較 雇用職員の個別な雇用契約について

	調査数	個別に 適正な 契約を 結んで いる	個別な 契約を 結んで いない	無 回 答
平成19年	31人	93.5	6.5	0.0
平成22年	33人	90.9	6.1	3.0

契約を結んでいない理由は、「費用負担が大きい」が100%です。

図4-29 契約を結んでいない理由



⑩ 利用者から、職員の交代の要望等があった場合に、適切に対応していますか。

職員の交代要望等の対応については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が66.7%、「文書やマニュアルはない」が30.3%となっています。

平成19年の調査結果と比較すると、「文書やマニュアルにより適切に対応している」は45.2%から66.7%へ増加し、「文書やマニュアルはない」は54.8%から30.3%へ減少しています。

図4-30 職員の交代要望等の対応について

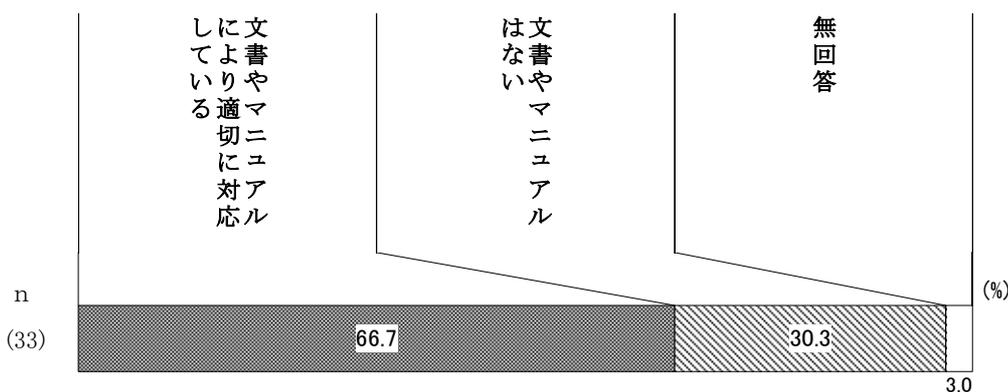
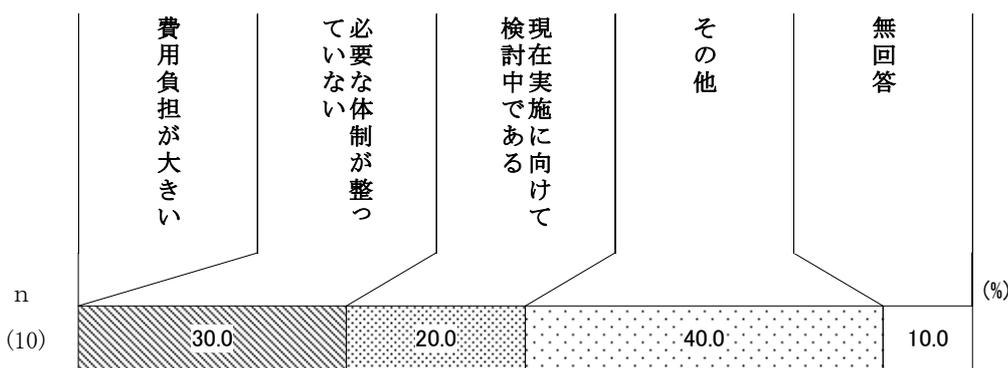


表4-13 経年比較 職員の交代要望等の対応について

	調査数	適切に対応している (%)	文書やマニュアルはない (%)	無回答 (%)
平成19年	31人	45.2	54.8	0.0
平成22年	33人	66.7	30.3	3.0

文書やマニュアルがない理由は、「必要な体制が整っていない」が30.0%、「現在実施に向けて検討中である」が20.0%となっています。

図4-31 文書やマニュアルがない理由

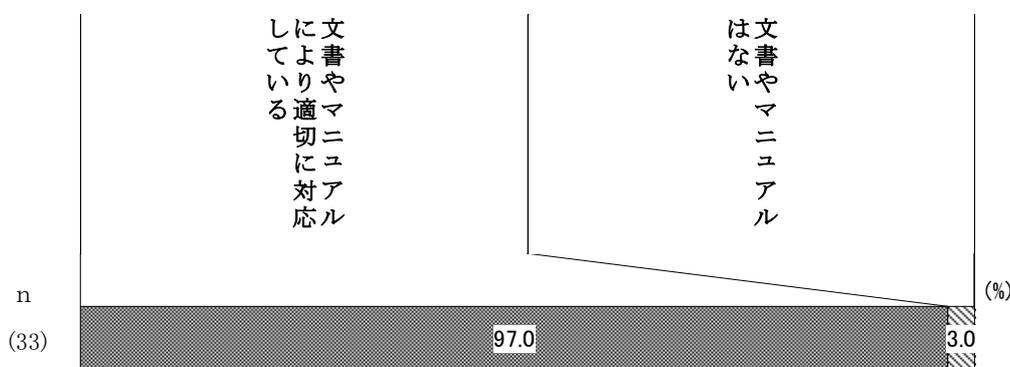


(2) 災害時の準備体制についてご記入ください。(○はそれぞれ1つだけ)

① 災害発生時の対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

災害発生時の対応方法については、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が97.0%となっています。

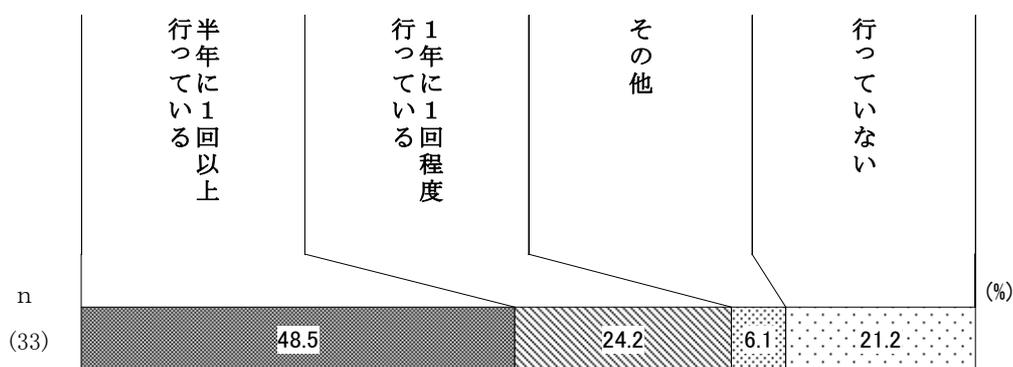
図4-32 災害発生時の対応方法について



② 定期的な訓練（避難訓練等）を行っていますか。

定期的な訓練（避難訓練等）については、「半年に1回以上行っている」が48.5%、「1年に1回程度行っている」が24.2%、「行っていない」が21.2%となっています。

図4-33 定期的な訓練（避難訓練等）について

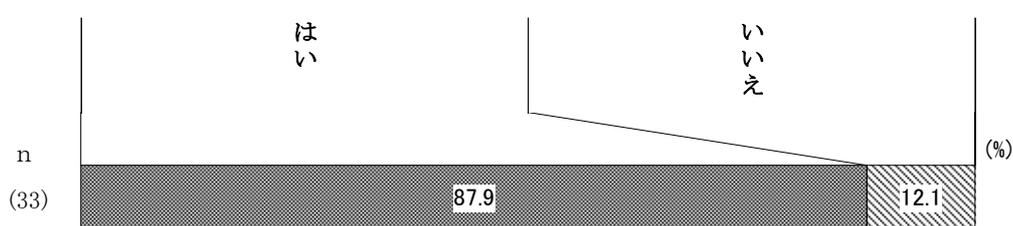


(3) サービス担当者会議やケース検討会、事例検討会、研修について (〇はそれぞれ1つだけ)

① サービス担当者会議について、十分実施できていますか。

サービス担当者会議を実施できているかについては、「はい」が87.9%、「いいえ」が12.1%となっています。

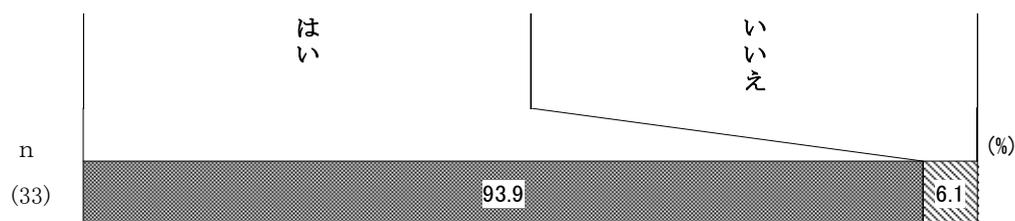
図4-34 サービス担当者会議を実施している



② 事業所内での講習会・研修について、十分実施できていますか。

講習会・研修会を実施できているかについては、「はい」が93.9%、「いいえ」が6.1%となっています。

図4-35 講習会・研修会を実施している

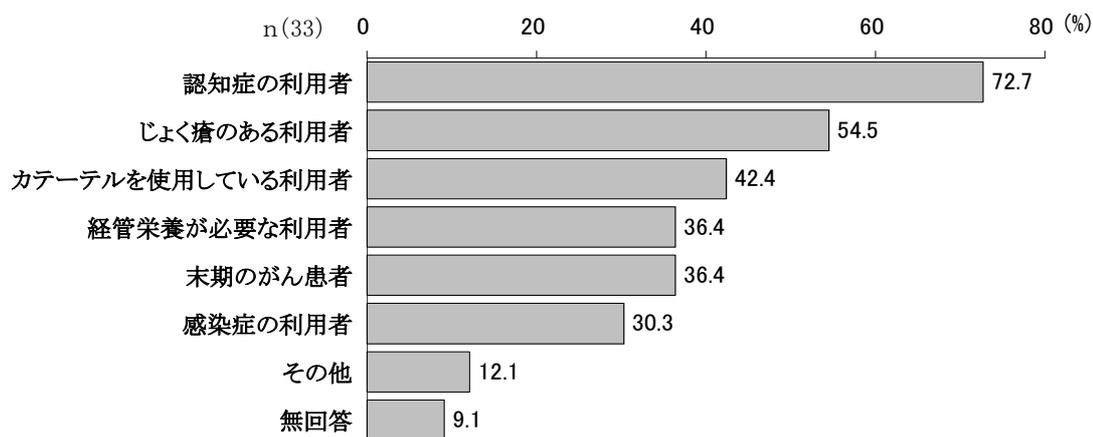


(4) 対応困難な利用者について

① 対応が困難な利用者としては、どのような利用者を受け入れていますか。
(あてはまるものすべてに○)

対応が困難な利用者の受け入れについては、「認知症の利用者」が72.7%、「じょく瘡のある利用者」が54.5%、「カテーテルを使用している利用者」が42.4%となっています。

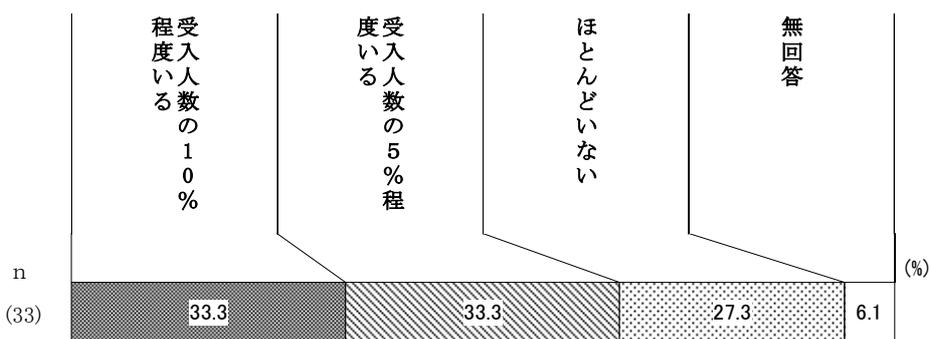
図4-36 対応が困難な利用者について



② 現在対応が困難な利用者はどれくらいいますか。(〇は1つだけ)

対応が困難な利用者の割合は、「受入人数の10%程度いる」「受入人数の5%程度いる」がそれぞれ33.3%、「ほとんどいない」が27.3%となっています。

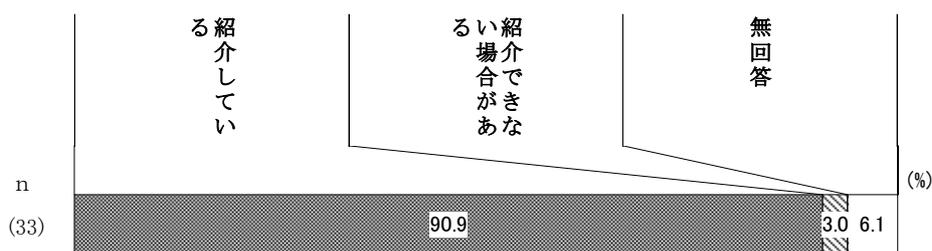
図4-37 対応が困難な利用者の割合



③ 利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業所が提供する以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介（ケアマネジャーへの相談を含みます）していますか。(〇は1つだけ)

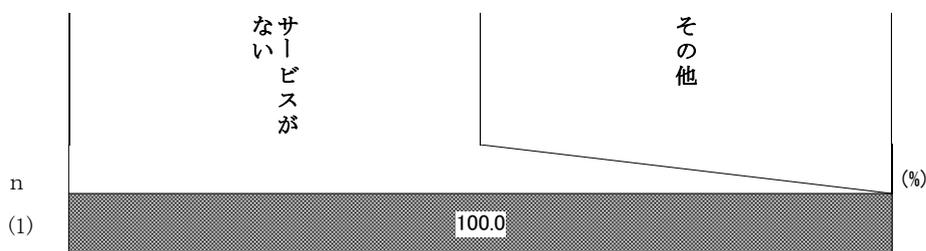
利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合や、提供できる以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介しているかについては、「紹介している」が90.9%となっています。

図4-38 他の事業者の紹介について



紹介できない理由は、「サービスがない」が100%です。

図4-39 紹介できない理由



4. 今後の介護保険サービス事業への進出意向について

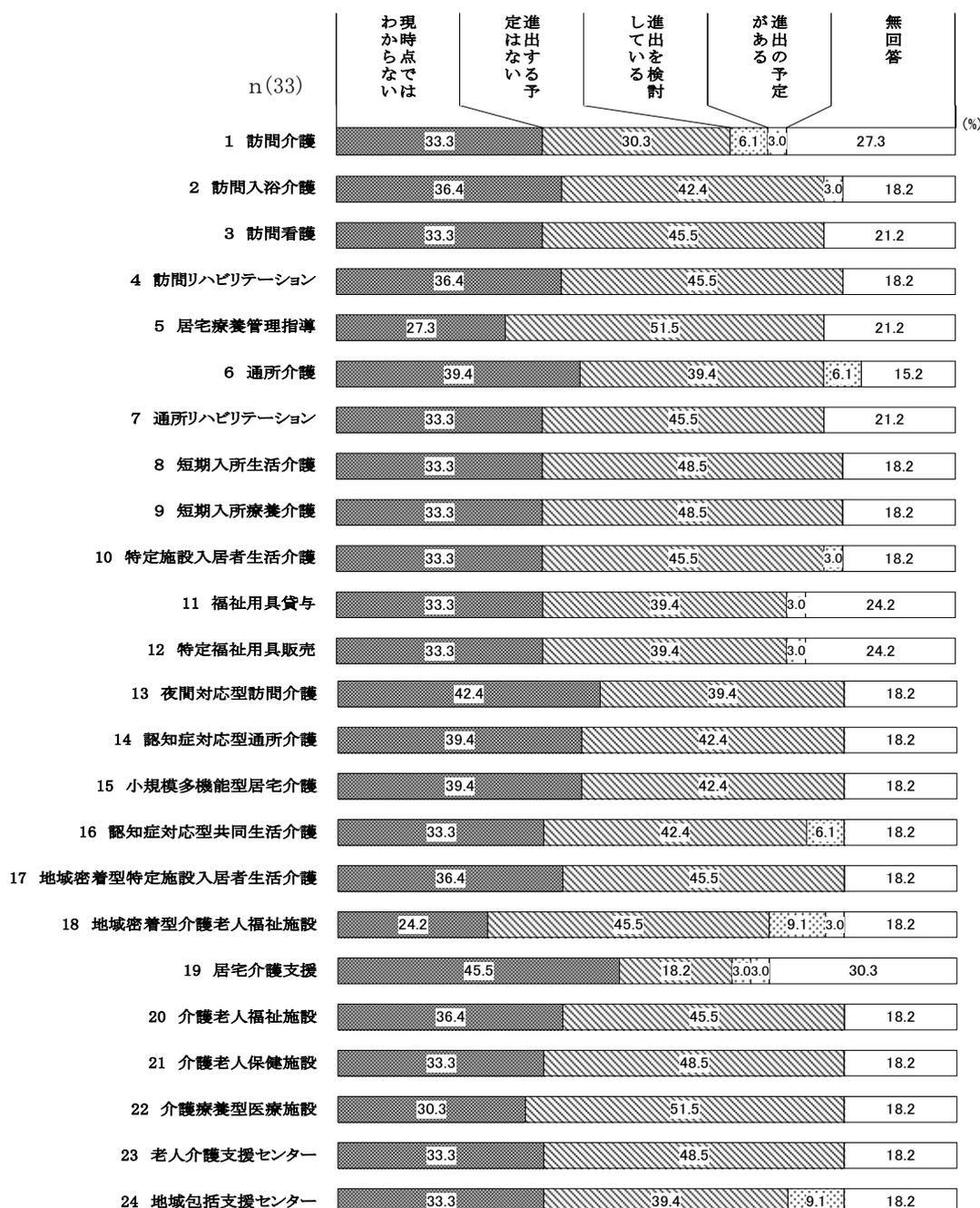
問8 貴事業所における以下の介護保険サービス事業ごとの進出意向についてお答えください。(〇はそれぞれ1つだけ)

介護保険サービス事業の進出意向については、「現時点ではわからない」の割合順にみると「居宅介護支援」が45.5%、「夜間対応型訪問介護」が42.4%、「通所介護」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」が39.4%で続いています。

「進出する予定はない」の割合順にみると「居宅療養管理指導」「介護療養型医療施設」がともに51.5%、「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「介護老人保健施設」「老人介護支援センター」がすべて48.5%となっています。

「進出を検討している」の割合順にみると、「地域密着型介護老人福祉施設」「地域包括支援センター」がともに9.1%となっています。

図4-40 介護保険サービス事業の進出意向について



第4章 介護サービス提供事業者に関する調査結果

資料編 / 調査票

浦安市第5期介護保険事業計画策定に伴う基礎調査 報告書

平成23年3月

発行：浦安市 健康福祉部 介護保険課
浦安市猫実一丁目1番1号
電話 047-351-1111（代表）
実施：(株)サーベイリサーチセンター
荒川区西日暮里二丁目40番10号
電話 03-3802-6711（代表）

この報告書は再生紙を使用しています。